

令和6年度第1回

八戸市健康福祉審議会 社会福祉専門分科会

日 時 令和6年8月29日（木）

午後1時00分～

場 所 八戸市庁本館3階 議会第三委員会室

次 第

1 開会

2 専門分科会長あいさつ

3 議事

（1）第4期八戸市地域福祉計画の令和5年度事業実施状況報告について

資料1 資料2 資料3 参考資料

（2）重層的支援体制整備事業実施計画の概要について

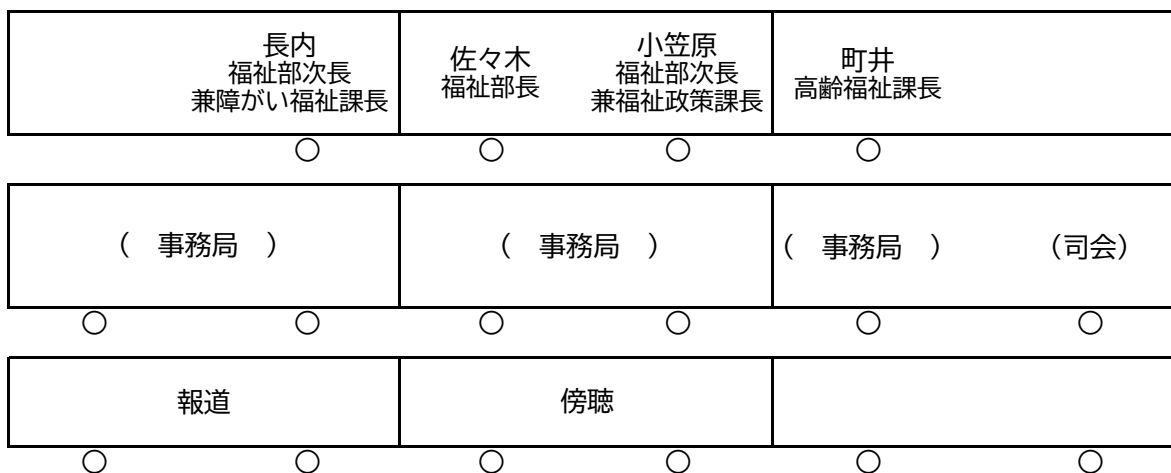
資料4

4 閉会

令和6年度 第1回 八戸市健康福祉審議会 社会福祉専門分科会 席図

日時：令和6年8月29日（木） 13時00分

場所：八戸市庁本館3階 議会第三委員会室



出入口

■八戸市健康福祉審議会・社会福祉専門分科会 委員名簿（６期目）

任期：令和４年６月２８日～令和７年６月２７日

◎専門分科会長：坂本 美洋 ○副専門分科会長：東山 国男

区 分	所属団体・役職	氏 名
福祉関係者	八戸市社会福祉協議会 事務局長	まやま みちよ 間山 路代
	八戸市身体障害者団体連合会 会長	ひがしやま くに 東山 国男
学識経験者	社会福祉法人理事長（八戸市議会議員）	さかもと よしひろ 坂本 美洋
	八戸学院大学健康医療学部 人間健康学科 学部長・学科長・教授	よしだ もりみ 吉田 守実
	八戸市小学校長会	よしだ ともこ 吉田 朝子
	東奥日報社 八戸支社 編集部長	おかだ けいいつ 岡田 圭逸
保健医療 関係者	青森県栄養士会八戸地区会 運営委員長	にし の ゆ き 西野 祐希
地域支援 関係者	八戸市民生委員児童委員協議会 会長	なかじま こういちろう 中嶋 幸一郎
	八戸市老人クラブ連合会 会長	うえだ たけお 上田 武男
公募に 応じた者	公募	けいちょう ようこ 慶長 洋子

第4期八戸市地域福祉計画

令和5年度事業実施状況報告

令和6年8月29日

八 戸 市

当市では、令和4（2022）年2月に、第4期八戸市地域福祉計画（以下、「第4期計画」という。）を策定し、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間を計画期間として、『人と人、人と地域が支え合い、誰もが生きがいをもって自分らしく暮らせる地域づくり』という基本理念のもと、4つの基本目標を掲げ、各種施策を展開しています。

第4期計画の推進にあたっては、毎年度、市民や有識者、福祉・医療関係者等で構成する八戸市健康福祉審議会社会福祉専門分科会（以下、「専門分科会」という。）において、計画に登載されている事業の進捗状況の報告、各施策の点検・評価を行っていきます。

本資料は、第4期計画登載事業の令和5年度の事業実施状況をまとめたものであり、専門分科会による点検・評価等の意見を踏まえ、必要に応じて事業の見直しや新たな事業の具体化など、適切な運用を図ることを目的として作成しています。

目次

施策の体系（基本理念）	…p. 1
事業一覧	…p. 2
記載内容の見方	…p. 6
事業実施状況	…p. 8
事業進捗状況及び自己評価	…p. 78
評価指標	…p. 79

施策の体系

基本理念

人と人、人と地域が支え合い、
誰もが生きがいをもって 自分らしく暮らせる地域づくり

基本目標 1 健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり

基本 施策	1) 健康づくりの推進	10 事業
	2) 高齢者や障がい者等の社会参加の促進	17 事業
	3) 地域医療体制の整備	4 事業
	4) 多様な働き方、生き方が選択できる環境の整備	4 事業

基本目標 2 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり

基本 施策	1) 自立支援と権利擁護の推進	18 事業
	2) 相談支援体制の充実と適切な情報発信	14 事業
	3) 課題解決に向けたネットワークの構築	5 事業
	4) 再犯防止施策の推進	4 事業

基本目標 3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり

基本 施策	1) 防災・防犯対策の充実	16 事業
	2) 住民主体による支え合いの促進	18 事業
	3) ボランティア・NPO活動の活性化	5 事業
	4) 暮らしやすい生活環境の整備	6 事業

基本目標 4 思いやりの心と人づくり

基本 施策	1) 担い手の育成・支援	9 事業
	2) 福祉教育の推進と福祉意識の醸成	6 事業
	3) 世代間交流の促進	2 事業

事業一覧 ※事業名に★のある事業は、他の施策体系に再掲のある事業

◇基本目標1 健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり

事業No.	基本施策	事業名	事業区分	担当部署	掲載頁
1	(1)	★地域包括支援センター運営事業	継続	高齢福祉課	P8
2	(1)	介護予防センター運営事業	継続	高齢福祉課	P9
3	(1)	★認知症サポーター養成・活動促進事業	継続	高齢福祉課	p10
4	(1)	介護予防・日常生活支援総合事業	新規(実施中)	高齢福祉課	p10
5	(1)	健康教育事業 母子健康教育事業	継続	健康づくり推進課 すくすく親子健康課	p11
6	(1)	★健康相談事業 ★母子健康相談事業	継続	健康づくり推進課 すくすく親子健康課	P12
7	(1)	★健康づくり団体等活動支援事業	継続	健康づくり推進課	P13
8	(1)	地域自殺対策強化事業	新規(実施中)	保健予防課	P13
9	(1)	がん検診事業	新規(実施中)	健康づくり推進課	P14
10	(1)	健康フェスタ開催事業	継続	国保年金課	P14
11	(2)	★心のバリアフリー推進事業	継続	福祉政策課	P15
12	(2)	★鷗盟大学運営事業	継続	高齢福祉課	P15
13	(2)	シニアはつらつポイント事業	継続	高齢福祉課	P16
14	(2)	★ほっとサロン・三世代交流事業	継続	高齢福祉課	P16
15	(2)	高齢者バス特別乗車証交付事業	継続	高齢福祉課	P17
16	(2)	老人クラブ活動支援事業	新規(実施中)	高齢福祉課	P17
17	(2)	障がい者バス特別乗車証交付事業	継続	障がい福祉課	P18
18	(2)	自動車運転免許取得・改造事業	継続	障がい福祉課	P18
19	(2)	意思疎通支援事業	継続	障がい福祉課	P19
20	(2)	障がい者就労支援事業	新規(実施中)	障がい福祉課	P19
21	(2)	★障がい者就労サポーター養成事業	継続	障がい福祉課	P20
22	(2)	障がい者就労支援団体ネットワーク事業	継続	障がい福祉課	P20
23	(2)	地域活動支援センター事業	新規(実施中)	障がい福祉課	p21
24	(2)	障がい者団体活動支援事業	新規(実施中)	障がい福祉課	P21
25	(2)	シルバー人材センター育成・援助事業	新規(実施中)	産業労政課	P22
26	(2)	公民館講座	継続	社会教育課	P22
27	(2)	八戸市民大学講座	新規(実施中)	社会教育課	P23
28	(3)	救急医療体制整備事業	継続	保健総務課	P23
29	(3)	地域医療連携の推進	継続	保健総務課	P24
30	(3)	A E D普及促進事業	新規(実施中)	保健総務課	P24
31	(3)	ドクターカー運行事業	新規(実施中)	保健総務課	P25
32	(4)	男女共同参画情報発信事業	継続	市民連携推進課	P25
33	(4)	意識啓発講演会開催事業	継続	市民連携推進課	P26
34	(4)	ロールモデル PR 事業	継続	市民連携推進課	P26
35	(4)	LGBT 等理解促進事業	新規(実施中)	市民連携推進課	P27

◇基本目標２ 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり

事業No.	基本施策	事業名	事業区分	担当部署	掲載頁
36	(1)	日常生活自立支援事業（民間）	継続	市社会福祉協議会	P28
37	(1)	生活困窮者自立相談支援事業	継続	生活福祉課	P29
38	(1)	住居確保給付金	継続	生活福祉課	P29
39	(1)	家計改善支援事業	継続	生活福祉課	p30
40	(1)	生活困窮者等学習支援事業	継続	生活福祉課	p30
41	(1)	生活保護受給者等就労準備支援事業	継続	生活福祉課	p31
42	(1)	成年後見センター事業（地域連携ネットワークの中核機関及び協議会の設置運営）	継続	高齢福祉課 障がい福祉課	p31
43	(1)	成年後見制度利用支援事業	継続	高齢福祉課 障がい福祉課	P32
44	(1)	★市民後見推進事業	新規（実施中）	高齢福祉課 障がい福祉課	P32
45	(1)	高齢者虐待防止研修会の開催	新規（実施中）	高齢福祉課	P33
46	(1)	高齢者・障がい者虐待対策ケース会議の開催	継続	高齢福祉課 障がい福祉課	P33
47	(1)	児童虐待防止対策事業	新規（実施中）	こども家庭相談室	P34
48	(1)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	新規（実施中）	こども家庭相談室	P34
49	(1)	いじめ問題対策連絡協議会の開催	新規（実施中）	教育指導課	P35
50	(1)	権利擁護支援事業	継続	高齢福祉課 障がい福祉課	P35
51	(1)	母子家庭等対策総合支援事業	新規（実施中）	こども家庭相談室	P36
52	(1)	市営住宅における優先入居	新規（実施中）	建築住宅課	P36
53	(1)	住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅登録事業	新規（実施中）	建築住宅課	P37
54	(2)	★地域子育て支援センター事業	継続	こども未来課	P37
(1)	(2)	★地域包括支援センター運営事業	継続	高齢福祉課	P8
55	(2)	障がい者相談支援事業	継続	障がい福祉課	P38
(6)	(2)	★健康相談事業 ★母子健康相談事業	継続	健康づくり推進課 すくすく親子健康課	P12
56	(2)	女性健康支援センター事業	新規（実施中）	すくすく親子健康課	P38
57	(2)	八戸版ネウボラ推進事業	新規（実施中）	すくすく親子健康課 こども家庭相談室 こども支援センター	P39
58	(2)	子ども家庭見守り・訪問支援事業	新規（実施中）	こども家庭相談室	P39
59	(2)	女性相談事業	新規（実施中）	こども家庭相談室	p40
60	(2)	スクールソーシャルワーカー活用事業	新規（実施中）	教育指導課	p40
61	(2)	福祉サービスの苦情相談・解決事業	継続	関係各課	p41
62	(2)	多機関協働による包括的相談支援体制の整備	新規（未実施）	福祉政策課	p41
63	(2)	重層的支援体制整備事業	新規（未実施）	関係各課	P42
64	(2)	様々な媒体による情報発信	継続	関係各課	P43
65	(2)	高齢者、障がい者等に配慮した情報発信	新規（実施中）	関係各課	P44
66	(3)	虐待等防止対策会議の開催	継続	福祉政策課	P44
67	(3)	★生活支援体制整備事業	新規（実施中）	高齢福祉課	P45
68	(3)	自殺対策ネットワーク会議の開催	新規（実施中）	保健予防課	P45
69	(3)	ひきこもり対策ケース会議の開催	新規（実施中）	保健予防課	P46
70	(3)	要保護児童対策地域協議会の開催	新規（実施中）	こども家庭相談室	P46

71	(4)	更生保護活動への支援	新規(実施中)	くらし交通安全課 福祉政策課	P47
72	(4)	社会を明るくする運動の推進	新規(実施中)	くらし交通安全課	P47
73	(4)	民間協力者や関係団体等との連携	新規(実施中)	くらし交通安全課	P48
74	(4)	協力雇用主への入札優遇措置	新規(実施中)	契約検査課	P48

◇基本目標3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり

事業No.	基本施策	事業名	事業区分	担当部署	掲載頁
75	(1)	避難行動要支援者事業	継続	福祉政策課	P49
76	(1)	福祉避難所整備事業	新規(実施中)	福祉政策課	P50
77	(1)	地域の安心・安全見守り活動推進事業	継続	福祉政策課	P50
78	(1)	防災市民研修会開催事業	継続	災害対策課	p51
79	(1)	自主防災組織育成事業	継続	災害対策課	P52
80	(1)	安全・安心情報発信事業	継続	危機管理課	P52
81	(1)	総合防災訓練の実施	新規(実施中)	災害対策課	P53
82	(1)	地区防災訓練への支援	新規(実施中)	災害対策課	P53
83	(1)	地域防犯管理者の養成事業	継続	くらし交通安全課	P54
84	(1)	交通安全推進団体の育成・支援	継続	くらし交通安全課	P54
85	(1)	地域安全・安心マップづくり推進事業	継続	くらし交通安全課	P55
86	(1)	安全・安心まちづくり推進協議会	継続	くらし交通安全課	P55
87	(1)	悪質商法の被害防止のための出前講座の実施	継続	くらし交通安全課	P56
88	(1)	消費生活相談の実施	継続	くらし交通安全課	P56
89	(1)	悪質商法相談事例紹介	継続	くらし交通安全課	P57
90	(1)	学校安全情報配信システムの運用	継続	教育指導課	P57
91	(2)	連合町内会連絡協議会連携事業 (町内会加入促進など)	継続	市民連携推進課	P58
92	(2)	「地域の底力」実践プロジェクト促進事業	継続	市民連携推進課	P59
93	(2)	地域担当職員制度	継続	市民連携推進課	P60
94	(2)	協働のまちづくり研修会の開催	継続	市民連携推進課	p61
95	(2)	ほのぼのコミュニティ 21 推進事業	継続	福祉政策課	p61
96	(2)	地域集会所整備事業	継続	福祉政策課	P62
97	(2)	民生委員・児童委員活動の推進	新規(実施中)	福祉政策課	P62
(1)	(2)	★地域包括支援センター運営事業	継続	高齢福祉課	P8
(14)	(2)	★ほっとサロン・三世代交流事業	継続	高齢福祉課	P16
98	(2)	子育てサロン支援事業	継続	こども未来課	P63
99	(2)	つどいの広場事業	継続	こども未来課	P63
(54)	(2)	★地域子育て支援センター事業	継続	こども未来課	P37
100	(2)	ファミリーサポートセンター運営事業	継続	子育て支援課	P64
101	(2)	放課後児童健全育成事業	継続	子育て支援課	P64
102	(2)	児童館運営事業	継続	子育て支援課	P65
103	(2)	児童館母親クラブ活動事業	継続	子育て支援課	P65

104	(2)	★地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	継続	社会教育課	P66
105	(2)	地域における包括的相談支援体制の整備	新規(未実施)	福祉政策課	P66
106	(3)	八戸圏域住民活動促進事業	継続	市民連携推進課	P67
107	(3)	「元気な八戸づくり」市民奨励金制度	継続	市民連携推進課	P68
108	(3)	「元気な八戸づくり」市民提案制度	継続	市民連携推進課	P69
109	(3)	住民活動保険制度	継続	市民連携推進課	P70
110	(3)	ボランティアセンター運営事業（民間）	新規(実施中)	市社会福祉協議会	p70
111	(4)	南郷コミュニティバス運行事業	継続	南郷事務所 政策推進課	p71
112	(4)	南郷コミュニティタクシー運行事業	継続	南郷事務所 政策推進課	p71
(11)	(4)	★心のバリアフリー推進事業	継続	福祉政策課	P15
113	(4)	福祉バス運営事業	継続	福祉政策課	P72
(67)	(4)	★生活支援体制整備事業	新規(実施中)	高齢福祉課	P45
114	(4)	生活交通路線の確保	継続	運輸管理課 政策推進課	P72

◇基本目標4 思いやりの心と人づくり

事業No.	基本施策	事業名	事業区分	担当部署	掲載頁
115	(1)	八戸市社会福祉協議会との連携及び支援	継続	福祉政策課	P73
116	(1)	民生委員児童委員研修会の開催	継続	福祉政策課	P74
(3)	(1)	★認知症サポーター養成・活動促進事業	継続	高齢福祉課	p10
(21)	(1)	★障がい者就労サポーター養成事業	継続	障がい福祉課	p20
(44)	(1)	★市民後見推進事業	新規(実施中)	高齢福祉課 障がい福祉課	P32
117	(1)	ゲートキーパー研修の開催	新規(実施中)	保健予防課	P74
(7)	(1)	★健康づくり団体等活動支援事業	継続	健康づくり推進課	P13
(104)	(1)	★地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	継続	社会教育課	P66
118	(1)	福祉サービス事業者の育成及び連携	継続	関係各課	P75
(11)	(2)	★心のバリアフリー推進事業	継続	福祉政策課	P15
119	(2)	ボランティア推進校事業（民間）	継続	市社会福祉協議会	P75
120	(2)	共同募金運動の推進	新規(実施中)	市社会福祉協議会	p76
121	(2)	福祉出前講座の実施	継続	市社会福祉協議会	P76
(12)	(2)	★鷗盟大学運営事業	継続	高齢福祉課	P15
122	(2)	青少年の地域活動の推進事業	継続	教育指導課	P77
(14)	(3)	★ほっとサロン・三世代交流事業	継続	高齢福祉課	P16
123	(3)	地域伝統芸能の後継者養成への支援	継続	社会教育課	P77

記載内容の見方

事業の第4期計画施策体系での位置付けです。ほかの施策体系に再掲のある事業は、2行目以降にも記載があります。

事業名に★のある事業は再掲のある事業です。

事業を実施する部署です。機構改革等により変更となる場合があります。

事業No. 113

事業名	福祉バス運営事業		担当部署	福祉政策課
施策体系位置付け	基本目標 3 - 基本施策(4)	① 事業区分	■継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	市内に拠点を置く各種福祉団体が、教養研修や大会への参加のほか、健康増進や会員等の交流促進を目的とした行事などを行う際に、1日2台を上限に無料で福祉バスを運行し、移動手段を確保するとともに社会活動等の促進を図る。			
取組実績	○市内の老人クラブや障がい者団体等の社会福祉団体が、教養研修や大会、会員の健康増進や交流促進を目的とした行事などを行うために、計184回運行し、計4,758人が利用した。			【事業費】 決算見込額 13,549 千円
② 事業進捗状況	◎	③ 自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

—（ハイフン）の場合、以下のいずれかになります。

- ・決算見込額 0 円
- ・予算計上なし
- ・事業単独で予算計上していないため、事業分のみを算出できない

①事業区分

事業区分は以下のとおり整理し、記載しています。

事業区分	内容
継続	第3期計画から登載のある事業
新規（実施中）	第4期計画から登載した事業で、第4期計画策定前から実施しているもの
新規（未実施）	第4期計画から登載した事業で、第4期計画策定時に未実施のもの
追加（実施中）	第4期計画に新たに追加する事業で、第4期計画策定前から実施しているもの
追加（未実施）	第4期計画に新たに追加する事業で、第4期計画策定時に未実施のもの

②事業進捗状況

令和5年度に計画していた内容を実施できたかどうかで判断し、以下の基準で記載しています。

◎	予定どおり実施できた（90%以上）
○	おおむね予定どおり実施できた（70%～90%未満）
△	一定程度実施できた（50%～70%未満）
×	実施が不十分だった（50%未満）
—	未実施

③自己評価

外的・内的要因に関わらず、想定していた効果・成果が得られたかどうかで判断し、以下の基準で記載しています。

A	想定どおりの実施効果・成果が得られた
B	おおむね想定どおりの実施効果・成果が得られた
C	想定どおりの実施効果・成果が得られなかった
D	評価対象外（未実施）

基本目標 1

健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり

【実施状況】 登載事業数 35 事業

基本施策(1) 健康づくりの推進 (10 事業)

基本施策(2) 高齢者や障がい者等の社会参加の促進 (17 事業)

基本施策(3) 地域医療体制の整備 (4 事業)

基本施策(4) 多様な働き方、生き方が選択できる環境の整備 (4 事業)

事業No. 1

事業名	★地域包括支援センター運営事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 2 - 基本施策(2)		☐ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 3 - 基本施策(2)		☐ 新規（未実施）	
事業概要	市内 12 の日常生活圏域に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置・運営し、高齢者などに対する総合相談及び介護予防支援等を行う。 地域住民が連携し、高齢者の見守りを行う「見守りネットワーク」の立ち上げを支援する。			
取組実績	○高齢者支援センターにおいて、総合相談、包括的支援事業及び介護予防支援を実施した。 ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 8,317件 ・介護予防把握事業（実態把握） 3,225件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 340回 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用）227回 ・地域ケア会議個別会議 54回 ・地域ケア会議圏域会議 13回 ○令和5年度から変更となった高齢者支援センター4か所を含む全ての高齢者支援センターを基幹型地域包括支援センターの職員が訪問し、相談に対応するなどの支援を重点的に行った。			【事業費】
				決算見込額 224,864 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業を継続する。			

事業名	介護予防センター運営事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	高齢者自らが健康状態を日頃から意識し、主体的に介護予防に取り組むことができるよう介護予防事業及び認知症予防事業を実施する。 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの拠点として、認知症支援事業を実施する。			
取組実績	○令和4年8月から八戸圏域連携中枢都市圏連携事業として運用を開始した。（圏域町村利用者59人） ○各種介護予防事業・認知症予防事業を実施した。（体操会3,665人、集いの場3,211人、各種介護予防教室135人、各種相談130人） ○認知症支援事業を実施した。（認知症カフェ等72人、認知症フォーラム195人、家族のつどいへの協力6回） ○合計延 8,160 人が介護予防センターを利用した。（見学者 315 人、その他の事業利用者数含む）			【事業費】 決算見込額 16,641 千円
	事業進捗状況	○	自己評価	B
今後の方向性	事業の周知を継続して行い、関係団体との連携を強化する。			

事業No. 3

事業名	★認知症サポーター養成・活動促進事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標4－基本施策(1)		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	認知症サポーター養成講座を開催する。 認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成及び活動の支援を実施する。 認知症サポーター等で構成する支援チーム「チームオレンジ」を整備し、認知症の人やその家族のニーズに合わせた支援を実施する。			
取組実績	○集合型、オンライン型による認知症サポーター養成講座を開催した。(27回588人、累計21,357人受講) ○キャラバン・メイト活動意向調査を実施した。(全登録者117人のうち、活動継続者は64人) ○ハイブリット型による、キャラバン・メイト連絡会を実施した。(オンライン参加37人、会場参加2人、計39人) ○チームオレンジの活動を支援した。：市及び民間の認知症カフェでの活動、認知症サポーターキャラマスコットのぬいぐるみやキーホルダーの作製、認知症フォーラムでの活動紹介など(延32回126人) ○チームオレンジメンバーを主な対象として、認知症カフェ研修会を実施した。(1回、9人)			【事業費】 決算見込額 319 千円
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	認知症サポーター養成講座の開催を実施し、受講者数増加を目指す。また、チームオレンジメンバーへの支援を継続する。			

事業No. 4

事業名	介護予防・日常生活支援総合事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		■新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	介護予防訪問介護相当サービス、訪問型サービスAを提供する。 介護予防通所介護相当サービス、通所型サービスCを提供する。 訪問型サービスAにおいて、生活援助サービスを提供する訪問支援員を養成する。			
取組実績	○介護予防訪問介護相当サービス 4,535件 ○訪問型サービスA 27件 ○介護予防通所介護相当サービス 12,919件 ○通所型サービスC 221件 内訳・運動・認知複合型 221件 ・口腔機能向上 0件 ○訪問支援員養成研修 ・開催日（R5.10.3、R6.2.16）、参加者 計 40 人			【事業費】 決算見込額 432,567 千円
	事業進捗 状況	◎	自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度から通所型サービスAを創設する。			

事業名	健康教育事業 母子健康教育事業		担当部署	健康づくり推進課 すくすく親子健康課						
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)							
	基本目標 - 基本施策()									
	基本目標 - 基本施策()									
事業概要	【健康づくり推進課】〈健康教育事業〉 早世の減少と健康寿命の延伸の実現に向けて、生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発を図る。 【すくすく親子健康課】〈母子健康教育事業〉 母子健康教育として、両親学級やすくすく離乳食教室、子育て出前講座等を行う。									
取組実績	【健康づくり推進課】〈健康教育事業〉 ・生活習慣病改善等の予防のため、日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活のあり方等について健康教育を実施した。 単位：回 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td><td>成人</td><td>高齢者</td></tr> <tr> <td>健康教育</td><td>96</td><td>15</td></tr> </table> 【すくすく親子健康課】〈母子健康教育事業〉 両親学級 (12回) 446人 すくすく離乳食教室 (32回) 211人 子育て出前講座 (26回) 793人 ○両親学級、離乳食教室に参加できない方には、市ホームページの動画視聴を促すなど知識の普及に努めた。				成人	高齢者	健康教育	96	15	【事業費】 決算見込額 【健康づくり推進課】 5,519 千円 【すくすく親子健康課】 954 千円
	成人	高齢者								
健康教育	96	15								
事業進捗	【健康づくり推進課】○ 【すくすく親子健康課】◎	自己評価	【健康づくり推進課】B 【すくすく親子健康課】A							
今後の方向性	【健康づくり推進課】令和6年度以降も事業継続予定。 【すくすく親子健康課】令和6年度以降も事業継続予定。									

事業名	★健康相談事業 ★母子健康相談事業	担当部署	健康づくり推進課 すくすく親子健康課												
施策体系 位置付け	基本目標1 - 基本施策(1) 基本目標2 - 基本施策(2) 基本目標 - 基本施策()	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)												
事業概要	【健康づくり推進課】〈健康相談事業〉 保健師や栄養士による健康相談を実施し、健康の保持増進ができるように支援する。(課内窓口や地区公民館等での対面による相談、電話相談、オンライン健康相談を実施) 【すくすく親子健康課】〈母子健康相談事業〉 母子健康相談として、マタニティ健康相談や乳幼児の健康相談等を行う。														
取組実績	【健康づくり推進課】〈健康相談事業〉 ・成人の心身の健康に関する個別の相談に応じ健康の保持増進ができるように支援した。 <table border="0"> <tr> <td>延べ</td><td>170回</td><td>545件</td></tr> <tr> <td>庁内健康相談</td><td>20回</td><td>20件</td></tr> <tr> <td>電話相談(コロナ関連含む)</td><td>138回</td><td>190件</td></tr> <tr> <td>地区健康相談</td><td>12回</td><td>335件</td></tr> </table> 【すくすく親子健康課】〈母子健康相談事業〉 マタニティ健康相談(243回) 1,132人 乳幼児健康相談(12回) 366人 幼児発達相談(24回) 287人 地区健康相談(13回) 62人 療育相談(4回) 7人		延べ	170回	545件	庁内健康相談	20回	20件	電話相談(コロナ関連含む)	138回	190件	地区健康相談	12回	335件	【事業費】 決算見込額 【健康づくり推進課】 3,643 千円 【すくすく親子健康課】 21,471 千円
延べ	170回	545件													
庁内健康相談	20回	20件													
電話相談(コロナ関連含む)	138回	190件													
地区健康相談	12回	335件													
事業進捗 状況	【健康づくり推進課】○ 【すくすく親子健康課】◎	自己評価	【健康づくり推進課】B 【すくすく親子健康課】A												
今後の 方向性	【健康づくり推進課】令和6年度以降も事業継続予定。 【すくすく親子健康課】令和6年度以降も事業継続予定。														

事業No. 7

事業名	★健康づくり団体等活動支援事業		担当部署	健康づくり推進課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 4- 基本施策(1)		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	食生活改善推進員養成研修会の開催及び食生活改善推進員協議会と連携した健康づくり事業を実施する。 地域の健康づくりのリーダーである保健推進員の育成及び保健推進員と連携した健康づくり事業を実施する。			
取組実績	・食生活改善推進員養成研修会は、感染対策のため中止していた調理実習を再開し全7回実施、延べ参加人数は56人であった。 ・食生活改善推進協議会と連携した健康づくり活動は、会の方針で参加人数を制限して活動を行った。 ・中央研修会は、全保健推進員対象に1回実施し、参加者は222人であった。また、地区研修会は19地区において、年2回(38回)実施し、参加者は691人であった。 ・新任者に対しての研修会は、改選期に伴うものであるため、令和5年度の実施はなかった。			【事業費】
				決算見込額 5,792 千円
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続。			

事業No. 8

事業名	地域自殺対策強化事業		担当部署	保健予防課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	講演会の開催や各種広報媒体を活用し、自殺対策に関する普及啓発を推進する。			
取組実績	○市広報・ホームページ等に記事を掲載し、事業の周知を行った。 ○市庁舎や八戸市総合保健センターでパネル展示やグッズ配布等 を行い、事業や相談先等の周知を行った。 ○自殺予防に関する講演会を実施し、44 人が参加した。			【事業費】 決算見込額 540 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	自殺予防に関する正しい知識の普及啓発と相談先の周知を継続して行う。			

事業No. 9

事業名	がん検診事業		担当部署	健康づくり推進課
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(1)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんのがん検診を行う。			
取組実績	・令和5年度受診者数(対前年度増減者数) 胃がん 13,183人(+50人) 肺がん 16,649人(+558人) 大腸がん 17,597人(+515人) 子宮頸がん 9,074人(-83人) 乳がん 6,491人(+558人)			【事業費】 決算見込額 297,053 千円
	○		自己評価	B
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続。			

事業No. 10

事業名	健康フェスタ開催事業		担当部署	国保年金課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	市民の健康づくりの意識高揚を図るため、講演会や健康展等を実施する。			
取組実績	○新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、多くの医療従事者が参加する従来の規模での開催は見送り、健康パネル展に加え、各種イベントを復活させた、「健康まつり」と「健康パネル展」の中間にあたる規模で開催した。 ※令和5年度より、イベント名称を「健康まつり」から「健康フェスタ」へ変更。 開催期間 令和5年10月21日(土)～10月23日(月) 来場者数 6,250人			【事業費】 決算見込額 1,162 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	参加団体と協力し、事業の継続と従来規模での開催を目指す。			

事業No. 11

事業名	★心のバリアフリー推進事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標1- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標3- 基本施策(4)		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標4- 基本施策(2)		□新規（未実施）	
事業概要	高齢者や障がい者等への理解を促し、思いやりの心を育むため、市民等を対象とした体験型講習会等を開催するとともに、各種広報媒体を活用し、正しい知識の普及啓発を図る。			
取組実績	○8月9日開催のボランティア・市民活動フェスティバル 2023 へ参加し、当課出展ブースには延べ 149 人が来場した。 （なお、ブースには、当てはまる項目にシールの貼り付けにより回答するパネルアンケート・クイズを出展した。）			【事業費】 決算見込額 29 千円
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	市民の意識啓発に向け、事業の周知を継続して行う。			

事業No. 12

事業名	★鷗盟大学運営事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 4 - 基本施策(2)		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	満 60 歳以上の市民が入学できる 2 年制の大学を運営し、一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目を学習する機会を提供する。			
取組実績	○一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を各学年とも学習計画どおり実施した。 ○クラブ活動、ボランティア活動を実施した。 ○総合美術展（令和 5 年 11 月 25～26 日開催）及び芸能発表会（令和 6 年 1 月 26 日開催）を開催した。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員 105 人のところを 80 人に変更し学生募集した。 ・ 1 学年 62 人（生活福祉科 50 人、園芸科 12 人） ・ 2 学年 45 人（生活福祉科 36 人、園芸科 9 人）			【事業費】 決算見込額 8,965 千円
	事業進捗 状況	◎	自己評価	A
今後の 方向性	令和 6 年度以降も事業継続予定。			

事業No. 13

事業名	シニアはつらつポイント事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	高齢者が介護施設などで行ったボランティア活動に対して、商品券との交換や福祉団体への寄附ができるポイントを付与する。			
取組実績	・新規研修会 3回 24人参加 ・スキルアップ講習会 2回 31人参加 ○会員登録者数 106人(うち活動実人数 23人) ○ポイント活用人数 11人			【事業費】 決算見込額 2,406 千円
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	事業の周知を強化することで、活動から離れた会員の再活動、また新たな会員を増やすことへつなげる。			

事業No. 14

事業名	★ほっとサロン・三世代交流事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標3－基本施策(2)		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標4－基本施策(3)		□新規(未実施)	
事業概要	〈ほっとサロン〉 高齢者の閉じこもりや孤独感の解消と、介護予防のためのほっとサロンを各地区で開催する。 〈三世代交流事業〉 三世代交流運動会、昔っこ遊び、三世代交流もちつき会、しめ飾り作りなどを各地区で開催する。			
取組実績	〈ほっとサロン〉 ○実施地区数…24 地区、サロン数…67 サロン、実施回数…695 回、 参加延人数…15,543 人 ○サロンリーダー研修会 開催…年 4 回、参加延人数…542 人 〈三世代交流事業〉 ○市内の児童館 16 会場で交流会を開催した。 主な内容…しめ飾り作り、グラウンドゴルフ教室等 実施回数…33 回 参加延人数…923 人(児童 393 人、高齢者 316 人、保護者 214 人)			【事業費】 決算見込額 3,671 千円
	事業進捗 状況	○	自己評価	A
今後の 方向性	活動内容を周知し、参加人数の増加を図る。			

事業No. 15

事業名	高齢者バス特別乗車証交付事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	70 歳以上の高齢者（身体障害者手帳1～4級・愛護手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者を除く）に対し、1年間利用できるバス特別乗車証を交付する。			
取組実績	○年度内に 70 歳を迎える高齢者や及び利用期間が満了となる対象者に対し、毎月、勧奨通知を発送し、希望者にバス特別乗車証をハチカで交付した。 交付者数 17,124 人			【事業費】 決算見込額 513,378 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 16

事業名	老人クラブ活動支援事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	老人クラブが行う社会奉仕活動、老人教養講座、健康増進事業の経費の一部を補助する。 老人クラブ連合会が行う運営事業費、特別事業費、健康づくり事業費、活動支援体制強化事業費の一部を補助する。			
取組実績	○老人クラブ(128クラブ)及び老人クラブ連合会へ補助金を交付した。 ○広報はちのへ裏表紙へ記事を連載した。(10月、2月)			【事業費】 決算見込額 10,913 千円
	◎		自己評価	B
今後の方向性	老人クラブ数(会員数)が減少していることから市老人クラブ連合会と連携し、クラブ活動の活性化や加入促進活動に取り組む。			

事業No. 17

事業名	障がい者バス特別乗車証交付事業		担当部署	障がい福祉課	
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(2)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)		
	基本目標－基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)		
	基本目標－基本施策()		☐ 新規(未実施)		
事業概要	6歳以上の障がい者に対し、市営バスや南部バスの市内全線で利用できるバス特別乗車証を交付する。				
取組実績	令和5年度に限り無償で交付することとし、フレイル予防や外出支援、地域経済の活性化に資する取組として対象者へ交付した。 令和5年度交付者数 4,600件			【事業費】	
				決算見込額 825 千円	
事業進捗状況	◎	自己評価	A		
今後の方向性	令和6年度以降は有償で事業継続予定。				

事業No. 18

事業名	自動車運転免許取得・改造事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	障がい者が自動車運転免許の取得及び自動車改造に要した経費を助成する。			
取組実績	・HP、手帳交付時に「障がい者のしおり」にて周知した。 ・「身体障害者自動車改造費助成金交付要領」の改正。 【申請件数】 ・運転免許取得費 14件 ・自動車改造費 9件			【事業費】 決算見込額 2,244 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和5年度までと同じ内容で実施。			

事業No. 19

事業名	意思疎通支援事業		担当部署	障がい福祉課	
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)		
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)		
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)		
事業概要	聴覚障がい者等が手話通訳又は要約筆記を必要とする場合に手話通訳者等を派遣する。また、手話奉仕員養成講座及び手話通訳者養成講座を行う。				
取組実績	○聴覚障がい者等が、手話通訳又は要約筆記を必要とする場合に、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 手話通訳者派遣 599件 要約筆記者派遣 4件 ○手話奉仕員養成講座を八戸市ろうあ協会に委託して実施した。 受講者 53人 ○手話通訳者養成講座を八戸市ろうあ協会に委託して実施した。 受講者 17人			【事業費】	
				決算見込額 15,685 千円	
事業進捗状況	◎	自己評価		A	
今後の方向性	事業を継続予定。				

事業No. 20

事業名	障がい者就労支援事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	障害者優先調達推進法の周知や同法による障害者就労施設等における提供物品等紹介のためのパンフレットを作成し、配布する。			
取組実績	障害者就労施設が提供する物品や役務を紹介するパンフレットを作成し、関係者等に配布した。 ・パンフレット名:「令和5年度版 八戸市障害者就労施設提供物品等ガイドブック」 ・作成部数: 400部 ・配付先等: 八戸市指定管理者、障害者就労施設、課窓口等			【事業費】 決算見込額 139 千円
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	障がい者の就労を促進するため、引き続きパンフレットを作成し、配布する。			

事業No. 21

事業名	★障がい者就労サポーター養成事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 4 - 基本施策(1)		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	障がい者雇用(予定含む)企業や障害者就労継続支援サービス事業所の関係者、その他市民等を対象に、障がいの特性や障がい者支援に関する制度について理解を深めるための障がい者就労サポーター養成講座を開催する。			
取組実績	・ 障がい者福祉制度等に関する講座を実施した。 開催5回、参加延人数123人 ・ 障がい者就労支援事業所等見学会を実施した。 開催2回、参加延人数26人			【事業費】 決算見込額 326 千円
	○		自己評価	B
今後の 方向性	障がいに対する理解を深めるため、継続して講座を開催する。			

事業No. 22

事業名	障がい者就労支援団体ネットワーク事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	障がい者の就労に関する情報について、関係事業所・団体や市民に対して情報提供・共有を行う。 意見交換等を行う会議や市民を含めた研修会を開催する。			
取組実績	・ ネットワーク会議を実施した。 開催5回、参加延人数149人 ・ 運営委員会(ネットワーク会議の下部組織) 開催2回、参加延人数19人 ・ 就労に関する研修会を実施した。 開催1回、参加人数27人 ※参加団体…77団体(障害者就労支援事業所、行政機関ほか)			【事業費】 決算見込額 356 千円
	事業進捗 状況	○	自己評価	B
今後の 方向性	障がい者の就労支援の促進を図るため、継続して会議等を開催する。			

事業No. 23

事業名	地域活動支援センター事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(2)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	障がい者の創作的活動や生産活動の機会の提供等を行う。 専門職員(精神保健福祉士等)を配置し、医療、福祉等との連携強化のための調整や地域住民ボランティアの育成等を実施する。			
取組実績	・3法人へ補助金を交付し、障がい者の創作的活動や生産活動の機会の提供を行った。 (こころすこやか財団「青明舎」、清照会「ぴあみなと」、杏林会「ハートステーション」) 利用実績人数(3法人合計延べ人数): 8,488人 ・地域交流活動への参加や大学へ赴きサポーター養成講座を開催した。			【事業費】
				決算見込額 36,000 千円
事業進捗状況	○	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業実施予定。			

事業No. 24

事業名	障がい者団体活動支援事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	障がい者関係の社会福祉団体が行う社会福祉の向上に資する事業に対して、補助金を交付し支援を行う。			
取組実績	○ 6団体に補助金を交付した。			【事業費】
	※感染症の影響を考慮し、事業を縮小して実施したことで、補助金の上限に達しない団体もあった。			決算見込額 776 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	B	
今後の方向性	社会福祉団体への支援を継続して実施する。			

事業No. 25

事業名	シルバー人材センター育成・援助事業		担当部署	産業労政課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	高齢者の地域における就労やボランティア活動などを行うシルバー人材センターを支援する。			
取組実績	○会員数目標 1,324 人に対して 1,308 人であり、目標値の 98.8% であった。			【事業費】
				決算見込額 13,800 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	今後も八戸市シルバー人材センターが高齢者の希望に応じた就業の機会の確保及び提供等を行えるよう、運営に対する補助を継続していく。			

事業No. 26

事業名	公民館講座		担当部署	社会教育課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	各地域の特性を生かした学習活動を推進し、魅力ある地域づくりができるような講座を実施する。			
取組実績	地区公民館において、各種講座（公民館活動教室、青年学級、女性学級、高齢者教室、市民学校、家庭教育学級、移動公民館、市民 IT 講習会）を実施した。 ・開催回数 1,496 回 ・延時間 3,154 時間 ・参加延人数 17,312 人			【事業費】
				決算見込額 8,360 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 27

事業名	八戸市民大学講座		担当部署	社会教育課	
施策体系 位置付け	基本目標1 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)		
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)		
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)		
事業概要	各分野における専門家や当市に縁のある方などを講師に迎えた講座を開催する。				
取組実績	期間：5月24日～11月16日 実施回数：10回 受講者数：2,094人 会場：八戸市公会堂、八戸市公会堂文化ホール			【事業費】	
				決算見込額 5,095 千円	
事業進捗 状況	◎	自己評価	A		
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。				

事業No. 28

事業名	救急医療体制整備事業		担当部署	保健総務課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(3)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	医療機関・救急患者搬送機関等と連携し、初期救急から重篤・重症な救急患者まで、症状等に応じた救急医療が行える体制を整備する。			
取組実績	医療機関・救急患者搬送機関等と連携し、初期救急から重篤・重症な救急患者まで、症状等に応じた救急医療の確保を図った。 〔実施事業〕 第1次救急：休日夜間急病診療所運営事業 休日歯科診療所運営事業 県救急医療情報システム運営事業 休日夜間当番薬局等事業 第2次救急：病院群輪番制運営事業 第3次救急：救命救急センター運営事業		【事業費】 決算見込額 398,919 千円	
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	継続して実施予定。			

事業No. 29

事業名	地域医療連携の推進		担当部署	保健総務課
施策体系 位置付け	基本目標1－基本施策(3)	事業区分	■継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標－基本施策()		☐ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標－基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	急性期の医療機関やかかりつけ医など、疾病や病態に応じた適切な医療機関の受診を推進するための周知を行う。			
取組実績	休日夜間急病診療所や症状による受診の目安などの情報を、新聞・八戸市ホームページ・八戸市公式ラインに掲載			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	継続して実施予定。			

事業No. 30

事業名	A E D普及促進事業		担当部署	保健総務課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(3)	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	ボランティア団体等との協働によりA E D講習会を開催する。 イベント等での救命活動に備えるため、圏域内でA E Dの相互利用を行う。 A E D設置施設の情報提供を行う。			
取組実績	〔実施内容〕 ・AED 講習会の開催 ・AED 設置施設・事業所に係る情報提供〔AED マップの整備〕 ・市所管施設への AED 設置 ・AED 本体・講習用機器の貸出			【事業費】
				決算見込額 5,608 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	継続して実施予定。			

事業No. 31

事業名	ドクターカー運行事業		担当部署	保健総務課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(3)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	医師を乗せて救急現場に直行する「ドクターカー」を市民病院に配備、運行する。			
取組実績	八戸市立市民病院にドクターカーを配備・運行した。 ドクターカーの運行に係る高度医療機器の整備や更新を行った。			【事業費】 決算見込額
				16,395 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	継続して実施予定。			

事業No. 32

事業名	男女共同参画情報発信事業		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	固定的性別役割分担意識を払しょくし、市民及び事業所の男女共同参画意識の醸成を図るため、情報誌「WITH YOU」の発行や広報・ホームページ等により、身近な場面での男女共同参画の話題提供・情報発信を行う。			
取組実績	○男女共同参画社会を考える情報誌「WITH YOU」を年2回発行した。 発行時期…秋号10月、春号3月 発行部数…秋号15,000部、春号8,000部 配布先数…各号600か所程度(公共施設、商業施設、イベント等) ※秋号は町内会での班回覧も実施 ○広報はちのへに、国の男女共同参画週間お知らせ記事(6月号)、 八戸市男女共同参画推進月間啓発特集記事(10月号)を掲載した。 ○各事業の開催情報や実施結果、国の制度やセミナー開催情報等を 市ホームページに掲載した。			【事業費】 決算見込額 1,232 千円
	事業進捗 状況	◎	自己評価	A
今後の 方向性	情報誌の発行方法について検討しながら、事業を継続して行う。			

事業No. 33

事業名	意識啓発講演会開催事業		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	市民を対象に男女共同参画の必要性について普及啓発を図るため、八戸市男女共同参画推進月間である 10 月に意識啓発講演会を開催する。			
取組実績	○男女共同参画意識啓発講演会(市民大学講座内の一講座)を開催した。 講師：菊地 幸夫(弁護士) 演題：仕事も家庭も一生懸命 ～菊地流ワーク・ライフ・バランス～ 開催日時：10 月 23 日(月) 18：30～20：00 開催場所：八戸市公会堂文化ホール			【事業費】 決算見込額 515 千円
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	より多くの方に参加していただけるよう周知を図り、事業を継続して行う。			

事業No. 34

事業名	ロールモデル PR 事業		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、起業や就業、社会活動等の様々な分野で活躍する方の情報を発信する。			
取組実績	下記のとおり、発信する。 ○ラジオ放送：年6人 ○広報はちのへ：年3人(7月号、10月号、4月号) ○男女共同参画社会を考える情報誌「WITH YOU」：年2人			【事業費】 決算見込額 905 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	継続して行う。			

事業名	LGBT 等理解促進事業		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標 1 - 基本施策(4)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	差別や偏見のない誰もが生活しやすいまちづくりを推進するため、市民や職員を対象とした研修会を通じて、性的指向や性自認に関する理解促進と意識啓発を図る。			
取組実績	○市民及び事業者向け性的マイノリティへの理解促進のための講座を開催した。 ・講師：永易 至文（行政書士／NPO 法人パープル・ハNZ事務局長） ・演題：性的マイノリティの高齢期を考える ～安心して過ごすためのヒント～ ・開催日時：（会場上映）8月26日（土）、28日（月） （オンデマンド配信）8月1日（火）～31日（木） ・受講者数：一般受講者 53 名（オンデマンド 49、会場上映 4）、市職員 25 名（会場上映 25 名） ○市民向け LGBT 等理解促進リーフレットを配布した。（6月、3月） ・仕様：A4 サイズ、巻き三つ折り、4 色カラー ・配布先：庁内各課、市内小中学校、公共施設 等 ○指差しカードを配布した。（3月） ・仕様：A6 サイズ、4 色カラー、ラミネート加工 ・配布先：庁内各課			【事業費】 決算見込額 223 千円
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	市民や事業者などを対象に広く理解を促進することを目指し、継続する。			

基本目標 2 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり

【実施状況】 登載事業数 41 事業 (未実施 2 事業)

基本施策(1) 自立支援と権利擁護の推進 (18 事業)

基本施策(2) 相談支援体制の充実と適切な情報発信 (14 事業) ☆再掲事業 No.1、6

基本施策(3) 課題解決に向けたネットワークの構築 (5 事業)

基本施策(4) 再犯防止施策の推進 (4 事業)

事業No. 36

事業名	日常生活自立支援事業（民間）		担当部署	市社会福祉協議会
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策（1）	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや日常生活に必要な金銭管理の援助等を行う。 青森県社会福祉協議会より委託を受け、八戸圏域 8 市町村を対象に事業を実施。			
取組実績	○相談件数 1,222 件			【事業費】
	○新規契約件数 8 件（内訳：認知症高齢者 2 件、知的障がい者等 4 件、精神障がい者等 2 件）			決算見込額
	○実利用件数 79 件（内訳：認知症高齢者等 30 件、知的障がい者等 20 件、精神障がい者等 27 件, その他 2 件）			11,215
	○契約内容にそって、利用者宅等を定期的に訪問し、福祉サービスの利用手続きや預金の出し入れをサポートする生活支援員を 41 人配置した。			千円
	○市社協ホームページ、広報誌に事業内容を掲載し、周知を行った。			
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	令和 6 年度以降も事業継続予定。			

事業No. 37

事業名	生活困窮者自立相談支援事業		担当部署	生活福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	「生活自立相談支援センター」を開設し、生活困窮者からの相談について複合的な課題の分析やその解決に向けた専門機関への適切なつなぎ、個々の状況に応じた自立支援計画の作成等の支援を行う。			
取組実績	・生活困窮者からの相談に包括的に対応するとともに、その自立に向けて、アセスメントの実施、プランの作成等の支援を行った。 (R5 年度実績…496 件) ・事業周知のため広報はちのへに特集記事の掲載を行った。			【事業費】 決算見込額
				24,096 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	事業継続予定。			

事業No. 38

事業名	住居確保給付金		担当部署	生活福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	離職や自営業の廃業又はやむを得ない休業等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれの高い方に、一定期間、家賃相当分(支給要件・上限あり。共益費等は対象外)の住居確保給付金を支給し、住居と就労機会の確保を支援する。			
取組実績	・ 離職者等から住居確保給付金について、相談及び申請を受け付け、支給対象者に対しては面接等の就労支援を行った。(R5 年度実績…22 件)			【事業費】
				決算見込額 2,008 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	広報等で事業の周知を図り事業継続予定。			

事業No. 39

事業名	家計改善支援事業		担当部署	生活福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 2- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	生活困窮者からの相談に応じ、家計管理に関する助言や指導、貸付のあっせん等を実施し、家計管理能力の向上等により、自立した生活の定着を支援する。			
取組実績	・家計に課題を抱える生活困窮者に対して、公的制度の利用支援、家計表の作成等の家計に関するきめの細かい相談支援を行うとともに、必要に応じて資金の貸付の斡旋等を実施した。(R5 度実績…6 人)			【事業費】 決算見込額
				—
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	広報等で事業の周知を図り事業継続予定。			

事業No. 40

事業名	生活困窮者等学習支援事業		担当部署	生活福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	生活困窮世帯の中学校から高等学校までの生徒に対し、特定の場所を確保した拠点型の学習指導を行う。 拠点型の支援に参加する生徒とその保護者への学校生活や進路等に関する相談支援を通じて生徒(世帯)の状況を把握し、必要に応じて訪問型・通信型の学習支援を行う。			
取組実績	・生活困窮世帯の中学校から高等学校までの生徒を対象に学習支援・居場所の提供・進路相談・高校中退防止のための支援・親に対する教育支援等を行った。(R5 年度実績…参加申込者数 160 人) ・学習会場へ通うことが困難な地域に対して、夏休み等の長期休みを利用した体験教室を開催した。(白銀南公民館など 3 か所) ・チラシを年 2 回作成、配布し対象世帯への周知を図った。			【事業費】 決算見込額 15,532 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	生活困窮者世帯への周知を図り事業継続予定。			

事業No. 4 1

事業名	生活保護受給者等就労準備支援事業		担当部署	生活福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策 (1)	事業区分	■継続 □追加 (実施中)	
	基本目標 - 基本施策 ()		□新規 (実施中) □追加 (未実施)	
	基本目標 - 基本施策 ()		□新規 (未実施)	
事業概要	就労意欲が低い、生活習慣の改善が必要等の課題を抱え、直ちに就労することが困難な生活困窮者を対象に、就労に向けた支援や就労機会の提供を行う。			
取組実績	稼働年齢層にありながら就労意欲や生活習慣等、稼働能力の活用に課題がある方に対し、以下の事業を実施した。 ・ カウンセリング業務 (R5 実績…受け入れ人数 20 名) ・ 就労意欲喚起業務 (R5 実績…支援対象者 47 名) ・ 就労訓練及び就労体験業務 (R5 実績…就労率 47%) ・ 求人開拓業務 (R5 実績…求人開拓数 19 件) ・ 職場定着支援業務 (R5 実績…職場定着率 79%)			【事業費】
				決算見込額 35,526 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	事業継続予定。			

事業No. 4 2

事業名	成年後見センター事業（地域連携ネットワークの中核機関及び協議会の設置運営）		担当部署	高齢福祉課 障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策（1）	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	権利擁護に関する総合相談を行う。 成年後見ネットワーク会議を運営する。 成年後見セミナーを開催するなど成年後見制度等に関する啓発・研修を行う。			
取組実績	○権利擁護総合相談 相談件数 238 件 ○成年後見制度利用促進 成年後見ネットワーク会議 2 回 成年後見拡充PT会議 2 回 アップルハート担当者との打合せ 12 回 ○研修・啓発 八戸圏域成年後見セミナー 2 回 成年後見制度説明会 4 回 出前研修 7 回 出張相談会 2 回			【事業費】 決算見込額 14,262 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業を継続する。			

事業No. 43

事業名	成年後見制度利用支援事業		担当部署	高齢福祉課 障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	高齢者や障がい者などの成年後見制度利用にあたり、必要経費負担能力のない者 に対して経費の一部又は全部を助成する。			
取組実績	【高齢福祉課】 〈高齢者〉 ○市長申立件数 8 件 ○成年後見人等報酬助成 4 件			【事業費】 決算見込額 【高齢福祉課】 1,286 千円
	【障がい福祉課】 〈障がい者〉 ○市長申立件数 3 件 ○成年後見人等報酬助成 3 件			【障がい福祉課】 872 千円
事業進捗 状況	【高齢福祉課】○ 【障がい福祉課】○	自己評価	【高齢福祉課】B 【障がい福祉課】B	
今後の 方向性	【高齢福祉課】国の動向を見ながら継続して行う。 【障がい福祉課】令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 44

事業名	★市民後見推進事業		担当部署	高齢福祉課 障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 2- 基本施策(1)	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 4- 基本施策(1)		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	市民後見人養成研修や市民後見人フォローアップ研修を開催するとともに、市民後見人の活動支援を行う。 市民後見人候補者への助言、後見人受任後の継続的な支援を行う。 市民後見人の名簿管理を行う。 成年後見制度の利用支援等に関する必要事項の調査審議を行うため、市民後見推進協議会を開催する。			
取組実績	【高齢福祉課】 ○市民後見人フォローアップ研修4回 ○市民後見人の名簿管理及び活動支援を実施 随時 ○市民後見推進協議会1回			【事業費】 決算見込額 623 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	市民後見人がいつでも活動できるよう研修機会を設けるとともに、市民後見の推進に係る政策の検討を行う。			

事業No. 45

事業名	高齢者虐待防止研修会の開催		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2－基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	市民や高齢者施設関係職員等を対象に、高齢者虐待に関して啓発を行うとともに、 高齢者虐待の実態と防止・対応上の留意点を学ぶことを目的に研修会を開催する。			
取組実績	日 時：令和5年8月22日(火) 14時～15時30分 内 容：介護ハラスメントの内容や対応方法について学ぶ 講 師：小泉 紀之 氏(合同会社エコノモラル代表社員) 受講者数：58名(市内の特養、有料老人ホーム、通所系サービス、 訪問系サービス等の職員)			【事業費】 決算見込額 10 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	ニーズを捉えて必要な研修を実施する。			

事業No. 46

事業名	高齢者・障がい者虐待対策ケース会議の開催		担当部署	高齢福祉課 障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	高齢者や障がい者に対する虐待の防止及び早期発見を図り、その原因を明らかにする。 被害者及び家族等への総合的な支援策を検討し、各関係機関との連携システムを構築する。			
取組実績	【高齢福祉課】 日時：令和6年3月21日(木) 10時30分～11時30分 内容：社会福祉法人Aが運営する施設を対象とする虐待通報について			【事業費】 決算見込額 44 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	同水準の内容で事業を継続する。			

事業No. 47

事業名	児童虐待防止対策事業		担当部署	こども家庭相談室
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	児童虐待防止に関する住民向けセミナー及び専門職向けの研修会を実施する。(八戸連携中枢都市圏事業)			
取組実績	○圏域住民向け研修会を実施 開催日：令和5年11月23日(木・祝) 場 所：八戸市総合保健センター テーマ：しからずにすむ子育ての方法、しつけの仕方 ～大切な我が子の心と脳の成長のために～ 参加者：125名(うち、八戸市84名) ○専門職向け研修会を実施 開催日：令和5年11月24日(金) 場 所：八戸市総合保健センター テーマ：防ごう！マルトリ ～親子の見守りのポイント～ 参加者：171名(うち、八戸市125名)			【事業費】 決算見込額 133 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 48

事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付事業		担当部署	こども家庭相談室
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	母子父子寡婦福祉法に基づき、母子家庭・父子家庭・寡婦を対象に、経済的自立を図るため12種類の資金により貸付を行う。			
取組実績	○母子家庭・父子家庭・寡婦を対象に、母子父子寡婦福祉資金の貸付を行った。 令和5年度貸付件数…61件(新規48件、継続13件) ○広報はちのへ及び市ホームページの掲載等により事業の周知を図った。			【事業費】 決算見込額 86,140 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 49

事業名	いじめ問題対策連絡協議会の開催		担当部署	教育指導課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	公立小・中学校におけるいじめの防止等に関する対策を総合的かつ効果的に推進するため、関係機関や団体等で構成する会議を開催し、情報共有や啓発活動等について連携して対応する。			
取組実績	○連絡協議会を11月13日に開催し、10機関が出席した。 ○連絡協議会では、いじめの現状やいじめ防止のために各機関・団体が取り組んでいる内容について、情報共有を行った。			【事業費】 決算見込額 38 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も、事業を継続して行う。			

事業No. 50

事業名	権利擁護支援事業		担当部署	高齢福祉課 障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標 2- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	高齢者やその家庭に重層的な課題が存在している等の困難事例や虐待事例を把握した場合には対応を検討し、必要な支援を行う。 日常生活自立支援事業、成年後見制度等の制度の説明や活用等、ニーズに即した適切なサービスや関係機関につなぎ、適切な支援を提供することにより、高齢者の生活の維持を図る。 消費者被害を防止するため、必要な情報提供や消費生活センター等と連携した対応を行う。 障がい者虐待に関する普及啓発活動の推進、虐待対応ケース会議の運営を行う。			
取組実績	1 毎月1回、高齢者虐待事例検討会を開催し、虐待事例等の支援について検討した。 2 高齢福祉課、高齢者支援センター、成年後見センターにおいて、成年後見制度等の相談に対応した。 ●ほか、事業No.43、46 の取組実績が事業No.50 の取組実績となる。			【事業費】 決算見込額 —
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	権利擁護が必要な人の発見と支援を続ける。			

事業No. 51

事業名	母子家庭等対策総合支援事業		担当部署	こども家庭相談室
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	ひとり親家庭等の自立を目的として、就職、生活援助、資格取得、学び直し、法律相談等の総合的な支援を行う。			
取組実績	・ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業を実施した。 (就業支援講習会の開催等を実施、法律相談会3回) ・ひとり親家庭等日常生活支援事業を実施した。 (派遣家庭件数：0件、派遣延べ回数：0回) ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業を実施した。 (講座指定件数：3件、支給件数：3件) ・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業を実施した。 (支給件数：訓練促進給付金12件、修了支援給付金2件) ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を実施した。 (支給件数：0件)			【事業費】
				決算見込額 17,767 千円
事業進捗 状況	○	自己評価	B	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 52

事業名	市営住宅における優先入居		担当部署	建築住宅課
施策体系 位置付け	基本目標 2- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	市営住宅の入居に際し、多子世帯、ひとり親世帯、DV被害者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等、居住の安定を図る必要がある世帯に対し、優先的な取扱いを行う。			
取組実績	・令和5年度市営住宅入居募集において、募集戸数の約3割を優先入居募集に設定した。(優先募集戸数 12戸) ・居住の安定を図る必要がある世帯の市営住宅入居申込について、住宅困窮度の点数の加算を行った。			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	今後も事業の継続を行う。			

事業No. 53

事業名	住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅登録事業		担当部署	建築住宅課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	空き家、空き室の所有者等からの申請に基づき、その家屋を利用して高齢者、低所得者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として登録し、広く一般に情報提供する。			
取組実績	・セーフティネット住宅情報提供システムからの申請に基づき登録を行い、公開した。 令和5年度新規登録数 178戸 (25棟) 令和5年度追加登録数 8戸 令和5年度抹消登録数 0戸 (0棟) 令和5年度末登録状況 2,487戸 (374棟) ・チラシや市ホームページ等により、事業内容や登録物件に関する情報を掲載した。			【事業費】 決算見込額 —
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	今後も事業の継続を行う。			

事業No. 54

事業名	★地域子育て支援センター事業		担当部署	こども未来課
施策体系 位置付け	基本目標 2－ 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 3－ 基本施策(2)		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	地域の認定こども園・保育所（園）への委託により、子育ての不安・悩みの相談や保護者同士が交流する場を提供する。			
取組実績	○認定こども園や保育所において、在園児以外の地域の親子に対して下記の取り組みを実施した。子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施、地域の子育てサロンとの連携、地域支援活動の実施 ○事業の類型別に下記の施設数で実施した。 一般型（6～7日）…1か所、一般型（5日）…3か所、 一般型（3～4日）…8か所 ○年間利用者数 15,568人			【事業費】 決算見込額 50,602 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	B	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 55

事業名	障がい者相談支援事業		担当部署	障がい福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	障がい者が地域で自立した生活を営むことができるように、障がい者等からの相談に応じ必要な情報の提供及び援助を行う。			
取組実績	・3法人に委託し、障がい者等の相談に応じた。 （こころすこやか財団「青明舎」、清照会「ぴあみなと」、杏林会「ハートステーション」） 対応実績人数（3法人合計）…3,173人			【事業費】
				決算見込額 19,800 千円
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 56

事業名	女性健康支援センター事業		担当部署	すくすく親子健康課
施策体系 位置付け	基本目標 2- 基本施策(2)	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	身体的・精神的悩みや健康状態等に関する相談に対し、助言や指導などを行う。 女性の健康週間に合わせ、講演会を開催する。			
取組実績	<女性の健康相談> 面接相談 3 件 電話相談 33 件 <女性のための健康講座> 36 名参加			【事業費】
				決算見込額 3,524 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 57

事業名	八戸版ネウボラ推進事業		担当部署	すくすく親子健康課 こども家庭相談室 こども支援センター
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	妊産婦及び乳幼児の保護者、子どものいる家庭が安心して子育てできるよう、母子保健の「すくすく親子健康課(子育て世代包括支援センター)」、福祉事務所「こども家庭相談室(子ども家庭総合支援拠点)」、教育委員会「こども支援センター」の3部署が総合保健センター内においてワンストップで相談対応できるよう、子育て支援に係る保健・福祉・教育の連携強化を図る。			
取組実績	○関係課(すくすく親子健康課、こども家庭相談室、こども支援センター)の連携を強化を図るため、子ども家庭支援関係課担当者会議を実施。 開催回数：計12回(うち1回は書面会議)※毎月1回。			【事業費】 決算見込額 —
	◎		自己評価	A
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 58

事業名	子ども家庭見守り・訪問支援事業		担当部署	こども家庭相談室
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(2)	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	保護者等にメリットがある育児や家事等の支援提供を行いながら、要保護・要支援児童の安否確認を行う。 生活支援を通じて基本的な生活習慣の習得支援を行う。			
取組実績	○委託先：有限会社ひかり ○支援回数：114 回（支援員派遣 39 回、相談支援 75 回）			【事業費】 決算見込額 1,931 千円
	○		自己評価	B
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 59

事業名	女性相談事業		担当部署	こども家庭相談室
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	女性保護を目的として女性相談員3名を配置し、相談に応じ助言指導を行う。 配偶者暴力相談支援センターを運営し、DV被害の疑いのある相談については、緊急の場合、一時保護するなど必要な措置を講じるほか、各種証明書の発行を行う。 DV被害者の自立に向けて、関係課と連携し支援を行う。			
取組実績	○女性相談として、延べ 961 件の相談に対応した。 ○DV 被害相談として、延べ 554 件の相談に対応した。(※副訴が DV であるもの、及び男性からの DV 相談も含む) ○DV 被害者支援庁内連絡会議を実施した。(実施月：7、2月) ○DV 防止のカード及びポスターを設置し普及啓発を図るほか、広報はちのへ及びはちすく通信 LINE 等を活用し、相談窓口の周知を行った。			【事業費】 決算見込額 19,160 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 60

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業		担当部署	教育指導課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	市立小・中学校10校(1名につき2校)を拠点に、スクールソーシャルワーカーが全中学校区において相談活動を展開する。 スクールソーシャルワーカースーパーバイザーを教育委員会内にある八戸市少年相談センターに配置し、学校や保護者からの相談、スクールソーシャルワーカーの派遣調整、関係機関との連絡調整を行う。			
取組実績	○市立小学校2校、中学校8校に5人のスクールソーシャルワーカーを配置し相談活動を展開するとともに、配置校以外の小・中学校55校については、近隣の配置校から必要に応じて派遣した。 ○教育指導課内の少年相談センターにスクールソーシャルワーカースーパーバイザーを配置し相談活動を行うとともに、スクールソーシャルワーカーの派遣調整等を行った。 ・延べ相談件数 1,008件 ・学習活動支援 1,431回 ・家庭訪問 204回			【事業費】 決算見込額 7,284 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	事業及び各学校への周知を継続して行う。			

事業No. 61

事業名	福祉サービスの苦情相談・解決事業		担当部署	関係各課			
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(2)	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)				
	基本目標 - 基本施策()						
	基本目標 - 基本施策()						
事業概要	福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するため、助言、相談、調査、あっせん等を行う。						
取組実績	・参考のため、福祉サービス相談センター（青森県運営適正化委員会）で受け付けた、さまざまな福祉サービスについての苦情、相談件数について、当該センターへ聞き取りを行った。 (単位：件)				【事業費】 決算見込額 —		
	区分	高齢者	障がい者	児童		その他	合計
	苦情	1	0	2		0	3
	相談	9	9	2		0	20
事業進捗状況	— (参考聞き取りのため評価対象外)		自己評価	D			
今後の方向性	参考数値のため評価等は行わず、福祉サービス相談センターへ数値の聞き取りを継続する。						

事業No. 62

事業名	多機関協働による包括的相談支援体制の整備		担当部署	福祉政策課	
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☒ 新規(未実施)		
	基本目標 - 基本施策()				
	基本目標 - 基本施策()				
事業概要	「住民に身近な圏域」にある相談支援機関等では対応しがたい複合的かつ複雑な課題や制度の狭間にある課題等を、多機関が協働して包括的に受け止める相談支援体制を整備する。				
取組実績	実績なし				【事業費】 決算見込額 —
事業進捗状況	—		自己評価	D	
今後の方向性	関係機関等との調整等を行い第4期計画期間内の実施を目指す。				

事業名	重層的支援体制整備事業		担当部署	関係各課
施策体系 位置付け	基本目標2 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中） ☐ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施） ☒ 新規（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()			
	基本目標 - 基本施策()			
事業概要	対象者の属性を問わない包括的な「相談支援」、社会とのつながりを作る「参加支援」、地域からの孤立を防ぎ交流や活躍の機会を生み出す「地域づくりに向けた支援」を一体的に行う重層的支援体制整備事業の実施について検討する。			
取組実績	実績なし			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗 状況	—	自己評価	D	
今後の 方向性	関係機関等との調整等を行い第4期計画期間内の実施を目指す。			

事業名	様々な媒体による情報発信	担当部署	関係各課									
施策体系 位置付け	基本目標2-基本施策(2) 基本目標-基本施策() 基本目標-基本施策()	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)									
事業概要	子育ての情報や高齢者の情報など、対象者に応じた様々な媒体による情報提供を推進する。											
取組実績	【高齢福祉課】 ○八戸市認知症ケアパス「認知症たすけるすけ」を作成し、関係機関に配布した。また、デジタルサイネージによるPR及びYouTubeでPR動画を配信した。 ・作成部数…1,800部 ・動画再生回数…171回(令和6年3月末時点) ○高齢者支援センターのパンフレットを作成し、関係機関に配布した。また、高齢者支援センターの情報をラジオで発信した。 ・作成部数…3,000部 ○介護予防動画「自分でできる介護予防」をYouTubeで配信した。 ・動画再生回数…2,087回(令和6年3月末時点) ○在宅医療を希望される方や医療・介護従事者向けに、市ホームページで医療と介護の連携マップを運用した。 ・閲覧(ページビュー)数…140,327PV/年 【子育て支援課】 ○子育て情報Webサイト「はちすく」を運営した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>年間</th><th>月平均</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイト訪問者数</td><td>16,033人</td><td>1,336人</td></tr> <tr> <td>サイト閲覧回数</td><td>26,794回</td><td>2,233回</td></tr> </tbody> </table> ○子育て情報配信事業として「はちすく通信」をLINEで配信した。 LINE登録者数…2,120人(令和6年3月末時点) ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」を運用した。 アプリ登録者数…2,566人(令和6年3月末時点)			年間	月平均	サイト訪問者数	16,033人	1,336人	サイト閲覧回数	26,794回	2,233回	【事業費】 決算見込額 【高齢福祉課】 653 千円 【子育て支援課】 2,589 千円
	年間	月平均										
サイト訪問者数	16,033人	1,336人										
サイト閲覧回数	26,794回	2,233回										
事業進捗 状況	【高齢福祉課】◎ 【子育て支援課】◎	自己評価	【高齢福祉課】A 【子育て支援課】A									
今後の 方向性	【高齢福祉課】各種媒体による情報発信を継続して行う。 【子育て支援課】子育て世代の情報収集に対する負担を軽減できるような情報提供に努める。											

事業No. 65

事業名	高齢者、障がい者等に配慮した情報発信		担当部署	関係各課
施策体系 位置付け	基本目標 2 - 基本施策(2)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	高齢者や障がい者、外国人など、情報を得ることが困難な人にも必要な情報が確実に届くよう、拡大文字、ふりがな併記、音声案内、手話・筆記、イラスト、ピクトグラム、色使いの配慮など、相手方の特性を踏まえた適切な伝達手段を使って情報発信を行う。			
取組実績	【市民連携推進課】 在住外国人向けに、行政情報・生活情報・災害情報の多言語や、ふりがな併記、やさしい日本語での情報発信を実施した。 ・外国人住民への生活情報紙「リビングガイド」を多言語で配布した(英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語、インドネシア語*R5 新規) ・外国人用ほっとするメールの配信をした ・外国人のための防災ハンドブックを作成・配布した			【事業費】 決算見込額 —
	事業進捗状況	○	自己評価	B
今後の方向性	在住外国人向けの多言語での情報発信を拡充する。			

事業No. 66

事業名	虐待等防止対策会議の開催		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標 2－ 基本施策（3）	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	虐待等の防止に係る対策を分野横断で総合的に推進するため、保健・医療・福祉・介護・教育等の関係機関で構成する会議を開催し、庁内の分野別会議における対応体制の検証・助言等を行う。			
取組実績	○ 令和5年7月11日に「八戸市虐待等防止対策会議」を開催し、同会議の概要説明及び関係各課が所管する個別会議から当市における虐待・いじめの現状及びその防止等についての取組を報告し、委員より意見聴取を行った。（出席委員 15 名）			【事業費】 決算見込額
				136 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も同様に事業実施。			

事業No. 67

事業名	★生活支援体制整備事業		担当部署	高齢福祉課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(3)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標3- 基本施策(4)		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組(生活支援サービス)のマッチングを行う生活支援コーディネーターを配置する。 生活支援コーディネーターを補完し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する協議会を開催する。 住民ニーズの把握と自助や互助の取組を促進するため、ワークショップを開催する。			
取組実績	○第1層生活支援コーディネーターを当課に3名配置、第2層コーディネーターを市内12か所の高齢者支援センターに各2名配置し、計27名の生活支援コーディネーターを配置した。 ○多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する協議会を2回開催した。 ○住民自身が地域の課題について互助による解決策を検討することを目的としたワークショップを2回開催した。			【事業費】 決算見込額
				212 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を図る。			

事業No. 68

事業名	自殺対策ネットワーク会議の開催		担当部署	保健予防課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(3)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	自殺対策に関わる保健、医療、福祉、教育、商工、労働、警察、消防、民間団体等の連携強化及び情報交換を行う。			
取組実績	○自殺対策ネットワーク会議を令和6年2月14日に開催し、16の関係機関が出席した。			【事業費】
				決算見込額 66 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	会議を開催し、関係機関との情報交換を継続して行う。			

事業No. 69

事業名	ひきこもり対策ケース会議の開催		担当部署	保健予防課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(3)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	地域支援者、行政機関の職員、その他ひきこもりの相談関係者等の関係機関が相互に連携し、ひきこもり支援の充実を図る。			
取組実績	○ひきこもり対策ケース会議を令和5年8月2日に開催し、12 機関・団体計14人が出席した。			【事業費】 決算見込額
				9 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	会議の開催を継続する。			

事業No. 70

事業名	要保護児童対策地域協議会の開催		担当部署	こども家庭相談室
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(3)	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	児童相談所やDV相談支援センターで対応した虐待案件へのその後の見守り・支援、要保護・要支援児童（ヤングケアラー含む）への支援などについて、関係課及び関係機関で定期的に会議を開催し、連携して対応する。			
取組実績	○代表者会議：1回開催（令和5年8月28日開催） ○実務者会議：12回開催（毎月1回）。 ○ケース検討会議：138件			【事業費】 決算見込額 55 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 71

事業名	更生保護活動への支援		担当部署	くらし交通安全課 福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標 2－ 基本施策（4）	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		■新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		☐ 新規（未実施）	
事業概要	地域における更生保護活動の中心的な役割を担う八戸地区保護司会及び保護司の活動拠点である更生保護サポートセンターへの支援を行う。			
取組実績	○八戸地区保護司会における犯罪予防活動の推進を図るため、補助金を交付し支援した。 八戸地区保護司会補助金…211,000 円			【事業費】 決算見込額
				211 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 72

事業名	社会を明るくする運動の推進		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(4)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	再犯防止に関する意識の醸成を図るため、保護司会、更生保護女性会、BBS会、警察、拘置支所、教育委員会等と連携し、街頭啓発活動や各種媒体を用いた広報活動を実施する。			
取組実績	○7月の「社会を明るくする運動」強化月間に、「社会を明るくする運動」の市庁前広場へのぼり旗設置、中心街における街頭啓発活動等を八戸地区保護司会に協力して実施した。			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も各団体と連携して広報活動を継続する。			

事業No. 73

事業名	民間協力者や関係団体等との連携		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標2- 基本施策(4)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	保護司、更生保護女性会など、関係団体の会議等を通じて、更生保護に係る情報共有を図るとともに、市社会福祉協議会、青森保護観察所等との連携強化に努める。			
取組実績	○八戸地区保護司会の広報紙である「更生保護八戸」に市の再犯防止に係る取組について掲載されるなど、情報共有が図られた。			【事業費】
				決算見込額
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業を継続する。			

事業No. 74

事業名	協力雇用主への入札優遇措置		担当部署	契約検査課
施策体系 位置付け	基本目標 2－ 基本施策（4）	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 － 基本施策（ ）		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 － 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	建設工事競争入札参加者資格審査における主観的評価項目に、保護観察所に協力雇用主として登録している企業へ加点する制度を導入するとともに、制度の周知に努め、刑務所・少年院出所者の生活安定を図る。			
取組実績	令和２年度競争入札参加資格審査登録（平成 31 年度受付）より、主観的評価項目として追加した。 ○令和５年度競争入札参加資格審査登録（令和４年度受付） 市内２６９業者中、11 事業者が協力雇用主として登録した。 《参考》 ○令和４年度競争入札参加資格審査登録（令和３年度受付） 市内２８３業者中、10 事業者が協力雇用主として登録した。			【事業費】 決算見込額 —
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	協力事業主の増加を目指し、制度の周知を継続して行う。			

基本目標 3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり

【実施状況】 登載事業数 45 事業 (未実施 1 事業)

基本施策(1) 防災・防犯対策の充実 (16 事業)

基本施策(2) 住民主体による支え合いの促進 (18 事業) ★再掲事業 No.1、14、54

基本施策(3) ボランティア・NPO活動の活性化 (5 事業)

基本施策(4) 暮らしやすい生活環境の整備 (6 事業) ★再掲事業 No.11、67

事業No. 75

事業名	避難行動要支援者事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標 3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	避難行動要支援者名簿、個別避難計画を作成する。 避難行動要支援者名簿の提供や個別避難計画の作成を通じて、要支援者を地域で支援していく体制を構築する。 GIS 連動型避難行動要支援者支援システムを運用する。			
取組実績	○避難行動要支援者の登録促進した。(登録者数 2,611 人/令和6年3月31日現在) ○避難行動要支援者名簿の更新、地域支援者への提供をした。 ○自主防災組織等との要支援者支援に関する協定締結をした。(67 団体/令和6年3月31日現在) ○広報はちのへ等による制度周知、協定締結の呼び掛けをした。 ○救急医療情報キットの配付をした。(76 人/令和6年3月31日現在) ○市内3地区(小中野、江陽、館)の要支援者を対象に個別避難計画を作成した。(164 人/令和6年3月31日現在)			【事業費】
				決算見込額 3,515 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	優先度の高い地区の要支援者から個別避難計画の作成を進める。			

事業No. 76

事業名	福祉避難所整備事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続	☐ 追加(実施中)
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中)	☐ 追加(未実施)
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	要配慮者移送チーム員を対象に研修を行う。 福祉避難所の修繕や備品等の整備を行う。			
取組実績	○要配慮者移送判定チーム員向けの研修会や市福祉避難所開設訓練を7月に行った。また、福祉避難所への移送訓練を総合防災訓練に合わせて行った。 ○市福祉難所となる福祉公民館・総合福祉会館について、所要の修繕を実施した。			【事業費】 決算見込額 46,056 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	引き続き、移送判定チーム員の研修や福祉避難所の整備を行っていく。			

事業No. 77

事業名	地域の安心・安全見守り活動推進事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標 3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	宅配業者、タクシー会社、新聞販売店などと「地域の安心・安全見守り協定」を締結し、事業者が業務上把握した地域住民の状況に関する情報提供を受け、必要な対応につなげる体制を構築する。			
取組実績	○新たに2事業者と協定を締結し、協力事業者数は43事業者(令和6年3月末時点)となった。 ○協力事業者からの高齢者等の異変に関する通報が19件(令和6年3月末時点)あり、早期の対応・対策を行った。 ○情報交換会を11月22日に開催し、22事業者が出席した。 ○広報はちのへ及び市ホームページにおいて、事業の周知を行った。 ○市 LINE 公式アカウントに協力事業者が通報先を容易に調べられる機能を追加し、見守り活動の円滑化を図った。			【事業費】
				決算見込額
				85 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	協力事業者の増加を目指し、事業の周知を継続して行う。			

事業名	防災市民研修会開催事業	担当部署	災害対策課
施策体系 位置付け	基本目標3-基本施策(1) 基本目標-基本施策() 基本目標-基本施策()	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)
事業概要	自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会等へ講師を派遣する。 防災に関する市民研修会を開催する。		
取組実績	・自主防災組織、町内会、学校等が開催する研修会等に講師を派遣し、防災講話を行った。 自主防災組織 18件 町内会等の地域団体 8件 小中学校等 6件 ・地震本部の取組成果の情報発信、地震・津波に関する有識者等による講演を開催した。(令和5年度は地震調査研究推進本部及び青森地方気象台との共同開催) タイトル 「地震本部地域講演会 in 八戸市」 ~地震・津波を知ろう!備えよう!~ 日時 令和6年2月4日(日)13:30~16:00 会場 八戸市公民館ホール		【事業費】 決算見込額 93 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度も事業を継続して行う。		

事業No. 79

事業名	自主防災組織育成事業		担当部署	災害対策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	自主防災組織が防災資機材の整備に要する経費に対して補助金を交付する。 防災活動に持続性を持たせるとともに、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の活動に要する経費の一部に対して助成金を交付する。 自主防災会連絡協議会を通じて意見交換や情報共有を行い、自主防災組織相互の協力体制を構築・強化する。 地域における防災リーダーを育成するため、自主防災組織リーダー研修会を実施する。			
取組実績	・ 自主防災組織活動支援助成金を 31 団体に交付した。 ・ 令和 5 年 12 月 15 日に令和 5 年度八戸市自主防災組織リーダー研修会、令和 6 年 2 月 20 日に八戸市自主防災会連絡協議会の総会を開催した。 ・ 防災士育成事業補助金を 25 名に交付した。			【事業費】
				決算見込額 4,583 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和 6 年度も事業を継続して行う。			

事業No. 80

事業名	安全・安心情報発信事業		担当部署	危機管理課
施策体系位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	災害時の避難情報や気象情報、火災情報、防犯情報、危険動物出没情報等の各種警戒情報(安全・安心情報)をメールや専用アプリで配信する。 利用者の拡大を図るため、チラシの配布等を行う。			
取組実績	1 安全・安心情報の配信 メールと専用アプリで災害時の避難情報や危険動物情報などの各種安全・安心情報を配信したほか、市 LINE 公式アカウントと連携し、LINE での情報発信も行った。 2 加入促進活動の実施 チラシ配布や、広報はちのへにおける記事掲載などで加入促進活動を実施した。			【事業費】 決算見込額 3,927 千円
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	実情に応じてシステムの改修を行い、利便性を高めることで更なる市民サービスの向上を図り、利用者の拡大を図る。			

事業No. 81

事業名	総合防災訓練の実施		担当部署	災害対策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	災害発生時の防災活動が迅速かつ的確に行えるよう地域住民や防災関係機関等の参加・連携のもと、避難訓練、救助・救出訓練、避難所開設訓練等を行う。			
取組実績	・令和5年10月1日に、令和5年度八戸市総合防災訓練(地震、津波災害対応訓練)を実施した。 場所 鮫地区 (第一魚市場周辺、鮫漁港及び西側岸壁付近、鮫小学校)			【事業費】 決算見込額
				5,320 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度は湊地区において、津波避難対応訓練等を開催する。			

事業No. 82

事業名	地区防災訓練への支援		担当部署	災害対策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☒ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	町内会や自主防災組織が主催する地区防災訓練を支援する。			
取組実績	町内会や自主防災組織が主催する地区防災訓練に助言や支援をする とともに、防災関係機関や地域住民と連携し、大規模災害に備えた 訓練を実施した。 防災訓練 自主防災会 26 件 学校 1 件			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和6年度も事業を継続して行う。			

事業No. 83

事業名	地域防犯管理者の養成事業		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	防犯対策にかかる一定の知識・技能を修得するため講習会を開催し、地域・事業所において、防犯診断、防犯指導を行い、犯罪被害の未然防止を図る。			
取組実績	○八戸地区連合防犯協会が主体となり、地域や事業所の自主的な防犯対策を推進し、一定の知識や技能の習得を促すため、地区防犯研修会や合同防犯研修会などを開催した。 講習会 実施回数…5回、出席延人数…220人			【事業費】 決算見込額
				—
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 84

事業名	交通安全推進団体の育成・支援		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	地域や家庭での交通安全教育の推進、関係機関の連携を図るため、交通安全協力員や交通安全母の会連合会などの交通安全推進団体の育成・支援を行う。			
取組実績	○交通安全協力員を委嘱し、地域での交通安全活動の推進を図った。			【事業費】
	○交通安全母の会連合会における交通安全教育の推進、飲酒・暴走・無免許運転追放の推進等の活動を補助金を交付し支援した。 交通安全母の会連合会補助金…312,000円			決算見込額 312 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 85

事業名	地域安全・安心マップづくり推進事業		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	子どもを犯罪被害から守るための地域安全マップを各小学校において作製する。			
取組実績	○市内の半数以上の小学校において、安全マップづくりが実施された。 マップ作製校数 … 32校(市内小学校41校中) ※マップ作製指導者養成講座は隔年開催のため、令和5年度は開催なし。			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	地域における防犯力の向上のため、事業を継続する。			

事業No. 86

事業名	安全・安心まちづくり推進協議会		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	市民、連合町内会、地域ボランティア団体、事業者、市、教育委員会、警察、消防、その他関係機関・団体により構成される協議会で、安全・安心なまちづくりについて協議する。			
取組実績	○防災・防犯・交通安全関係機関・団体が一堂に会し、安全で安心な「まちづくり」についての意見交換や情報収集、地域のもつ課題等について協議を行うための会議を実施した。 開催日…令和5年11月28日(火) 場所…八戸市公民館ホール 参加者数… 約180人			【事業費】 決算見込額 79 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 87

事業名	悪質商法の被害防止のための出前講座の実施		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	悪質商法の被害防止のため、若年者(中学生、高校生、大学生等)向けに出前講座を実施する。			
取組実績	○消費者被害に特に遭いやすい若年者に対し、出前講座を行い、啓発資料を配付するなど、消費者被害の未然防止や遭遇した場合の対応策を講じた。 ○R5年度実績 開催回数…6回 参加人数…531人			【事業費】 決算見込額 —
	◎		自己評価	A
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 88

事業名	消費生活相談の実施		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	専門の相談員を配置し、悪質商法等に係る消費生活相談を行う。			
取組実績	○消費生活相談員を4人配置し、消費者トラブルに関する相談の対応にあたった。 相談件数…1,694件			【事業費】 決算見込額 12,095 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 89

事業名	悪質商法相談事例紹介		担当部署	くらし交通安全課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	マスコミや市の広報を利用し、悪質商法の相談事例を紹介する。			
取組実績	その時季に流行する消費者被害やトラブルの相談事例について、マスメディアを通じて市民に耳よりな情報を提供した。 ・ FM ラジオ「BeFM」 毎週木曜日 ・ 広報はちのへ「消費生活注意報」 年2回 ・ 広報はちのへ「消費生活センターだより」 年2回 ・ 「d ボタン広報」 年10回 ・ 「ほっとスルメール」 年6回			【事業費】 決算見込額
				—
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 90

事業名	学校安全情報配信システムの運用		担当部署	教育指導課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	風水害等による通学路の危険情報や不審者情報などを携帯電話やパソコンの電子メールを利用して保護者等に配信することにより、児童生徒の安全確保を図る。			
取組実績	○危険情報や不審者情報等のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や学校再開のお知らせ等、緊急性の高い情報の配信を行った。 ○風水害等による通学路の危険情報や不審者情報等の配信を行い、児童生徒の安全確保を図った。 ○登録件数…23,638 件（令和6年3月末時点）			【事業費】 決算見込額 —
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	令和6年度も、事業を継続して行う。			

事業名	連合町内会連絡協議会連携事業 (町内会加入促進など)		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	八戸市連合町内会連絡協議会と連携し、町内会への加入促進や町内会の組織強化を図る。			
取組実績	■町内会加入促進事業 ○3～4月を町内会加入促進月間とし、様々な広告を活用したPR、戸別訪問勧誘、チラシ配布、ポスター掲示を実施した。 ※町内会加入促進チラシの配布や町内会加入促進ポスターの掲示において不動産関係団体や八戸市連合PTAと連携した。 ○町内会加入促進キャンペーンを3月にプライフーズスタジアムで実施し、町内会加入啓発グッズの配布や町内会に関するアンケートを行った。 ○町内会への加入取次を実施した(取次実績137件) ■組織強化事業 ○地域リーダー応援講座(「地域の底力」実践プロジェクトの事例発表)を1月に実施し、77人が参加した。 ○地域コミュニティ人材育成アカデミー(①地域で育むBOSAI力講座②働き世代・子育て世代の意見交換会③住民がつくる持続可能な地域づくり)を10月～翌1月に実施し、計111人が参加した。 ○38地区連合町内会長による情報交換会を2月に実施し、各種テーマについて情報共有・意見交換を行った。 ■普及・啓発事業 ○ホームページ運営、地域コミュニティ情報コーナー運営、ニュースレター発行により、町内会に関する情報を発信した。 ※ニュースレターは3回発行、約8,000部、配布先約700か所			【事業費】 決算見込額 2,213 千円
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	令和6年度以降も事業を継続し、町内会への加入促進や町内会の組織強化を図る。			

事業名	「地域の底力」実践プロジェクト促進事業		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2) 基本目標 - 基本施策() 基本目標 - 基本施策()	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)	
事業概要	地域の特色や資源を活用し、抱える課題の解決や地域の活性化に向けて主体的に取り組む地域を公募し、取組内容の企画・立案段階でのノウハウの提供や会議開催の支援を行う。 プロジェクトの円滑な実践のため補助金を交付し、多様な団体と連携した地域活動の全市的な広がりを図る。			
取組実績	■実践地域 (市：補助金交付による資金面での支援を行った) 【上長地区】 健康と運動をテーマに地域をつなげよう！ ラジオ体操イベント！ ・総事業費 480,342 円 ・補助金額 384,000 円 【下長地区】 未来につなげよう！下長の歴史再発見 ・総事業費 554,650 円 ・補助金額 443,000 円 【根城地区】 「根城・鮭活」で目覚める地域の力 ・総事業費 644,064 円 ・補助金額 500,000 円 ■採択地域 (市：会議開催の補助や取組に関する情報提供等の支援を行った) 【鮫地区】 「鮫町の魅力再発見・ステップアップ作戦」 ～より心豊かに、賑わいと潤いを求めて～ 結集会議：令和5年11月29日開催 【長者地区】 ちょうじゃの女性活躍「女性会」 スタートアップ大作戦 結集会議：令和6年2月25日開催 【白銀地区】 しろがねニューススポーツカップ2024 結集会議：令和6年2月7日開催			【事業費】 決算見込額 1,327 千円
事業進捗 状況	○	自己評価	B	
今後の 方向性	令和6年度以降も引き続き未採択地域を優先の上事業を継続し、地域活動の全市的な推進および地域コミュニティの振興を図る。			

事業名	地域担当職員制度	担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3-基本施策(2) 基本目標-基本施策() 基本目標-基本施策()	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)
事業概要	協働のまちづくりを推進するため、地域と行政のつなぎ役となる担当職員を公民館(24館)の区域ごとに設置する。		
取組実績	■地域からの問合せ件数/計176件 ・行政への意見、要望：81件 ・助言、情報提供依頼：27件 ・会議等案内・出席依頼：40件 ・その他：28件 ■地域への出張回数/計92回 ・地域づくり会議への出席：15回(8地域) ・地域の会合等への出席：68回 ・現場確認：9回 ■連絡会の開催 地域の状況を把握し、地域支援に関する情報共有を図るとともに、地域コミュニティ振興に向けた市長からの指示等を確認するため、地域担当職員連絡会を開催した。(令和6年3月19日(火)開催)		【事業費】 決算見込額 659 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B
今後の 方向性	令和6年度以降も引き続き、地域と行政のつなぎ役として信頼関係の構築を図るとともに、地域の課題把握に努める。		

事業No. 94

事業名	協働のまちづくり研修会の開催		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	市民等が協働の意義や地域コミュニティに関する知識や理解を深め、協働のまちづくりへの積極的な参加・参画を促進するための研修会を開催する。			
取組実績	○令和5年8月27日(日) 八戸ポータルミュージアム はっちシアター2にて開催し、30人が参加した。 ○「若者が参加したくなる活動のつくり方 ～世代を超え、みんなと共にまちづくり～」というテーマで、NPO 法人わかもののまち代表理事 土肥 潤也氏が講演し、グループワーク等を実施した。 ○市ホームページを作成し、事業の周知を行った。			【事業費】 決算見込額 —
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	参加者の満足度向上に努め、事業を継続して行う。			

事業No. 95

事業名	ほのぼのコミュニティ 21 推進事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標 3－ 基本施策（ 2 ）	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	「ほのぼの交流協力員」が高齢者や障がい者等の自宅を訪問し、見守りを行う。 見守り活動関係者間の連携を深める連絡会や、見守り活動に関する研修会を開催する。			
取組実績	○ほのぼの交流協力員数：828 人 ○訪問対象世帯数：2,477 世帯（令和 6 年 3 月末時点） ○延べ活動日数：7,512 日 ○見守り活動連絡会を 5 地区で計 5 回開催し、処遇困難ケースの検討 や異常時発見時における意見交換を行った。 ○見守り活動研修会を 1 月 18 日に開催し、401 人が出席した。			【事業費】 決算見込額 3,027 千円
	事業進捗 状況	○	自己評価	A
今後の 方向性	ほのぼの交流協力員をはじめ、多様な主体による見守り交流活動を展開していく。			

事業No. 96

事業名	地域集会所整備事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	住民自らが地域集会所の新築・改修・建替・トイレ水洗化及び洋式化を行う際に補助金を交付する。			
取組実績	○以下の4件の申請に対し、助成を行った。 ・東台集会所改修工事(実施主体…東台部落)補助金額 605 千円 ・是川団地中央集会所改修工事(実施主体…是川中央集会所運営委員会)補助金額 699 千円 ・尻引生活館改修工事(実施主体…尻引町内会)補助金額 1,148 千円 ・上組町町内会館水洗トイレ改修工事(実施主体…上組町町内会)補助金額 2,000 千円			【事業費】
				決算見込額 4,452 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 97

事業名	民生委員・児童委員活動の推進		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	□継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	民生委員・児童委員の資質向上や啓発活動に取り組む民生委員児童委員協議会と連携し、情報交換や諸問題の解決に向けた協議等を行うとともに、同協議会への運営支援を行う。			
取組実績	○毎月開催される民生委員児童委員協議会の役員会・会長会に出席し、市の取組に係る周知や情報交換を行った。 ○民生委員児童委員協議会との情報交換会に出席し、諸問題に係る意見交換を行った。(令和5年7月6日) ○市民生委員児童委員協議会の運営費及び事業費に対し、補助金を交付した。 ○市広報誌に特集ページを掲載し、制度の周知を行った。 ○民生委員・児童委員事務の手引きの作成を行った。(6年度配付)			【事業費】
				決算見込額 42,026 千円
事業進捗状況	○	自己評価	A	
今後の方向性	民生委員児童委員協議会と連携を密にし、情報交換と必要な支援を行っていく。			

事業No. 98

事業名	子育てサロン支援事業		担当部署	こども未来課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	地域の公民館や児童館等における子育てサロン(地域の親子が気兼ねなく集まり、子育ての相談や交流ができる場)の運営を支援する。			
取組実績	○18 地区で子育てサロンを開催し、子育ての相談や交流ができる場を提供した。 ○地区実施回数…166 回、参加延人数…4,075 人 ○市社協広報誌、市社協ホームページ、広報はちのへ、PR 動画等を通じて周知した。			【事業費】 決算見込額 1,667 千円
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 99

事業名	つどいの広場事業		担当部署	こども未来課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	八戸ポータルミュージアム内において「こどもはっち」を開設し、子育て親子の交流機会の提供や子育てに関する情報発信等を行う。			
取組実績	○こどもはっちにおいて、下記の取り組みを実施した。 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進(62回開催)、子育て等に関する相談援助、地域子育て関連情報の提供・子育て及び子育て支援に関する講座等(69回開催)、豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等(32回開催)、地域の子育て力を高める取り組み ○開催イベント数 163回 ○利用者数 39,429人			【事業費】 決算見込額 15,000 千円
	◎		自己評価	B
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 100

事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			担当部署	子育て支援課							
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)									
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)									
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)									
事業概要	子育ての援助を受けたい方(依頼会員)と子育ての援助を行いたい方(提供会員)を登録・紹介する。 提供会員に対して相互援助活動に必要な知識を付与するための講習会を開催する。 会員との交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会を開催する。											
取組実績	○依頼会員と提供会員の募集・登録を行った。				【事業費】							
	<table><tr><td>依頼会員</td><td>提供会員</td><td>両方会員</td><td>計</td></tr><tr><td>388人</td><td>242人</td><td>10人</td><td>640人</td></tr></table>				依頼会員	提供会員	両方会員	計	388人	242人	10人	640人
依頼会員	提供会員	両方会員	計									
388人	242人	10人	640人									
	○援助活動件数…817件				6,813 千円							
	○提供会員の養成講習会…年2回(7月、11月)											
	○会員のステップアップ講座…年4回											
	○会員交流会…年2回											
	○会報誌(年3回発行)や幼稚園・保育園等へのチラシの配布 (5,000枚)、広報はちのへ掲載(7月号、11月号)等を行った。											
事業進捗 状況	◎		自己評価	A								
今後の 方向性	広報活動により事業内容を広く周知し、会員数の増加につなげる。											

事業No. 101

事業名	放課後児童健全育成事業		担当部署	子育て支援課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	放課後に、保護者が就労等の事情により家庭にいない小学生を対象に(低学年優先)、適切な遊びの場及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。			
取組実績	○実施クラブ数 49 クラブ(運営方法:業務委託) ○登録児童数 1,985 人(R6年3月1日現在) ○地域のニーズ等を考慮した上で、各学区の状況に応じ、クラブの適正配置に係る検討を行った。			【事業費】 決算見込額 294,060 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 102

事業名	児童館運営事業		担当部署	子育て支援課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	健全な遊びを通して、児童の健康増進や情操を豊かにするため、遊具を使った遊びや創作等の活動を行う。			
取組実績	○小型児童館6か所、児童センター9か所を運営した。 ○児童館主催の行事やクラブ活動を実施した。 ○年間293日間開館した。 ○利用人数は228,258人だった。 ○新型コロナウイルス感染症の収束により、前年度より利用児童が49,354人増加した。			【事業費】 決算見込額 178,252 千円
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	児童館15館を運営し、児童の健全育成を図る。			

事業No. 103

事業名	児童館母親クラブ活動事業		担当部署	子育て支援課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規（未実施）	
事業概要	児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民による親子及び世代間交流や児童の事故防止活動等を行う。			
取組実績	○親子及び世代間の交流を目的とした行事を実施した。 ○児童の養育を目的とした文化活動や講習会を実施した。 ○児童の事故防止のため、遊具の点検や地域の巡回を行った。 ○環境美化活動を行った。			【事業費】 決算見込額 2,460 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	児童館との連携により、児童の健全育成を図る。			

事業No. 104

事業名	★地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進		担当部署	社会教育課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標4- 基本施策(1)		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	住民自らが地域福祉をはじめとした様々な地域課題を解決していくため、会合の場として公民館を積極的に提供する。			
取組実績	地域福祉団体への会合等の場として、公民館を積極的に提供した。 【福祉団体への減免での貸館件数（地区公民館 24 館、4 分館）】 ・件数 976 件 ・利用者数 20,494 人			【事業費】 決算見込額 —
	◎		自己評価	A
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定			

事業No. 105

事業名	地域における包括的相談支援体制の整備		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(2)	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		■新規（未実施）	
事業概要	住民に身近な圏域において、地域住民の相談を「世帯丸ごと」、「複合課題丸ごと」、「とりあえず丸ごと」受け止め、情報提供や助言を行うとともに、必要に応じて支援関係機関につなぐことができる体制を整備する。			
取組実績	実績なし			【事業費】
				決算見込額 —
事業進捗 状況	—	自己評価	D	
今後の 方向性	関係機関等との調整等を行い第4期計画期間内の実施を目指す。			

事業名	八戸圏域住民活動促進事業		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3-基本施策(3) 基本目標-基本施策() 基本目標-基本施策()	事業区分	☒ 継続 ☐ 追加(実施中) ☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施) ☐ 新規(未実施)	
事業概要	市民活動団体の拠点施設である市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」を運営する。 公益的な活動を行う市民活動団体に対し、打合せスペースや作業スペースを提供するとともに、市民活動に関する情報などを発信する。			
取組実績	■市民活動の活動拠点 ・情報交流サロン、ワークステーションの利用管理等 ・登録団体数 197 団体（令和6年3月31日現在） ■情報収集・情報提供 ・助成金情報等の発信 ・情報誌や市民活動ハンドブックの発行等 ■交流・ネットワークづくり ・わいぐ交流会の開催：令和5年11月12日(日)はっちひろば ・市民活動サポートセンター運営会議の設置・運営 ■その他 ・自主事業（各種講座） ・圏域住民活動促進講座の開催（2回） ・圏域市町村のイベントへのブース出展（7回）			【事業費】 決算見込額 9,446 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	今後も引き続き圏域市町村の市民活動を支援するため、市民活動サポートセンターの運営を行う。			

事業名	「元気な八戸づくり」市民奨励金制度		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(3)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	市民活動団体や地域コミュニティ活動団体に取り組む自主的な公益性のあるまちづくり活動に対し奨励金を交付する。			
取組実績	○令和4年度奨励金交付事業関係 ・R5.7.1 交付3団体の活動成果発表会を開催した。 ○令和5年度奨励金交付事業関係 ・R5.4.22 公開ヒアリング審査会の開催した。 ・交付件数：6団体 ・交付確定額：872,000円 ○令和6年度奨励金交付事業関係 ・令和6年度事業の募集に係り、R5.12.17及びR5.12.21に制度説明会を実施した。 ・R6.3.25 応募のあった7団体について書類審査会を開催した。			【事業費】 決算見込額 1,036 千円
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	応募団体の増加を目指し、庁内外に対して事業の周知を継続して行う。			

事業名	「元気な八戸づくり」市民提案制度		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(3)	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策()		□新規（未実施）	
事業概要	市民活動団体や地域コミュニティ活動団体、事業者から、市民と行政が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる事業提案を募集する。 採択された事業を提案者と協力して実施する。			
取組実績	○「市設定テーマ部門」 ・市が設定するテーマについて企画提案（1件）があり、審査・選考を経て、提案者と担当課による事業化協議を行った結果、合意形成が図られたため、令和6年度協働事業として選定。 ・事業名：「本のまち八戸」魅力創出イベント事業 ・提案者：一般社団法人八戸市読書団体連合会 ・担当課：文化創造推進課八戸ブックセンター ○「自由提案部門」 ・市民からの自由な協働事業の提案を募集したところ、企画提案（1件）があり、審査・選考を経て、提案者と担当課による事業化協議を行った結果、合意形成が図られたため、令和6年度協働事業として選定。 ・事業名：共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業 ・提案者：八戸歴史文化発信事業実行委員会 ・担当課：美術館 ○当制度の概要説明および周知 ・「元気な八戸づくり」市民奨励金制度説明会等で、当制度概要について説明し、周知を実施。			【事業費】 決算見込額 —
	事業進捗状況	◎	自己評価	B
今後の方向性	応募団体の増加を目指し、庁内外に対して事業の周知を継続して行う。			

事業No. 109

事業名	住民活動保険制度		担当部署	市民連携推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(3)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	対象圏域住民が行う公益的なまちづくり活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償することで、住民が安心して活動に参加することができる環境を構築する。			
取組実績	○市民活動保険契約を締結した。 ○連携中枢都市圏 NP0 活動支援ワーキング・グループ会議を 令和5年10月11日に開催し、15人が参加した。 ○補償対象とする活動の調査(庁内・関係町村)を行った。 ○市ホームページとチラシを作成し、制度の周知を行った。 ○市町村別保険証券付属明細書(活動団体明細)を作成・更新した。			【事業費】 決算見込額 1,939 千円
	事業進捗 状況	◎	自己評価	A
今後の 方向性	住民が安心して活動に参加することができる環境を構築するため、事業の周知を継続的に行う。			

事業No. 110

事業名	ボランティアセンター運営事業（民間）		担当部署	市社会福祉協議会
施策体系 位置付け	基本目標 3- 基本施策（3）	事業区分	□継続 □追加（実施中）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		■新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標 - 基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	ボランティア活動に関する相談、情報提供を行うとともに、講座等を開催する。 ボランティア関係団体等との連絡調整を行う。			
取組実績	○ボランティア登録の受付を行った。（団体 26 団体、個人 49 人） ○ボランティア派遣依頼 15 件のコーディネートを行った。 ○安心して活動に取り組めるよう、1,786 人のボランティア活動保険の加入受付を行った。 ○ボランティア活動メニュー（40 件）を作成し、ホームページに掲載して周知した。 ○ボランティア講座やボランティア・市民活動フェスティバル、点字体験講座、知的障がい者体験講座を開催し、ボランティア活動の普及啓発に取り組んだ。 ○福祉教育を推進するため、福祉体験の出前講座を 11 回実施した。 ○災害時ボランティアセンターの設置・運営訓練（年 1 回）の実施や支援団体（8 団体）とのネットワーク会議を開催し、災害時の支援体制整備を図った。			【事業費】
				決算見込額 3,250 千円
事業進捗状況	○	自己評価	A	
今後の方向性	令和 6 年度以降も事業継続予定。			

事業No. 111

事業名	南郷コミュニティバス運行事業		担当部署	南郷事務所 政策推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	南郷地域における地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する。			
取組実績	南郷地域に6路線(3路線ずつ土日祝日及び年末年始(12月29日から1月3日))を除く隔日運行)を設定し、定時・定路線方式でコミュニティバスを運行した。 令和5年度利用者数 4,595人			【事業費】 決算見込額
				19,432 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	B	
今後の方向性	令和6年度以降も利用者の増加を目指し、事業の周知を図り継続して実施する。			

事業No. 112

事業名	南郷コミュニティタクシー運行事業		担当部署	南郷事務所 政策推進課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	南郷地域における地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティタクシーを運行する。			
取組実績	南郷地域内で南郷コミュニティバスの運行時間外の朝と夕方に路線バスとの接続を可能にするため、予約乗合方式によるコミュニティタクシーを運行した。 令和5年度利用者数 169人			【事業費】 決算見込額
				615 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	B	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業の周知を図りながら、路線バスとの接続を確保するため、継続して事業を実施する。			

事業No. 113

事業名	福祉バス運営事業		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標3- 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	市内に拠点を置く各種福祉団体が、教養研修や大会への参加のほか、健康増進や会員等の交流促進を目的とした行事などを行う際に、1日2台を上限に無料で福祉バスを運行し、移動手段を確保するとともに社会活動等の促進を図る。			
取組実績	○市内の老人クラブや障がい者団体等の社会福祉団体が、教養研修や大会、会員の健康増進や交流促進を目的とした行事などを行うために、計184回運行し、計4,758人が利用した。			【事業費】 決算見込額
				13,549 千円
事業進捗 状況	◎	自己評価	A	
今後の 方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 114

事業名	生活交通路線の確保		担当部署	運輸管理課 政策推進課
施策体系 位置付け	基本目標 3- 基本施策(4)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	市民の生活に不可欠なバス路線を維持する。			
取組実績	【運輸管理課】 ○老朽化したバスの更新を行い、中古大型ノンステップバス 3 両を購入した。 ○令和 4 年度から 3 か年計画で更新しているドライブレコーダーを 71 台更新した。 ○ダイヤ改正については、既存路線の運行本数及び時刻の見直しを行い、運行の効率化を図りながら、利用者の利便性の維持に努めた。 【政策推進課】 ・バスの利用促進の各種パンフレットを作成した。 ・地域間幹線系統及び市内バス路線等への補助を実施した。			【事業費】 決算見込額 【運輸管理課】 — 【政策推進課】 59,780 千円
	事業進捗 状況	【運輸管理課】○ 【政策推進課】◎	自己評価	【運輸管理課】A 【政策推進課】A
今後の 方向性	【運輸管理課】運行の効率を図りながら、市民の生活に必要なバス路線を維持する。 【政策推進課】引き続き事業を継続していく。			

基本目標 4 思いやりの心と人づくり

【実施状況】 登載事業数 17 事業

基本施策(1) 担い手の育成・支援 (9 事業) ★再掲事業 No.3、7、21、44、104
 基本施策(2) 福祉教育の推進と福祉意識の醸成 (6 事業) ★再掲事業 No.11、12
 基本施策(3) 世代間交流の促進 (2 事業) ★再掲事業 No.14

事業No. 115

事業名	八戸市社会福祉協議会との連携及び支援		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標 4 - 基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	地域福祉を推進していく上での中核機関となる社会福祉協議会と行政の密接な連携を図り、運営への支援を行う。			
取組実績	○八戸市社会福祉協議会が行う地域福祉活動、八戸市社会福祉大会、福祉活動専門員設置に対して、補助金を交付した。			【事業費】
				決算見込額 30,269 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	今後も必要な支援を行い、地域福祉の推進を図る。			

事業No. 116

事業名	民生委員児童委員研修会の開催		担当部署	福祉政策課
施策体系 位置付け	基本目標4－基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	民生委員児童委員児童委員研修大会のほか、新任委員向けの研修、中堅民生委員向けの研修を開催する。			
取組実績	○新任民生委員・児童委員研修会(途中委嘱者向け)(主催…八戸市) 参加者:26名			【事業費】 決算見込額 109 千円
	○新任民生委員・児童委員研修会(委嘱年数7年未満)(主催…八戸市) 参加者:約150名			
	○民生委員・児童委員研修大会(主催…八戸市民生委員児童委員協議会) 参加者:約320名			
	○地区会長・副会長研修会(主催…八戸市民生委員児童委員協議会) 参加者:67名			
事業進捗状況	◎		自己評価	A
今後の方向性	民生委員児童委員協議会と連携し、民生委員の経験年数に応じた研修を実施していく。			

事業No. 117

事業名	ゲートキーパー研修の開催		担当部署	保健予防課
施策体系 位置付け	基本目標4- 基本施策(1)	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加(実施中)	
	基本目標 - 基本施策()		■新規(実施中) ☐ 追加(未実施)	
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)	
事業概要	自殺のサインに気づき、必要に応じて専門の相談機関につなぐ役割を担う「ゲートキーパー」を養成し、一般市民等、幅広く自殺対策を支える人材を育成する。			
取組実績	○ゲートキーパー研修を2回(12月・2月)開催し、94人が受講した。			【事業費】
				決算見込額
				61 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	ゲートキーパー研修の開催を継続する。			

事業No. 118

事業名	福祉サービス事業者の育成及び連携		担当部署	関係各課
施策体系 位置付け	基本目標4－基本施策(1)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	福祉事業者によるサービスの質の向上及び行政との連携強化を図るため、地域福祉向上に関する研修会や情報提供等を行う。			
取組実績	【くらし交通安全課】 ○福祉事業所職員等を対象に、高齢者等を消費者被害から守る消費者アシスト隊員の養成・フォローアップ講座を開催した。			【事業費】 決算見込額 【くらし交通安全課】 —
	【高齢福祉課】 ○消費者被害防止や特殊詐欺の注意喚起等に関するチラシを全ての高齢者支援センターに配布した。(くらし交通安全課、高齢福祉課と連携)			【高齢福祉課】 —
	○全ての高齢者支援センターに対して、高齢者の熱中症予防に関する情報提供を行った。(健康づくり推進課、高齢福祉課と連携)			
事業進捗 状況	【くらし交通安全課】 ◎	自己評価	【くらし交通安全課】 A	
	【高齢福祉課】 ◎		【高齢福祉課】 A	
今後の 方向性	【くらし交通安全課】 令和6年度以降も事業継続予定。			
	【高齢福祉課】 消費者被害防止の情報提供は今後も継続。			

事業No. 119

事業名	ボランティア推進校事業（民間）		担当部署	市社会福祉協議会
施策体系 位置付け	基本目標4－基本施策（2）	事業区分	■継続 □追加（実施中）	
	基本目標－基本施策（ ）		□新規（実施中） □追加（未実施）	
	基本目標－基本施策（ ）		□新規（未実施）	
事業概要	地域での具体的な活動体験を通して、思いやりの心やお互いに助け合う力を育むとともに、家庭や社会への啓発を図るため、小・中・高等学校を対象にボランティア推進校を公募し、ボランティア活動に係る助成金を交付する。			
取組実績	○ボランティア推進校 14 校を指定し、助成金を交付した。 （小学校 9 校、中学校 3 校、高等学校 1 校） ○ボランティア推進校では、高齢者・障がい者施設との交流、安全マップ作り、地域清掃活動等、学童及び生徒等による学校組織ぐるみで活動を展開した。			【事業費】 決算見込額 1,200 千円
	事業進捗状況	◎	自己評価	A
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業No. 120

事業名	共同募金運動の推進		担当部署	市社会福祉協議会
施策体系 位置付け	基本目標 4－ 基本施策（ 2 ）	事業区分	☐ 継続 ☐ 追加（実施中）	
	基本目標 － 基本施策（ ）		■新規（実施中） ☐ 追加（未実施）	
	基本目標 － 基本施策（ ）		☐ 新規（未実施）	
事業概要	八戸市社会福祉協議会との連携により共同募金運動を推進し、寄附による社会貢献への関心を喚起する。			
取組実績	○市民への共同募金運動の理解促進を図り、戸別募金、法人募金、職域募金、学校募金等を推進した。（募金実績額 22,780,906 円） ○いかずきんズを使用したオリジナルピンバッジ募金や戸別募金ステッカーを活用し、地域に密着した運動を展開した。 ○市広報誌に記事を掲載し、共同募金運動の周知を行った。 ○地域の企業とタイアップし、イベント募金を実施した。			【事業費】 決算見込額 —
	事業進捗状況	○	自己評価	B
今後の方向性	共同募金の周知を図り、運動への参加を促進していく。			

事業No. 121

事業名	福祉出前講座の実施		担当部署	市社会福祉協議会	
施策体系 位置付け	基本目標4- 基本施策(2)	事業区分	■継続 ☐ 追加(実施中)		
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(実施中) ☐ 追加(未実施)		
	基本目標 - 基本施策()		☐ 新規(未実施)		
事業概要	福祉意識を高めるため、学校や地域に出向き、福祉の出前講座を実施する。				
取組実績	○学校等に出向き、車いす体験、高齢者疑似体験などの福祉体験学習を行った。(小中学校・専門学校等 11回)			【事業費】	
				決算見込額 —	
事業進捗状況	○	自己評価	B		
今後の方向性	事業の周知と講座の開催を継続して行う。				

事業No. 122

事業名	青少年の地域活動の推進事業		担当部署	教育指導課
施策体系 位置付け	基本目標4－基本施策(2)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	ボランティアの活動を通して、様々な地域活動に参加し、地域社会の一員としての自覚と関心を深めるため、中・高生のボランティア登録を行い、各種団体等からの依頼に応じてボランティアの派遣を調整する。			
取組実績	○各団体からの依頼に応じ、各種イベントに中・高生のボランティアを派遣した。 ・場所…館鼻漁港、各地区公民館、八戸市福祉公民館 ・活動回数…30回 ・参加者数…973人、ボランティア登録者数…3,085人			【事業費】
				決算見込額 30 千円
事業進捗状況	○	自己評価	B	
今後の方向性	令和6年度も、事業を継続して行う。			

事業No. 123

事業名	地域伝統芸能の後継者養成への支援		担当部署	社会教育課
施策体系 位置付け	基本目標4－基本施策(3)	事業区分	■継続 □追加(実施中)	
	基本目標－基本施策()		□新規(実施中) □追加(未実施)	
	基本目標－基本施策()		□新規(未実施)	
事業概要	無形民俗文化財の後継者養成のための事業に対し助成を行う。			
取組実績	・八戸市無形民俗文化財後継者養成事業費補助金を9団体に交付した。 ・八戸三社大祭副読本を作成し、市内小学4年生全員(一部小学3年生)に配付した。 ・民俗芸能の夕べを開催した。 出演…4団体、観覧…310人			【事業費】
				決算見込額 1,411 千円
事業進捗状況	◎	自己評価	A	
今後の方向性	令和6年度以降も事業継続予定。			

事業進捗状況及び自己評価

事業の進捗状況

令和5年度の事業の進捗状況は次のとおりです。

基本目標	事業数 (再掲含む)	進捗状況				
		◎	○	△	×	—
1 健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり	35	25	10	0	0	0
2 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり	41	31	7	0	0	3
3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり	45	36	8	0	0	1
4 思いやりの心と人づくり	17	10	7	0	0	0
計	138	102	32	0	0	4
構成比 (%)	—	73.9	23.2	0	0	2.9

※事業担当課が複数あり、評価が同一ではない場合、低い方の評価を採用

評価基準

◎	予定どおり実施できた (90%以上)
○	おおむね予定どおり実施できた (70%~90%未満)
△	一定程度実施できた (50%~70%未満)
×	実施が不十分だった (50%未満)
—	未実施

自己評価

令和5年度の事業実施による効果・成果に対する自己評価は次のとおりです。

基本目標	事業数 (再掲含む)	自己評価			
		A	B	C	D
1 健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり	35	21	14	0	0
2 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり	41	24	14	0	3
3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり	45	32	12	0	1
4 思いやりの心と人づくり	17	10	7	0	0
計	138	87	47	0	4
構成比 (%)	—	63.0	34.1	0	2.9

※事業担当課が複数あり、評価が同一ではない場合、低い方の評価を採用

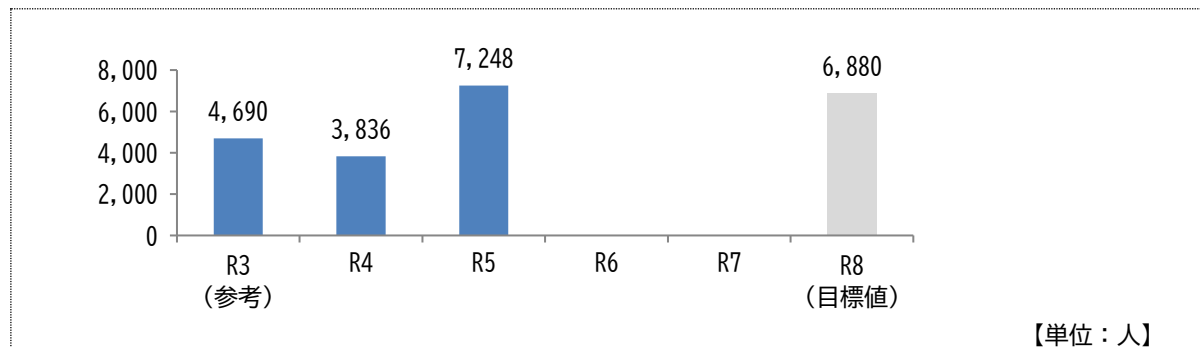
評価基準

A	想定どおりの実施効果・成果が得られた
B	おおむね想定どおりの実施効果・成果が得られた
C	想定どおりの実施効果・成果が得られなかった
D	評価対象外 (未実施)

評価指標

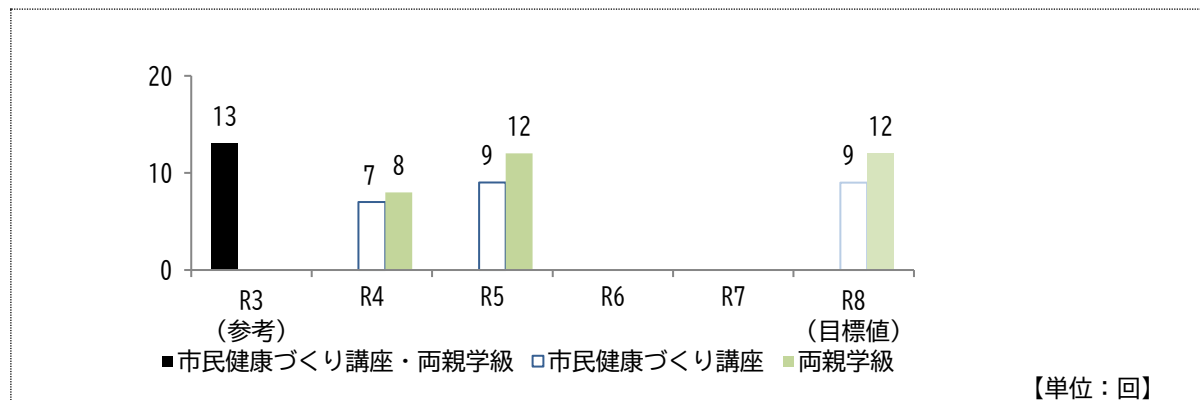
第4期八戸市地域福祉計画では、基本目標ごとに達成状況を測るための目安となる、評価指標を設定しています。

◇基本目標1 健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり



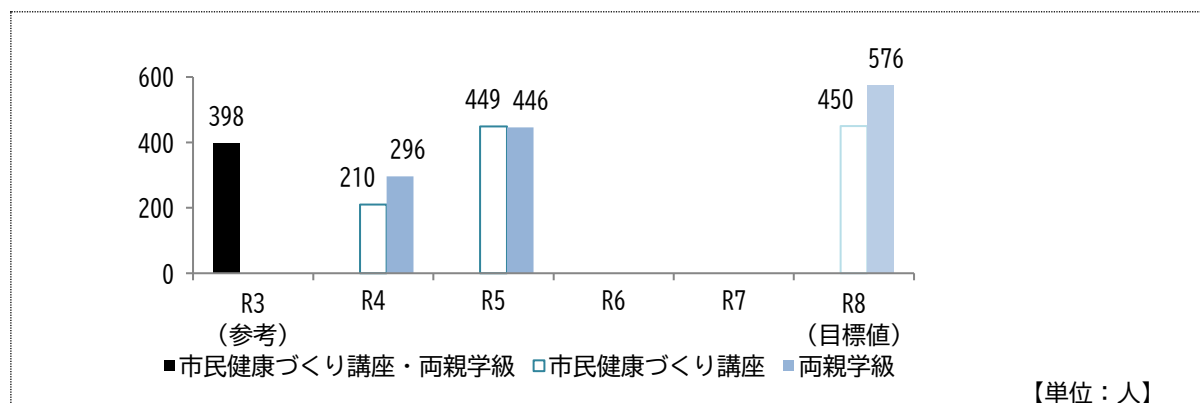
■介護予防センターにおける一般介護予防事業の参加者数

指標の定義	介護予防相談、介護予防教室、体操・集いの場等、介護予防事業の参加者数（延べ数）
資料出典	八戸市（各年度集計）



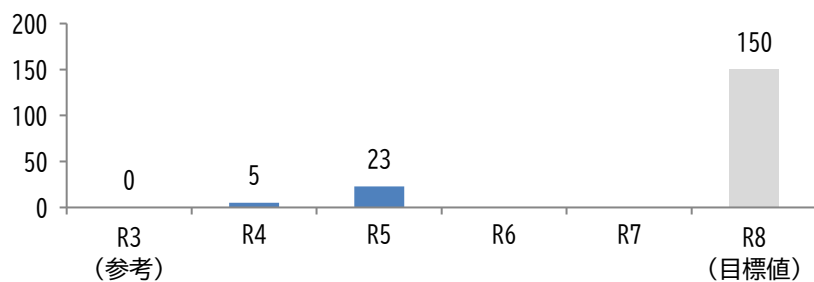
■健康教室の実施回数 ※機構改革により R4 から事業分割
 R3 まで：市民健康づくり講座・両親学級（健康づくり推進課）
 R4 から：市民健康づくり講座（健康づくり推進課）、両親学級（すくすく親子健康課）

指標の定義	市民健康づくり講座の実施回数・両親学級の実施回数
資料出典	八戸市（各年度集計）



■健康教室の参加人数 ※機構改革により R4 から事業分割
 R3 まで：市民健康づくり講座・両親学級（健康づくり推進課）
 R4 から：市民健康づくり講座（健康づくり推進課）、両親学級（すくすく親子健康課）

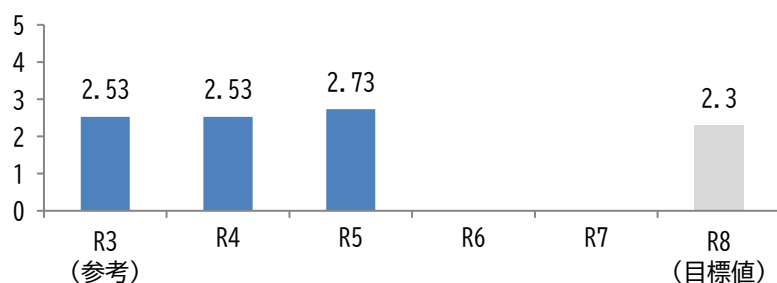
指標の定義	市民健康づくり講座の参加人数（延べ人数）・両親学級の参加人数（延べ人数）
資料出典	八戸市（各年度集計）



【単位：人】

■シニアはつらつポイントの会員活動実人数

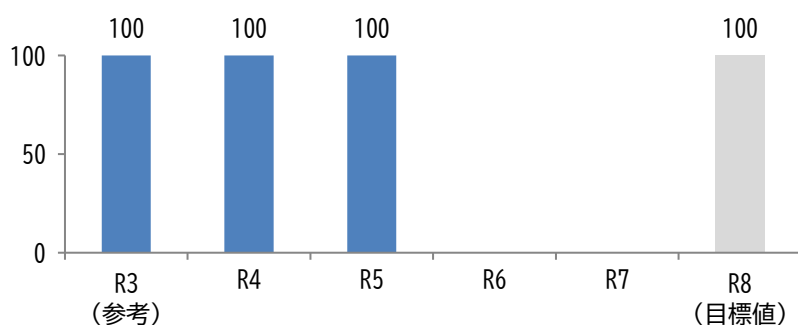
指標の定義	シニアボランティア活動を実施している人数
資料出典	八戸市（各年度集計）



【単位：％】

■民間企業における障害者の雇用率

指標の定義	毎年度、八戸公共職業安定所が取りまとめる「障がい者雇用状況」の民間企業の障害者実雇用率
資料出典	八戸公共職業安定所（基準日：各年6月1日）

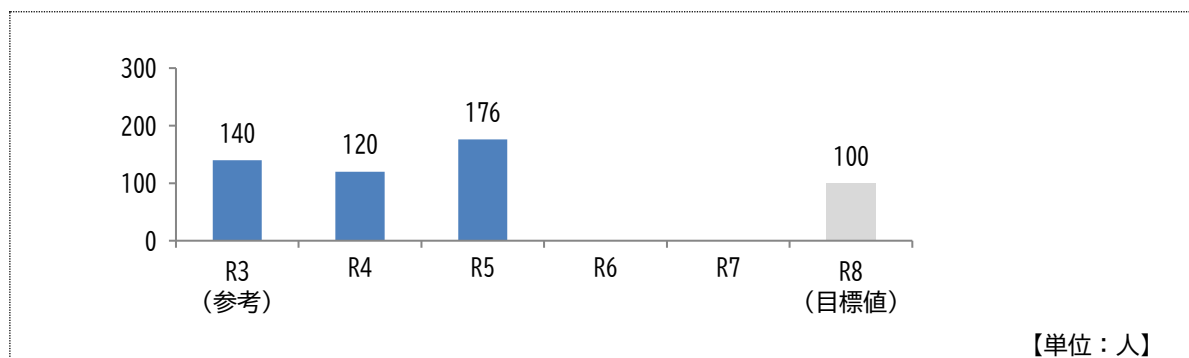


【単位：％】

■ドクターカー要請時の応需率

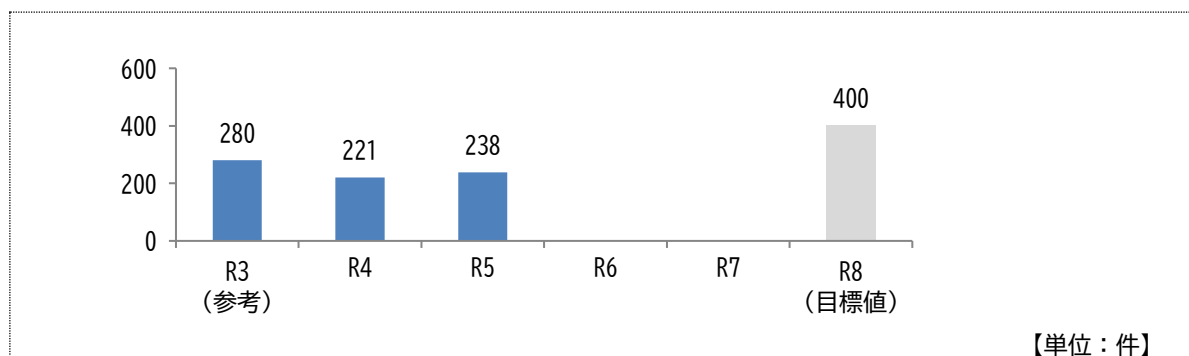
指標の定義	ドクターカー要請件数に占める出動件数の割合
資料出典	八戸市（各年度集計）

◇基本目標２ 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり



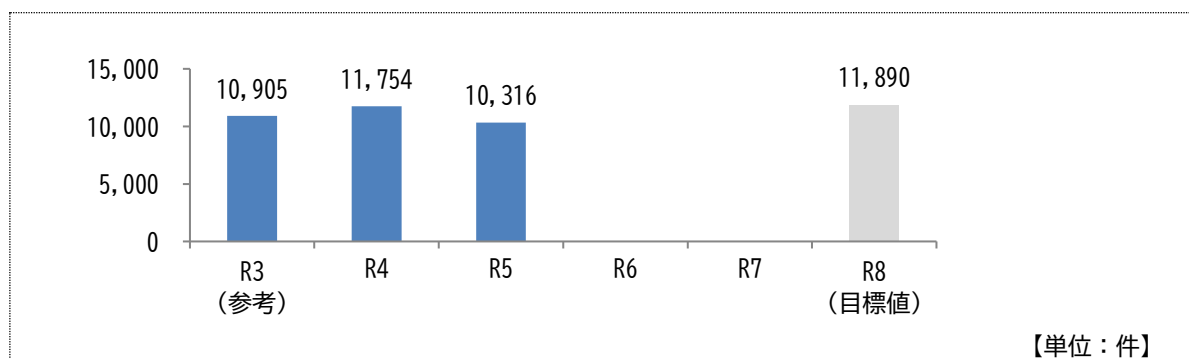
■生活困窮者対象の就労支援による就労者数

指標の定義	①生活保護受給者等就労自立促進事業 ②就労支援相談員活用プログラム事業 ③ケースワーカーによる支援 ④生活保護受給者等就労準備支援事業 4種類の就労支援プログラムの延べ支援対象者数に対する延べ就労者数
資料出典	八戸市（各年度集計）



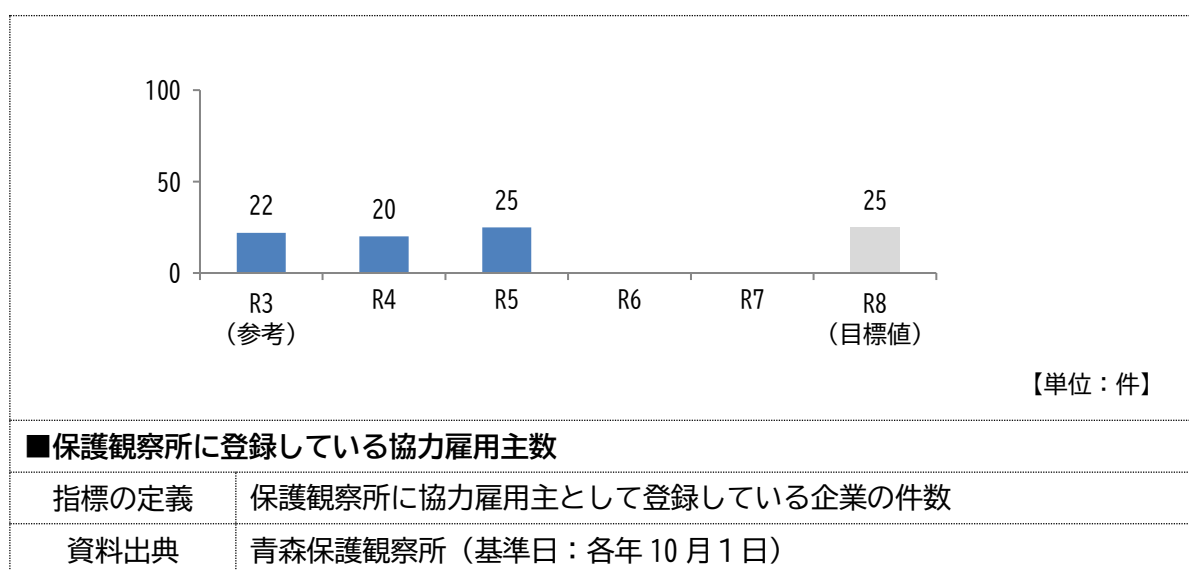
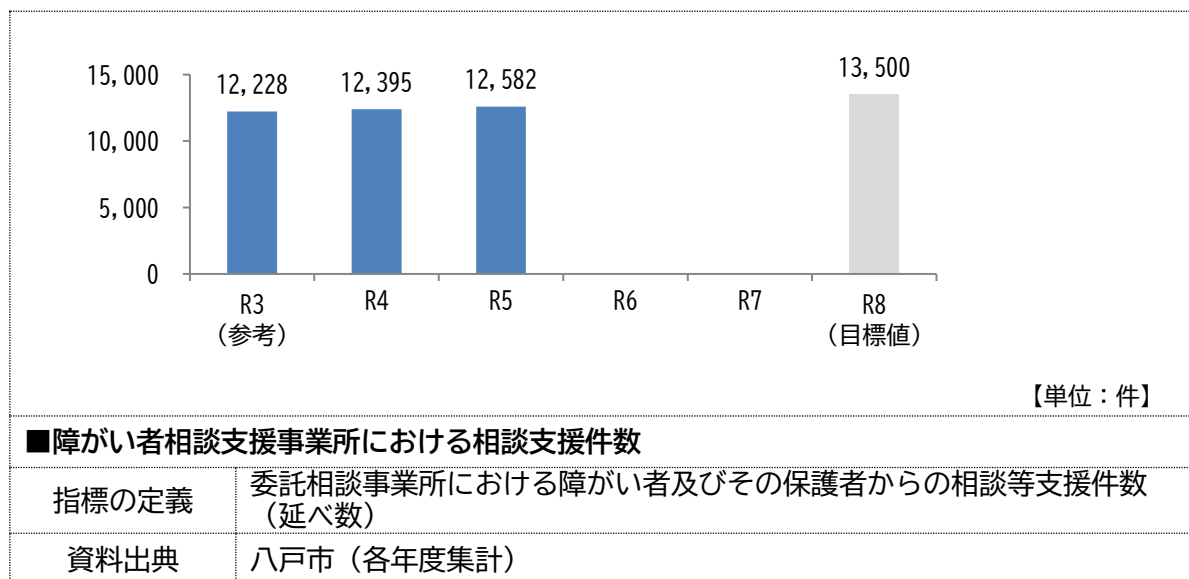
■成年後見センターにおける制度利用相談等の権利擁護の相談件数

指標の定義	成年後見センターで受け付けた相談件数（延べ数）
資料出典	八戸市（各年度集計）

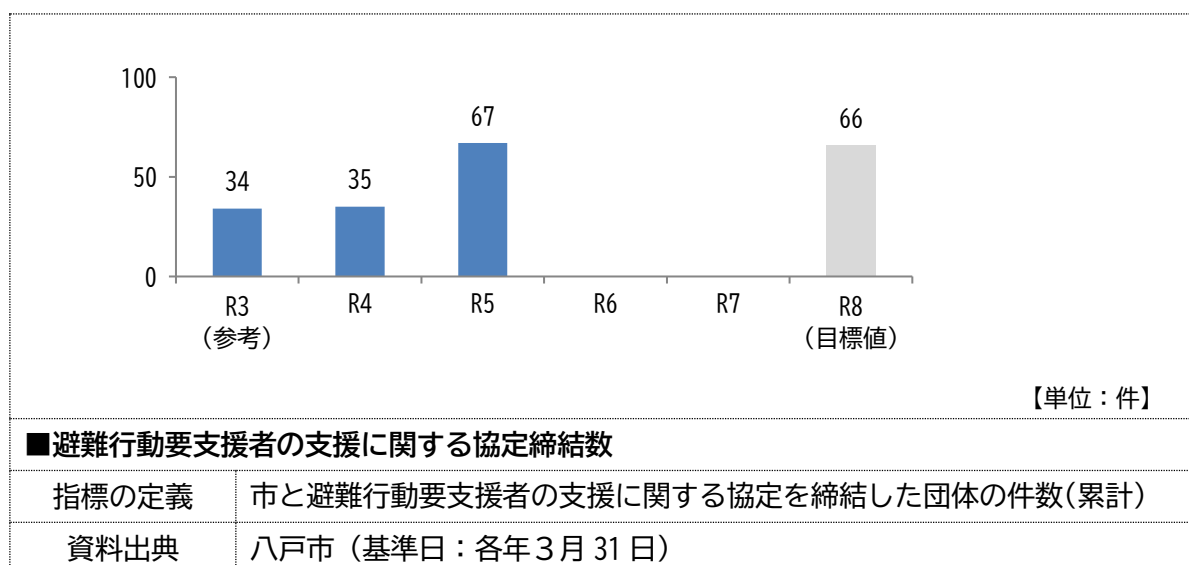


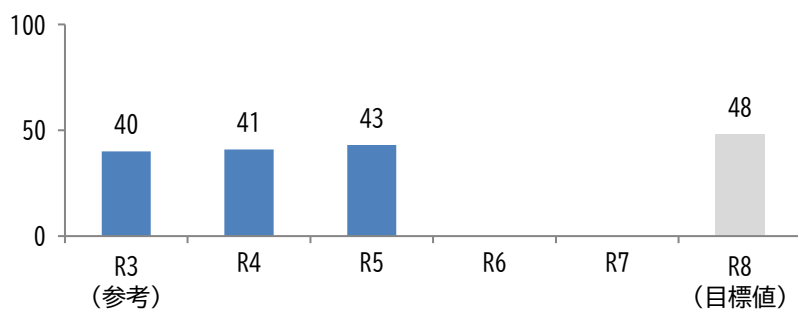
■市地域包括支援センター及び高齢者支援センターにおける総合相談件数

指標の定義	市地域包括支援センター及び高齢者支援センターで受け付けた総合相談の件数（延べ数）
資料出典	八戸市（各年度集計）



◇基本目標3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり

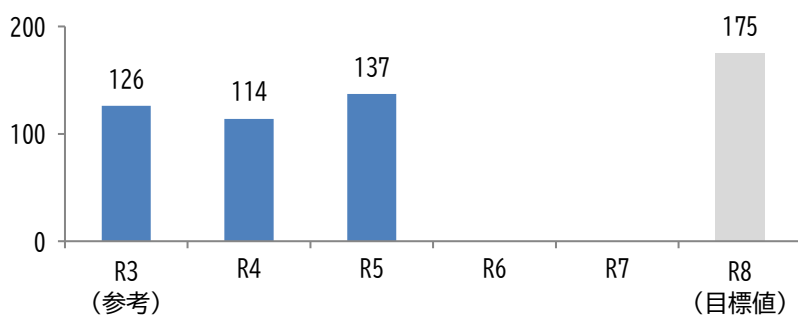




【単位：件】

■地域の安心・安全見守り事業の協力事業者数

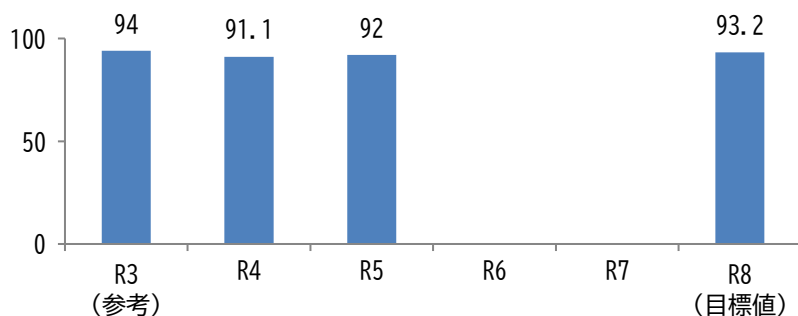
指標の定義	市と八戸市地域の安心・安全見守り協定を締結した事業者の件数(累計)
資料出典	八戸市（基準日：各年3月31日）



【単位：件】

■市窓口での町内会加入取次件数

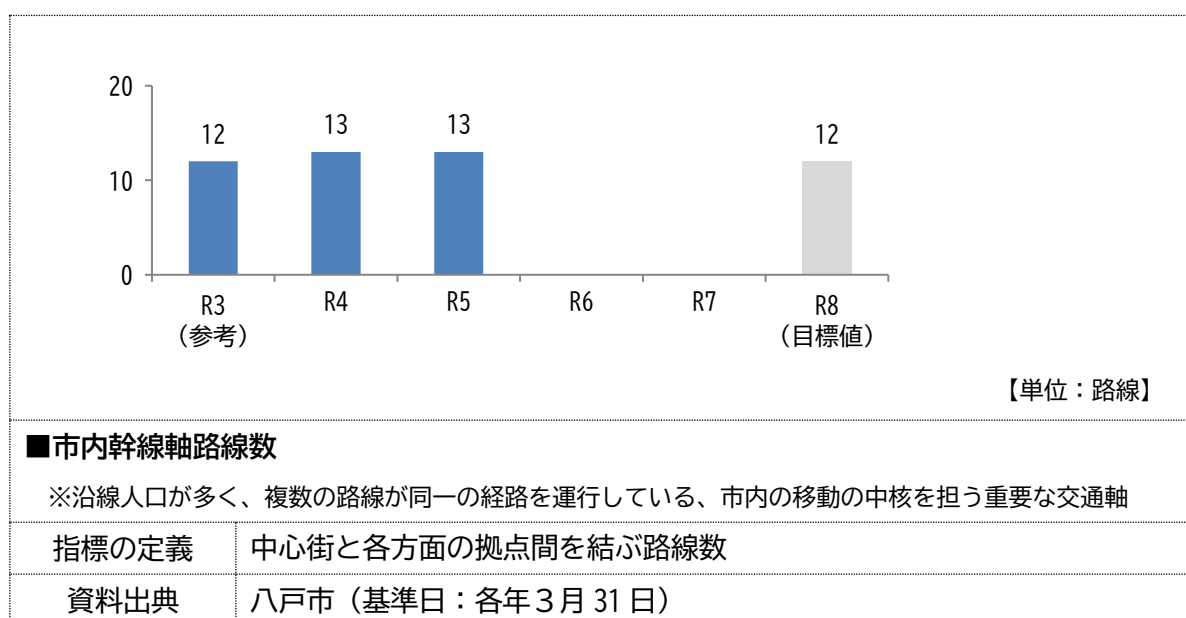
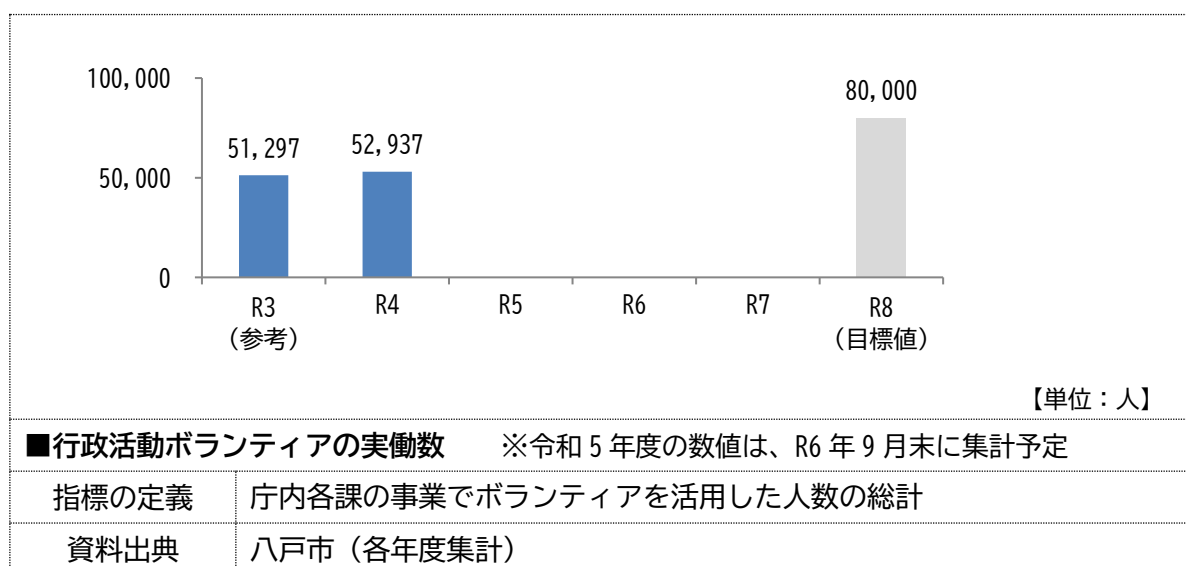
指標の定義	市窓口（電話・HP への問合せを含む）で受付した加入希望者を各町内会へ取次した件数
資料出典	八戸市（各年度集計）



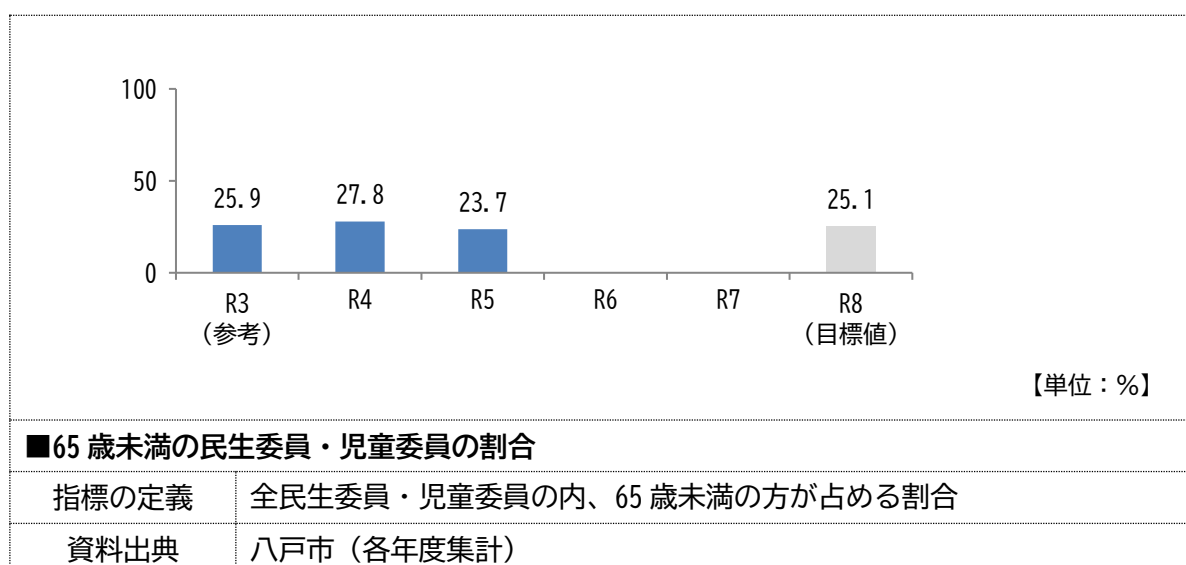
【単位：％】

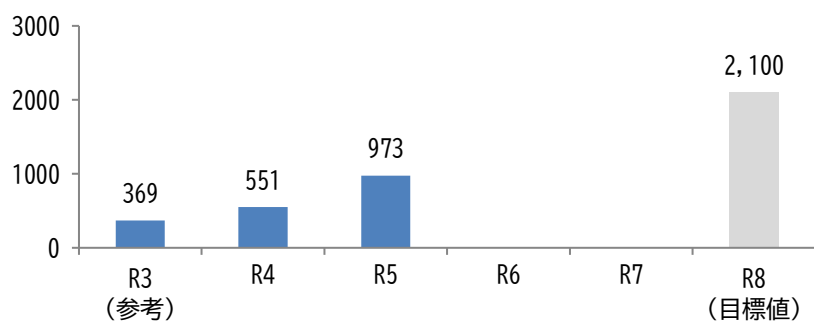
■民生委員・児童委員の定数に対する充足率

指標の定義	民生委員・児童委員の定数に対する委嘱者の充足率
資料出典	八戸市（各年度集計）



◇基本目標4 思いやりの心と人づくり

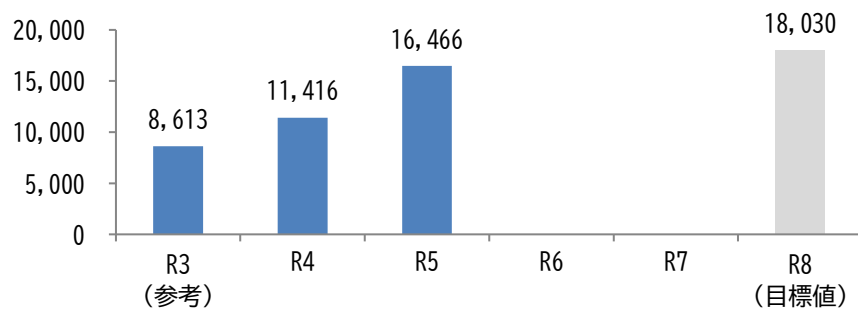




【単位：人】

■中学生、高校生のボランティア活動実績人数

指標の定義	ボランティア活動に参加した中・高生の人数（延べ数）
資料出典	八戸市教育委員会（各年度集計）



【単位：人】

■ほっとサロン、三世代交流会の参加人数

指標の定義	ほっとサロン、三世代交流会の参加人数（延べ数）
資料出典	八戸市（各年度集計）

第4期八戸市地域福祉計画掲載事業 変更箇所一覧

※「再掲」に「○」のある事業は、別の施策体系にも掲載されている事業です。

		変更前			変更後 ※空欄は変更のない箇所です※			変更の主な理由
No.	再掲	事業名	事業概要	担当課	事業名	事業概要	担当課	
5		健康教育事業 母子健康教育事業	早世の減少と健康寿命の延伸の実現に向けて、生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発を図る。 母子健康教育として、両親学級やすくすく離乳食教室、地区健康教室等を行う。	健康づくり推進課 すくすく親子健康課		早世の減少と健康寿命の延伸の実現に向けて、生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発を図る。 母子健康教育として、両親学級やすくすく離乳食教室、子育て出前講座等を行う。		事業拡充による講座名の変更
10		健康まつり開催事業	市民の健康づくりの意識高揚を図るため、講演会や健康展等を実施する。	国保年金課	健康フェスタ開催事業			事業名の変更
27		八戸市民大学講座	市民の生涯学習の場として、各分野の専門家や第一人者、当市に縁のある人物などを講師に招いて講演会を開催する。	社会教育課		各分野における専門家や当市に縁のある方などを講師に迎えた講座を開催する。		
32		男女共同参画情報発信事業	固定的性別役割分担意識を払しょくし、市民及び事業所の男女共同参画意識の醸成を図るため、情報誌「WITH YOU」の発行や広報・ホームページ等により、身近な場面での男女共同参画の話題提供・情報発信を行う。 また、八戸商工会議所発行の「商工ニュース」にワーク・ライフ・バランスや各種休暇制度等に関する記事を掲載する。	市民連携推進課		固定的性別役割分担意識を払しょくし、市民及び事業所の男女共同参画意識の醸成を図るため、情報誌「WITH YOU」の発行や広報・ホームページ等により、身近な場面での男女共同参画の話題提供・情報発信を行う。		
56		女性健康支援センター事業	思春期から更年期に至る女性の身体的・精神的悩みや健康状態等に関する相談に対し、助言や指導などを行う。 女性の健康週間に合わせ、講演会を開催する。	すくすく親子健康課		身体的・精神的悩みや健康状態等に関する相談に対し、助言や指導などを行う。 女性の健康週間に合わせ、講演会を開催する。		
95		ほのぼのコミュニティ21推進事業	ほのぼの交流協力員、地域福祉推進員、子どもほのぼの交流員を設置し、地域住民とのふれあいや交流を行う。	福祉政策課		「ほのぼの交流協力員」が高齢者や障がい者等の自宅を訪問し、見守りを行う。 見守り活動関係者間の連携を深める連絡会や、見守り活動に関する研修会を開催する。		
117		ゲートキーパー養成研修の開催	自殺のサインに気づき、必要に応じて専門の相談機関につなぐ役割を担う「ゲートキーパー」を養成し、一般市民等、幅広く自殺対策を支える人材を育成する。	保健予防課	ゲートキーパー研修の開催			事業名の変更

第4期八戸市地域福祉計画 登載事業一覧（令和5年度事業実施状況報告とりまとめ時点）

※「再掲」に「○」のある事業は、別の施策体系にも登載がある事業です。

基本目標1 健康で生きがいのある生活を送ることができる地域づくり

(1) 健康づくりの推進

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
1	○	地域包括支援センター運営事業	市内12の日常生活圏域に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置・運営し、高齢者などに対する総合相談及び介護予防支援等を行う。 地域住民が連携し、高齢者の見守りを行う「見守りネットワーク」の立ち上げを支援する。	継続	高齢福祉課
2		介護予防センター運営事業	高齢者自らが健康状態を日頃から意識し、主体的に介護予防に取り組むことができるよう介護予防事業及び認知症予防事業を実施する。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの拠点として、認知症支援事業を実施する。	継続	高齢福祉課
3	○	認知症サポーター養成・活動促進事業	認知症サポーター養成講座を開催する。 認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成及び活動の支援を実施する。 認知症サポーター等で構成する支援チーム「チームオレンジ」を整備し、認知症の人やその家族のニーズに合わせた支援を実施する。	継続	高齢福祉課
4		介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防訪問介護相当サービス、訪問型サービスAを提供する。 介護予防通所介護相当サービス、通所型サービスCを提供する。 訪問型サービスAにおいて、生活援助サービスを提供する訪問支援員を養成する。	新規 (実施中)	高齢福祉課
5		健康教育事業 母子健康教育事業	早世の減少と健康寿命の延伸の実現に向けて、生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発を図る。 母子健康教育として、両親学級やすくすく離乳食教室、子育て出前講座等を行う。	継続	健康づくり推進課 すくすく親子健康課
6	○	健康相談事業 母子健康相談事業	保健師や栄養士による健康相談を実施し、健康の保持増進ができるように支援する。（課内窓口や地区公民館等での対面による相談、電話相談、オンライン健康相談を実施） 母子健康相談として、マタニティ健康相談や乳幼児の健康相談等を行う。	継続	健康づくり推進課 すくすく親子健康課
7	○	健康づくり団体等活動支援事業	食生活改善推進員養成研修会の開催及び食生活改善推進員協議会と連携した健康づくり事業を実施する。 地域の健康づくりのリーダーである保健推進員の育成及び保健推進員と連携した健康づくり事業を実施する。	継続	健康づくり推進課
8		地域自殺対策強化事業	講演会の開催や各種広報媒体を活用し、自殺対策に関する普及啓発を推進する。	新規 (実施中)	保健予防課
9		がん検診事業	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんのがん検診を行う。	新規 (実施中)	健康づくり推進課
10		健康フェスタ開催事業	市民の健康づくりの意識高揚を図るため、講演会や健康展等を実施する。	継続	国保年金課

(2) 高齢者や障がい者等の社会参加の促進

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
11	○	心のバリアフリー推進事業	高齢者や障がい者等への理解を促し、思いやりの心を育むため、市民等を対象とした体験型講習会等を開催するとともに、各種広報媒体を活用し、正しい知識の普及啓発を図る。	継続	福祉政策課
12	○	鷗盟大学運営事業	満60歳以上の市民が入学できる2年制の大学を運営し、一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目を学習する機会を提供する。	継続	高齢福祉課
13		シニアはつらつポイント事業	高齢者が介護施設などで行ったボランティア活動に対して、商品券との交換や福祉団体への寄附ができるポイントを付与する。	継続	高齢福祉課
14	○	ほっとサロン・三世代交流事業	<ほっとサロン>高齢者の閉じこもりや孤独感の解消と、介護予防のためのほっとサロンを各地区で開催する。 <三世代交流事業>三世代交流運動会、昔っこ遊び、三世代交流もちつき会、しめ飾り作りなどを各地区で開催する。	継続	高齢福祉課
15		高齢者バス特別乗車証交付事業	70歳以上の高齢者（身体障害者手帳1～4級・愛護手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者を除く）に対し、1年間利用できるバス特別乗車証を交付する。	継続	高齢福祉課
16		老人クラブ活動支援事業	老人クラブが行う社会奉仕活動、老人教養講座、健康増進事業の経費の一部を補助する。 老人クラブ連合会が行う運営事業費、特別事業費、健康づくり事業費、活動支援体制強化事業費の一部を補助する。	新規 (実施中)	高齢福祉課
17		障がい者バス特別乗車証交付事業	6歳以上の障がい者に対し、市営バスや南部バスの市内全線で利用できるバス特別乗車証を交付する。	継続	障がい福祉課
18		自動車運転免許取得・改造事業	障がい者が自動車運転免許の取得及び自動車改造に要した経費を助成する。	継続	障がい福祉課
19		意思疎通支援事業	聴覚障がい者等が手話通訳又は要約筆記を必要とする場合に手話通訳者等を派遣する。また、手話奉仕員養成講座及び手話通訳者養成講座を行う。	継続	障がい福祉課
20		障がい者就労支援事業	障害者優先調達推進法の周知や同法による障害者就労施設等における提供物品等紹介のためのパンフレットを作成し、配布する。	新規 (実施中)	障がい福祉課
21	○	障がい者就労サポーター養成事業	障がい者雇用（予定含む）企業や障害者就労継続支援サービス事業所の関係者、その他市民等を対象に、障がいの特性や障がい者支援に関する制度について理解を深めるための障がい者就労サポーター養成講座を開催する。	継続	障がい福祉課
22		障がい者就労支援団体ネットワーク事業	障がい者の就労に関する情報について、関係事業所・団体や市民に対して情報提供・共有を行う。 意見交換等を行う会議や市民を含めた研修会を開催する。	継続	障がい福祉課
23		地域活動支援センター事業	障がい者の創作的活動や生産活動の機会の提供等を行う。 専門職員（精神保健福祉士等）を配置し、医療、福祉等との連携強化のための調整や地域住民ボランティアの育成等を実施する。	新規 (実施中)	障がい福祉課

24		障がい者団体活動支援事業	障がい者関係の社会福祉団体が行う社会福祉の向上に資する事業に対して、補助金を交付し支援を行う。	新規 (実施中)	障がい福祉課
25		シルバー人材センター育成・援助事業	高齢者の地域における就労やボランティア活動などを行うシルバー人材センターを支援する。	新規 (実施中)	産業労政課
26		公民館講座	各地域の特性を生かした学習活動を推進し、魅力ある地域づくりができるような講座を実施する。	継続	社会教育課
27		八戸市民大学講座	各分野における専門家や当市に縁のある方などを講師に迎えた講座を開催する。	新規 (実施中)	社会教育課

(3) 地域医療体制の整備

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
28		救急医療体制整備事業	医療機関・救急患者搬送機関等と連携し、初期救急から重篤・重症な救急患者まで、症状等に応じた救急医療が行える体制を整備する。	継続	保健総務課
29		地域医療連携の推進	急性期の医療機関やかかりつけ医など、疾病や病態に応じた適切な医療機関の受診を推進するための周知を行う。	継続	保健総務課
30		A E D普及促進事業	ボランティア団体等との協働によりA E D講習会を開催する。 イベント等での救命活動に備えるため、圏域内でA E Dの相互利用を行う。 A E D設置施設の情報提供を行う。	新規 (実施中)	保健総務課
31		ドクターカー運行事業	医師を乗せて救急現場に直行する「ドクターカー」を市民病院に配備、運行する。	新規 (実施中)	保健総務課

(4) 多様な働き方、生き方が選択できる環境の整備

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
32		男女共同参画情報発信事業	固定的性別役割分担意識を払しょくし、市民及び事業所の男女共同参画意識の醸成を図るため、情報誌「WITH YOU」の発行や広報・ホームページ等により、身近な場面での男女共同参画の話題提供・情報発信を行う。	継続	市民連携推進課
33		意識啓発講演会開催事業	市民を対象に男女共同参画の必要性について普及啓発を図るため、八戸市男女共同参画推進月間である10月に意識啓発講演会を開催する。	継続	市民連携推進課
34		ロールモデルPR事業	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、起業や就業、社会活動等の様々な分野で活躍する方の情報を発信する。	継続	市民連携推進課
35		LGBT等理解促進事業	差別や偏見のない誰もが生活しやすいまちづくりを推進するため、市民や職員を対象とした研修会を通じて、性的指向や性自認に関する理解促進と意識啓発を図る。	新規 (実施中)	市民連携推進課

基本目標2 個人が尊重され誰もが公平に福祉サービスを受けられる体制づくり

(1) 自立支援と権利擁護の推進

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
36		日常生活自立支援事業（民間）	高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや日常生活に必要な金銭管理の援助等を行う。 青森県社会福祉協議会より委託を受け、八戸圏域8市町村を対象に事業を実施。	継続	市社会福祉協議会
37		生活困窮者自立相談支援事業	「生活自立相談支援センター」を開設し、生活困窮者からの相談について複合的な課題の分析やその解決に向けた専門機関への適切なつなぎ、個々の状況に応じた自立支援計画の作成等の支援を行う。	継続	生活福祉課
38		住居確保給付金	離職や自営業の廃業又はやむを得ない休業等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれの高い方に、一定期間、家賃相当分（支給要件・上限あり。共益費等は対象外）の住居確保給付金を支給し、住居と就業機会の確保を支援する。	継続	生活福祉課
39		家計改善支援事業	生活困窮者からの相談に応じ、家計管理に関する助言や指導、貸付のあっせん等を実施し、家計管理能力の向上等により、自立した生活の定着を支援する。	継続	生活福祉課
40		生活困窮者等学習支援事業	生活困窮世帯の中学校から高等学校までの生徒に対し、特定の場所を確保した拠点型の学習指導を行う。 拠点型の支援に参加する生徒とその保護者への学校生活や進路等に関する相談支援を通じて生徒（世帯）の状況を把握し、必要に応じて訪問型・通信型の学習支援を行う。	継続	生活福祉課
41		生活保護受給者等就労準備支援事業	就労意欲が低い、生活習慣の改善が必要等の課題を抱え、直ちに就労することが困難な生活困窮者を対象に、就労に向けた支援や就業機会の提供を行う。	継続	生活福祉課
42		成年後見センター事業（地域連携ネットワークの中核機関及び協議会の設置運営）	権利擁護に関する総合相談を行う。 成年後見ネットワーク会議を運営する。 成年後見セミナーを開催するなど成年後見制度等に関する啓発・研修を行う。	継続	高齢福祉課 障がい福祉課
43		成年後見制度利用支援事業	高齢者や障がい者などの成年後見制度利用にあたり、必要経費負担能力のない者に対して経費の一部又は全部を助成する。	継続	高齢福祉課 障がい福祉課
44	○	市民後見推進事業	市民後見人養成研修や市民後見人フォローアップ研修を開催するとともに、市民後見人の活動支援を行う。 市民後見人候補者への助言、後見人受任後の継続的な支援を行う。 市民後見人の名簿管理を行う。 成年後見制度の利用支援等に関する必要事項の調査審議を行うため、市民後見推進協議会を開催する。	新規 （実施中）	高齢福祉課 障がい福祉課
45		高齢者虐待防止研修会の開催	市民や高齢者施設関係職員等を対象に、高齢者虐待に関して啓発を行うとともに、高齢者虐待の実態と防止・対応上の留意点を学ぶことを目的に研修会を開催する。	新規 （実施中）	高齢福祉課

46		高齢者・障がい者虐待対策ケース会議の開催	高齢者や障がい者に対する虐待の防止及び早期発見を図り、その原因を明らかにする。被害者及び家族等への総合的な支援策を検討し、各関係機関との連携システムを構築する。	継続	高齢福祉課 障がい福祉課
47		児童虐待防止対策事業	児童虐待防止に関する住民向けセミナー及び専門職向けの研修会を実施する。（八戸連携中枢都市圏事業）	新規 (実施中)	こども家庭相談室
48		母子父子寡婦福祉資金貸付事業	母子父子寡婦福祉法に基づき、母子家庭・父子家庭・寡婦を対象に、経済的自立を図るため12種類の資金により貸付を行う。	新規 (実施中)	こども家庭相談室
49		いじめ問題対策連絡協議会の開催	公立小・中学校におけるいじめの防止等に関する対策を総合的かつ効果的に推進するため、関係機関や団体等で構成する会議を開催し、情報共有や啓発活動等について連携して対応する。	新規 (実施中)	教育指導課
50		権利擁護支援事業	高齢者やその家庭に重層的な課題が存在している等の困難事例や虐待事例を把握した場合には対応を検討し、必要な支援を行う。 日常生活自立支援事業、成年後見制度等の制度の説明や活用等、ニーズに即した適切なサービスや関係機関につなぎ、適切な支援を提供することにより、高齢者の生活の維持を図る。 消費者被害を防止するため、必要な情報提供や消費生活センター等と連携した対応を行う。 障がい者虐待に関する普及啓発活動の推進、虐待対応ケース会議の運営を行う。	継続	高齢福祉課 障がい福祉課
51		母子家庭等対策総合支援事業	ひとり親家庭等の自立を目的として、就職、生活援助、資格取得、学び直し、法律相談等の総合的な支援を行う。	新規 (実施中)	こども家庭相談室
52		市営住宅における優先入居	市営住宅の入居に際し、多子世帯、ひとり親世帯、DV被害者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等、居住の安定を図る必要がある世帯に対し、優先的な取扱いを行う。	新規 (実施中)	建築住宅課
53		住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅登録事業	空き家、空き室の所有者等からの申請に基づき、その家屋を利用して高齢者、低所得者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として登録し、広く一般に情報提供する。	新規 (実施中)	建築住宅課

(2) 相談支援体制の充実と適切な情報発信

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
54	○	地域子育て支援センター事業	地域の認定こども園・保育所（園）への委託により、子育ての不安・悩みの相談や保護者同士が交流する場を提供する。	継続	こども未来課
(1)	○	地域包括支援センター運営事業	市内12の日常生活圏域に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置・運営し、高齢者などに対する総合相談及び介護予防支援等を行う。 地域住民が連携し、高齢者の見守りを行う「見守りネットワーク」の立ち上げを支援する。	継続	高齢福祉課
55		障がい者相談支援事業	障がい者が地域で自立した生活を営むことができるように、障がい者等からの相談に応じ必要な情報の提供及び援助を行う。	継続	障がい福祉課
(6)	○	健康相談事業 母子健康相談事業	保健師や栄養士による健康相談を実施し、健康の保持増進ができるように支援する。（課内窓口や地区公民館等での対面による相談、電話相談、オンライン健康相談を実施） 母子健康相談として、マタニティ健康相談や乳幼児の健康相談等を行う。	継続	健康づくり推進課 すくすく親子健康課

56		女性健康支援センター事業	身体的・精神的悩みや健康状態等に関する相談に対し、助言や指導などを行う。 女性の健康週間に合わせ、講演会を開催する。	新規 (実施中)	すくすく親子健康課
57		八戸版ネウボラ推進事業	妊産婦及び乳幼児の保護者、子どものいる家庭が安心して子育てできるよう、母子保健の「すくすく親子健康課（子育て世代包括支援センター）」、福祉事務所「こども家庭相談室（こども家庭総合支援拠点）」、教育委員会「こども支援センター」の3部署が総合保健センター内においてワンストップで相談対応できるよう、子育て支援に係る保健・福祉・教育の連携強化を図る。	新規 (実施中)	すくすく親子健康課 こども家庭相談室 こども支援センター
58		子ども家庭見守り・訪問支援事業	保護者等にメリットがある育児や家事等の支援提供を行いながら、要保護・要支援児童の安否確認を行う。 生活支援を通じて基本的な生活習慣の習得支援を行う。	新規 (実施中)	こども家庭相談室
59		女性相談事業	女性保護を目的として女性相談員2名を配置し、相談に応じ助言指導を行う。 また、配偶者暴力相談支援センターを運営し、DV被害の疑いのある相談については、緊急の場合、一時保護するなど必要な措置を講じるほか、各種証明書の発行を行う。さらに、DV被害者の自立に向けて、関係課と連携し支援を行う。	新規 (実施中)	こども家庭相談室
60		スクールソーシャルワーカー活用事業	市立小・中学校10校（1名につき2校）を拠点に、スクールソーシャルワーカーが全中学校区において相談活動を展開する。 スクールソーシャルワーカースーパーバイザーを教育委員会内にある八戸市少年相談センターに配置し、学校や保護者からの相談、スクールソーシャルワーカーの派遣調整、関係機関との連絡調整を行う。	新規 (実施中)	教育指導課
61		福祉サービスの苦情相談・解決事業	福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するため、助言、相談、調査、あっせん等を行う。	継続	関係各課
62		多機関協働による包括的相談支援体制の整備	「住民に身近な圏域」にある相談支援機関等では対応しがたい複合的かつ複雑な課題や制度の狭間にある課題等を、多機関が協働して包括的に受け止める相談支援体制を整備する。	新規 (未実施)	福祉政策課
63		重層的支援体制整備事業	対象者の属性を問わない包括的な「相談支援」、社会とのつながりを作る「参加支援」、地域からの孤立を防ぎ交流や活躍の機会を生み出す「地域づくりに向けた支援」を一体的に行う重層的支援体制整備事業の実施について検討する。	新規 (未実施)	関係各課
64		様々な媒体による情報発信	子育ての情報や高齢者の情報など、対象者に応じた様々な媒体による情報提供を推進する。	継続	関係各課
65		高齢者、障がい者等に配慮した情報発信	高齢者や障がい者、外国人など、情報を得ることが困難な人にも必要な情報が確実に届くよう、拡大文字、ふりがな併記、音声案内、手話・筆記、イラスト、ピクトグラム、色使いの配慮など、相手方の特性を踏まえた適切な伝達手段を使って情報発信を行う。	新規 (実施中)	関係各課

(3) 課題解決に向けたネットワークの構築

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
66		虐待等防止対策会議の開催	虐待等の防止に係る対策を分野横断で総合的に推進するため、保健・医療・福祉・介護・教育等の関係機関で構成する会議を開催し、庁内の分野別会議における対応体制の検証・助言等を行う。	継続	福祉政策課
67	○	生活支援体制整備事業	資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組（生活支援サービス）のマッチングを行う生活支援コーディネーターを配置する。 生活支援コーディネーターを補完し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する協議会を開催する。 住民ニーズの把握と自助や互助の取組を促進するため、ワークショップを開催する。	新規 (実施中)	高齢福祉課

68		自殺対策ネットワーク会議の開催	自殺対策に関わる保健、医療、福祉、教育、商工、労働、警察、消防、民間団体等の連携強化及び情報交換を行う。	新規 (実施中)	保健予防課
69		ひきこもり対策ケース会議の開催	地域支援者、行政機関の職員、その他ひきこもりの相談関係者等の関係機関が相互に連携し、ひきこもり支援の充実を図る。	新規 (実施中)	保健予防課
70		要保護児童対策地域協議会の開催	児童相談所やDV相談支援センターで対応した虐待案件へのその後の見守り・支援、要保護・要支援児童（ヤングケアラー含む）への支援などについて、関係課及び関係機関で定期的に会議を開催し、連携して対応する。	新規 (実施中)	こども家庭相談室

(4) 再犯防止施策の推進

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
71		更生保護活動への支援	地域における更生保護活動の中心的役割を担う八戸地区保護司会及び保護司の活動拠点である更生保護サポートセンターへの支援を行う。	新規 (実施中)	くらし交通安全課 福祉政策課
72		社会を明るくする運動の推進	再犯防止に関する意識の醸成を図るため、保護司会、更生保護女性会、BBS会、警察、拘置支所、教育委員会等と連携し、街頭啓発活動や各種媒体を用いた広報活動を実施する。	新規 (実施中)	くらし交通安全課
73		民間協力者や関係団体等との連携	保護司、更生保護女性会など、関係団体の会議等を通じて、更生保護に係る情報共有を図るとともに、市社会福祉協議会、青森保護観察所等との連携強化に努める。	新規 (実施中)	くらし交通安全課
74		協力雇用主への入札優遇措置	建設工事競争入札参加者資格審査における主観的評価項目に、保護観察所に協力雇用主として登録している企業へ加点する制度を導入するとともに、制度の周知に努め、刑務所・少年院出所者の生活安定を図る。	新規 (実施中)	契約検査課

基本目標3 地域で支え合い、安心して暮らせる地域づくり

(1) 防災・防犯対策の充実

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
75		避難行動要支援者事業	避難行動要支援者名簿、個別避難計画を作成する。 避難行動要支援者名簿の提供や個別避難計画の作成を通じて、要支援者を地域で支援していく体制を構築する。 GIS連動型避難行動要支援者支援システムを運用する。	継続	福祉政策課
76		福祉避難所整備事業	要配慮者移送チーム員を対象に研修を行う。 福祉避難所の修繕や備品等の整備を行う。	新規 (実施中)	福祉政策課
77		地域の安心・安全見守り活動推進事業	宅配業者、タクシー会社、新聞販売店などと「地域の安心・安全見守り協定」を締結し、事業者が業務上把握した地域住民の状況に関する情報提供を受け、必要な対応につなげる体制を構築する。	継続	福祉政策課

78		防災市民研修会開催事業	自主防災組織、町内会、学校等が開催する防災講演会等へ講師を派遣する。 防災に関する市民研修会を開催する。	継続	災害対策課
79		自主防災組織育成事業	自主防災組織が防災資機材の整備に要する経費に対して補助金を交付する。 防災活動に持続性を持たせるとともに、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の活動に要する経費の一部に対して助成金を交付する。 自主防災会連絡協議会を通じて意見交換や情報共有を行い、自主防災組織相互の協力体制を構築・強化する。 地域における防災リーダーを育成するため、自主防災組織リーダー研修会を実施する。	継続	災害対策課
80		安全・安心情報発信事業	災害時の避難情報や気象情報、火災情報、防犯情報、危険動物出没情報等の各種警戒情報（安全・安心情報）をメールや専用アプリで配信する。 利用者の拡大を図るため、チラシの配布等を行う。	継続	危機管理課
81		総合防災訓練の実施	災害発生時の防災活動が迅速かつ的確に行えるよう地域住民や防災関係機関等の参加・連携のもと、避難訓練、救助・救出訓練、避難所開設訓練等を行う。	新規 (実施中)	災害対策課
82		地区防災訓練への支援	町内会や自主防災組織が主催する地区防災訓練を支援する。	新規 (実施中)	災害対策課
83		地域防犯管理者の養成事業	防犯対策にかかる一定の知識・技能を修得するため講習会を開催し、地域・事業所において、防犯診断、防犯指導を行い、犯罪被害の未然防止を図る。	継続	くらし交通安全課
84		交通安全推進団体の育成・支援	地域や家庭での交通安全教育の推進、関係機関の連携を図るため、交通安全協力員や交通安全母の会連合会などの交通安全推進団体の育成・支援を行う。	継続	くらし交通安全課
85		地域安全・安心マップづくり推進事業	子どもを犯罪被害から守るための地域安全マップを各小学校において作製する。	継続	くらし交通安全課
86		安全・安心まちづくり推進協議会	市民、連合町内会、地域ボランティア団体、事業者、市、教育委員会、警察、消防、その他関係機関・団体により構成される協議会で、安全・安心なまちづくりについて協議する。	継続	くらし交通安全課
87		悪質商法の被害防止のための出前講座の実施	悪質商法の被害防止のため、若年者（中学生、高校生、大学生等）向けに出前講座を実施する。	継続	くらし交通安全課
88		消費生活相談の実施	専門の相談員を配置し、悪質商法等に係る消費生活相談を行う。	継続	くらし交通安全課
89		悪質商法相談事例紹介	マスコミや市の広報を利用し、悪質商法の相談事例を紹介する。	継続	くらし交通安全課
90		学校安全情報配信システムの運用	風水害等による通学路の危険情報や不審者情報などを携帯電話やパソコンの電子メールを利用して保護者等に配信することにより、児童生徒の安全確保を図る。	継続	教育指導課

(2) 住民主体による支え合いの促進☒

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
91		連合町内会連絡協議会連携事業 (町内会加入促進など)	八戸市連合町内会連絡協議会と連携し、町内会への加入促進や町内会の組織強化を図る。	継続	市民連携推進課
92		「地域の底力」実践プロジェクト促進事業	地域の特色や資源を活用し、抱える課題の解決や地域の活性化に向けて主体的に取り組む地域を公募し、取組内容の企画・立案段階でのノウハウの提供や会議開催の支援を行う。 プロジェクトの円滑な実践のため補助金を交付し、多様な団体と連携した地域活動の全体的な広がりを図る。	継続	市民連携推進課
93		地域担当職員制度	協働のまちづくりを推進するため、地域と行政のつなぎ役となる担当職員を公民館（24館）の区域ごとに設置する。	継続	市民連携推進課
94		協働のまちづくり研修会の開催	市民等が協働の意義や地域コミュニティに関する知識や理解を深め、協働のまちづくりへの積極的な参加・参画を促進するための研修会を開催する。	継続	市民連携推進課
95		ほのぼのコミュニティ21推進事業	「ほのぼの交流協力員」が高齢者や障がい者等の自宅を訪問し、見守りを行う。 見守り活動関係者間の連携を深める連絡会や、見守り活動に関する研修会を開催する。	継続	福祉政策課
96		地域集会所整備事業	住民自らが地域集会所の新築・改修・建替・トイレ水洗化及び洋式化を行う際に補助金を交付する。	継続	福祉政策課
97		民生委員・児童委員活動の推進	民生委員・児童委員の資質向上や啓発活動に取り組む民生委員児童委員協議会と連携し、情報交換や諸問題の解決に向けた協議等を行うとともに、同協議会への運営支援を行う。	新規 (実施中)	福祉政策課
(1)	○	地域包括支援センター運営事業	市内12の日常生活圏域に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置・運営し、高齢者などに対する総合相談及び介護予防支援等を行う。 地域住民が連携し、高齢者の見守りを行う「見守りネットワーク」の立ち上げを支援する。	継続	高齢福祉課
(14)	○	ほっとサロン・三世代交流事業	<ほっとサロン>高齢者の閉じこもりや孤独感の解消と、介護予防のためのほっとサロンを各地区で開催する。 <三世代交流事業>三世代交流運動会、昔っこ遊び、三世代交流もちつき会、しめ飾り作りなどを各地区で開催する。	継続	高齢福祉課
98		子育てサロン支援事業	地域の公民館や児童館等における子育てサロン（地域の親子が気兼ねなく集まり、子育ての相談や交流ができる場）の運営を支援する。	継続	こども未来課
99		つどいの広場事業	八戸ポータルミュージアム内において「こどもはっち」を開設し、子育て親子の交流機会の提供や子育てに関する情報発信等を行う。	継続	こども未来課
(54)	○	地域子育て支援センター事業	地域の認定こども園・保育所（園）への委託により、子育ての不安・悩みの相談や保護者同士が交流する場を提供する。	継続	こども未来課
100		ファミリーサポートセンター運営事業	子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（提供会員）を登録・紹介する。 提供会員に対して相互援助活動に必要な知識を付与するための講習会を開催する。 会員との交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会を開催する。	継続	子育て支援課
101		放課後児童健全育成事業	放課後に、保護者が就労等の事情により家庭にいない小学生を対象に（低学年優先）、適切な遊びの場及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。	継続	子育て支援課

102		児童館運営事業	健全な遊びを通して、児童の健康増進や情操を豊かにするため、遊具を使った遊びや創作等の活動を行う。	継続	子育て支援課
103		児童館母親クラブ活動事業	児童の健全な育成を図るため、母親など地域住民による親子及び世代間交流や児童の事故防止活動等を行う。	継続	子育て支援課
104	○	地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	住民自らが地域福祉をはじめとした様々な地域課題を解決していくため、会合の場として公民館を積極的に提供する。	継続	社会教育課
105		地域における包括的相談支援体制の整備	住民に身近な圏域において、地域住民の相談を「世帯丸ごと」、「複合課題丸ごと」、「とりあえず丸ごと」受け止め、情報提供や助言を行うとともに、必要に応じて支援関係機関につなぐことができる体制を整備する。	新規 (未実施)	福祉政策課

(3) ボランティア・NPO活動の活性化

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
106		八戸圏域住民活動促進事業	市民活動団体の拠点施設である市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」を運営する。公益的な活動を行う市民活動団体に対し、打合せスペースや作業スペースを提供するとともに、市民活動に関する情報などを発信する。	継続	市民連携推進課
107		「元気な八戸づくり」市民奨励金制度	市民活動団体や地域コミュニティ活動団体が取り組む自主的な公益性のあるまちづくり活動に対し奨励金を交付する。	継続	市民連携推進課
108		「元気な八戸づくり」市民提案制度	市民活動団体や地域コミュニティ活動団体、事業者から、市民と行政が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる事業提案を募集する。採択された事業を提案者と協力して実施する。	継続	市民連携推進課
109		住民活動保険制度	対象圏域住民が行う公益的なまちづくり活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償することで、住民が安心して活動に参加することができる環境を構築する。	継続	市民連携推進課
110		ボランティアセンター運営事業（民間）	ボランティア活動に関する相談、情報提供を行うとともに、講座等を開催する。ボランティア関係団体等との連絡調整を行う。	新規 (実施中)	市社会福祉協議会

(4) 暮らしやすい生活環境の整備

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
111		南郷コミュニティバス運行事業	南郷地域における地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する。	継続	南郷事務所 政策推進課
112		南郷コミュニティタクシー運行事業	南郷地域における地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティタクシーを運行する。	継続	南郷事務所 政策推進課
(11)	○	心のバリアフリー推進事業	高齢者や障がい者等への理解を促し、思いやりの心を育むため、市民等を対象とした体験型講習会等を開催するとともに、各種広報媒体を活用し、正しい知識の普及啓発を図る。	継続	福祉政策課

113		福祉バス運営事業	市内に拠点を置く各種福祉団体が、教養研修や大会への参加のほか、健康増進や会員等の交流促進を目的とした行事などを行う際に、1日2台を上限に無料で福祉バスを運行し、移動手段を確保するとともに社会活動等の促進を図る。	継続	福祉政策課
(67)	○	生活支援体制整備事業	資源開発、ネットワーク構築、ニーズと取組（生活支援サービス）のマッチングを行う生活支援コーディネーターを配置する。 生活支援コーディネーターを補完し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する協議会を開催する。 住民ニーズの把握と自助や互助の取組を促進するため、ワークショップを開催する。	新規 (実施中)	高齢福祉課
114		生活交通路線の確保	市民の生活に不可欠なバス路線を維持する。	継続	運輸管理課 政策推進課

基本目標4 思いやりの心と人づくり

(1) 担い手の育成・支援

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
115		八戸市社会福祉協議会との連携及び支援	地域福祉を推進していく上での中核機関となる社会福祉協議会と行政の密接な連携を図り、運営への支援を行う。	継続	福祉政策課
116		民生委員児童委員研修会の開催	民生委員児童委員研修大会のほか、新任委員向けの研修、中堅民生委員向けの研修を開催する。	継続	福祉政策課
(3)	○	認知症サポーター養成・活動促進事業	認知症サポーター養成講座を開催する。 認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成及び活動の支援を実施する。 認知症サポーター等で構成する支援チーム「チームオレンジ」を整備し、認知症の人やその家族のニーズに合わせた支援を実施する。	継続	高齢福祉課
(21)	○	障がい者就労サポーター養成事業	障がい者雇用（予定含む）企業や障害者就労継続支援サービス事業所の関係者、その他市民等を対象に、障がいの特性や障がい者支援に関する制度について理解を深めるための障がい者就労サポーター養成講座を開催する。	継続	障がい福祉課
(44)	○	市民後見推進事業	市民後見人養成研修や市民後見人フォローアップ研修を開催するとともに、市民後見人の活動支援を行う。 市民後見人候補者への助言、後見人受任後の継続的な支援を行う。 市民後見人の名簿管理を行う。 成年後見制度の利用支援等に関する必要事項の調査審議を行うため、市民後見推進協議会を開催する。	新規 (実施中)	高齢福祉課 障がい福祉課
117		ゲートキーパー研修の開催	自殺のサインに気づき、必要に応じて専門の相談機関につなぐ役割を担う「ゲートキーパー」を養成し、一般市民等、幅広く自殺対策を支える人材を育成する。	新規 (実施中)	保健予防課

(7)	○	健康づくり団体等活動支援事業	食生活改善推進員養成研修会の開催及び食生活改善推進員協議会と連携した健康づくり事業を実施する。 地域の健康づくりのリーダーである保健推進員の育成及び保健推進員と連携した健康づくり事業を実施する。	継続	健康づくり推進課
(104)	○	地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	住民自らが地域福祉をはじめとした様々な地域課題を解決していくため、会合の場として公民館を積極的に提供する。	継続	社会教育課
118		福祉サービス事業者の育成及び連携	福祉事業者によるサービスの質の向上及び行政との連携強化を図るため、地域福祉向上に関する研修会や情報提供等を行う。	継続	関係各課

(2) 福祉教育の推進と福祉意識の醸成

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
(11)	○	心のバリアフリー推進事業	高齢者や障がい者等への理解を促し、思いやりの心を育むため、市民等を対象とした体験型講習会等を開催するとともに、各種広報媒体を活用し、正しい知識の普及啓発を図る。	継続	福祉政策課
119		ボランティア推進校事業（民間）	地域での具体的な活動体験を通して、思いやりの心やお互いに助け合う力を育むとともに、家庭や社会への啓発を図るため、小・中・高等学校を対象にボランティア推進校を公募し、ボランティア活動に係る助成金を交付する。	継続	市社会福祉協議会
120		共同募金運動の推進	八戸市社会福祉協議会との連携により共同募金運動を推進し、寄附による社会貢献への関心を喚起する。	新規 (実施中)	市社会福祉協議会
121		福祉出前講座の実施	福祉意識を高めるため、学校や地域に出向き、福祉の出前講座を実施する。	継続	市社会福祉協議会
(12)	○	鷗盟大学運営事業	満60歳以上の市民が入学できる2年制の大学を運営し、一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目を学習する機会を提供する。	継続	高齢福祉課
122		青少年の地域活動の推進事業	ボランティアの活動を通して、様々な地域活動に参加し、地域社会の一員としての自覚と関心を深めるため、中・高生のボランティア登録を行い、各種団体等からの依頼に応じてボランティアの派遣を調整する。	継続	教育指導課

(3) 世代間交流の促進

No.	再掲	事業名	事業概要	事業区分	担当課
(14)	○	ほっとサロン・三世代交流事業	<ほっとサロン>高齢者の閉じこもりや孤独感の解消と、介護予防のためのほっとサロンを各地区で開催する。 <三世代交流事業>三世代交流運動会、昔っこ遊び、三世代交流もちつき会、しめ飾り作りなどを各地区で開催する。	継続	高齢福祉課
123		地域伝統芸能の後継者養成への支援	無形民俗文化財の後継者養成のための事業に対し助成を行う。	継続	社会教育課

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業		今後の方針	令和5年度 実施状況					【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）
基本目標Ⅰ みんなで支え合う地域づくり								
Ⅰ－（１）地区社協への支援			八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.115					
1. 地区社協の育成支援 R4助成金総額 13,421,360円 R5助成金総額 13,445,110円		・地区社協で実施している活動の情報交換の機会を増やすなどして、活動の地域差の解消、未設置地区の解消を図り、地域での支え合いの活動を推進します。	各地区社協へ補助金を交付するとともに、未設置地区に対し、地区社協研修会等への参加案内を行った。 ◆地区社協会長・事務局長等会議 R5年 5月16日（火）参加人数 52人 【成果・今後の課題】 ・住民の地域福祉活動への理解と参加を促進し、地域で支え合い、助け合う仕組みづくりを推進した。 ・未設置地区の解消に向けた説明会の開催には至らなかったが、今後も継続して働きかけていく。					△
2. 地区社協の活動支援		・地区社協と市社協が、車の両輪となって協働し、地域の生活・福祉課題と一緒に考え、解決に向けて取り組んでいけるよう、地区社協の運営・活動における相談を受け付けるとともに、運営や活動従事者への研修を行います。 ・地区社協の行事・サロンなどに参加し、円滑な運営を支援します。	コロナ禍の行事やサロン運営の相談・助言を行った。 ◆地区社協会長・事務局長会議 R5年5月16日（火）参加人数 52人 ◆見守り活動連絡会 白山台地区 R5年 6月 9日（木）参加人数 18人 根岸地区 R5年 6月15日（木）参加人数 30人 長者地区 R5年11月30日（木）参加人数 25人 田面木地区 R6年 2月19日（月）参加人数 36人 中居林地区 R6年 3月13日（水）参加人数 25人 ◆高齢者サロンリーダー研修会 R6年 1月18日（木）参加人数 401人 ◆子育てサロン研修会 R6年 1月15日（月）参加人数 27人 【成果・今後の課題】 ・見守り活動連絡会において、地域住民のニーズを把握するとともに必要な情報を提供するなど情報交換を図った。 ・地区社協の意見を基に補助金等申請書類の簡素化を図り、地区社協担当者の事務負担軽減を図った。					○
Ⅰ－（２）住民同士の支え合いの促進			八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.14、95、98、100					
1. 地域での見守り活動（ほのほのコミュニティ21推進事業） R4予算額 3,002,000円 R5予算額 3,028,000円		・地区社協の町内ごとに「ほのほの交流協力員」を配置し、一人暮らし高齢者や地域とのつながりが必要な世帯を定期的に訪問するなどして見守り、支え合う体制の充実を図ります。 ・見守り活動を通じて困りごとを発見し、関係機関につなげられるような研修を行い、協力員のスキルアップを図ります。 ・未実施地区の解消を図り、市内全地区への事業普及を目指します。	地域住民がボランティアとして一人暮らし高齢者等の見守り活動を行い、地域福祉の向上を図った。また、協力員向けの研修会を開催した。 ◆実施地区 22地区（実施率 81.4％） 三八城・中居林・長者・小中野・江陽・湊・白銀・白銀南・鮫根城・白山台・田面木・上長・桔梗野・多賀台・館・大館・東下長・高館・根岸・南浜 ◆見守り活動連絡会 白山台地区 R5年 6月 9日（木）参加人数 18人 根岸地区 R5年 6月15日（木）参加人数 30人 長者地区 R5年11月30日（木）参加人数 25人 田面木地区 R6年 2月19日（月）参加人数 36人 中居林地区 R6年 3月13日（水）参加人数 25人 【成果・今後の課題】 ・事業の普及・啓発活動を行い、一人暮らし高齢者等、地域社会による孤立防止、地域課題解決の一助となった。 ・見守り活動連絡会において、地域住民のニーズを把握するとともに必要な情報を提供するなど情報交換を図り、見守り活動の活性化につながった。 ・今後、未実施地区において懇談会を開催する等して実施地区の拡大を図る。					○
			第3期 実施地区数	22地区（R3）		目標値	27地区	
			第3期 対象世帯数	2,480世帯（R3）		目標値	2,900世帯	
			第3期 協力員数	829人（R3）		目標値	1,000人	
			実績値	R4	R5	R6	R7	R8
			実施地区数	22	22			
			対象者世帯数	2,489	2,477			
			協力員数	839	828			

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）
2. 高齢者サロン事業 (ほっとサロン) R4予算額 6,193,000円 R5予算額 6,193,000円	・地区社協が実施主体となり、小地域ごとに高齢者サロンを実施し、高齢者の閉じこもりや孤独感の解消、生きがいや仲間づくり、心身機能の維持向上を図ります。 ・各地区のサロンスタッフの研修交流会を開催し、既存のサロンが継続していけるよう支援を行います。 ・サロン立ち上げのための説明会等を行って未実施地区の解消を図り、市内全地区への事業普及を目指します。	地域住民のボランティアスタッフが主体となり、歩いて通える場所に高齢者の集いの場となるサロンを開設した。 ◆実施地区 24地区（実施率 88.9%） 三八城・柏崎・吹上・中居林・長者・江陽・湊・白銀・白銀南・鯨・根城・白山台・田面木・是川・上長・桔梗野・多賀台・館大館・東・下長・根岸・南浜・南郷 ◆高齢者サロンリーダー研修会 R5年 5月16日（火）参加人数 52人 R5年10月18日（水）参加人数 49人 R5年12月12日（火）参加人数 40人 R6年 1月18日（木）参加人数 401人 【成果・今後の課題】 ・未実施地区の解消には至らず、実施サロン数は横ばいとなった。 ・R5.5月に新型コロナウイルスが5類移行となったことにより、実施回数や参加人数が増加し、一人暮らし高齢者等の孤独感の解消、心身機能の向上が図られた。 ・コロナ禍の自粛生活の長期化により、サロンの担い手の高齢化が進行し、ボランティアスタッフが主体となり、絵本の読み聞かせや季節行事などのサロンを開設した。 ◆実施地区 18地区（実施率 66.7%） 三八城・吹上・長者・江陽・湊・白銀・白銀南・鯨・根城・白山台・上長・桔梗野・豊崎民児協・大館・東・下長・根岸・南浜 ◆子育てサロン研修会 R6年 1月15日（月）参加人数 27人 【成果・今後の課題】 ・小中野地区の子育てサロンが廃止となったことにより、サロン数が減少したものの、R5年5月に新型コロナウイルスが5類移行となったことにより、実施回数、参加人数は増加した。 ・地区によっては、サロンスタッフの高齢化、スタッフ不足が顕著であり、実施回数、参加人数は増加した。	○
3. 子育てサロン事業 R4予算額 2,051,000円 R5予算額 2,185,000円	・地区社協が実施主体となり、小地域ごとに子育てサロンを実施し、育児の不安軽減や情報交換ができる場を提供します。 ・各地区のサロンスタッフの研修交流会を開催し、既存のサロンが継続していけるよう支援を行います。 ・サロン立ち上げのための説明会等を行って未実施地区の解消を図り、市内全地区への事業普及を目指します。	地域住民のボランティアスタッフが主体となり、絵本の読み聞かせや季節行事などのサロンを開設した。 ◆実施地区 18地区（実施率 66.7%） 三八城・吹上・長者・江陽・湊・白銀・白銀南・鯨・根城・白山台・上長・桔梗野・豊崎民児協・大館・東・下長・根岸・南浜 ◆子育てサロン研修会 R6年 1月15日（月）参加人数 27人 【成果・今後の課題】 ・小中野地区の子育てサロンが廃止となったことにより、サロン数が減少したものの、R5年5月に新型コロナウイルスが5類移行となったことにより、実施回数、参加人数は増加した。 ・地区によっては、サロンスタッフの高齢化、スタッフ不足が顕著であり、実施回数、参加人数は増加した。	○
4. ファミリーサポートセンター事業 R4予算額 7,113,000円 R5予算額 7,113,000円	・子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と子育ての援助を行いたい方（提供会員）の登録及び紹介を行い、会員相互の援助活動の充実を図ります。 ・「八戸圏域連携中枢都市圏」の提供増強のため、圏域町村との連携を強化します。 ・提供会員が、安心してサポートができるよう研修会の充実を図ります。	「八戸圏域連携中枢都市圏」事業により周辺町村にエリアを拡大して会員の増強を図った。 ◆提供会員養成講習会（年2回） R5年 7月14日（金）24日（月）31日（月）参加延人数 47人 R5年11月 1日（水） 9日（木）22日（水）参加延人数 22人 ◆ステップアップ研修会（年4回） R5年 6月19日（月）参加人数 12人 R5年 8月28日（月）参加人数 16人 R5年10月11日（水）参加人数 17人 R6年 1月15日（月）参加人数 27人 ◆会員交流会（年2回） R5年12月10日（日）参加人数 21人 R6年 3月 1日（金）参加人数 23人 【成果・今後の課題】 ・提供会員募集のチラシをより見やすい内容へ一新したことで、新規提供会員数が増加した。 ・会報誌発行、関係機関へのチラシ配布等のほか、デーリー東北にセンター	○

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																								
I－（3）福祉のニーズの把握																											
1. 地域福祉懇談会の開催	・定期的に地域福祉懇談会を開催し、情報交換や意見交換をすることにより、地域の福祉課題を共有するとともに、住民の福祉意識を高めます。	地域住民の方々との懇談を通じて地域の実情・課題などについて話し合った。 ◆地域福祉懇談会 根岸地区 R5年 6月15日（木）参加人数 30人 中居林地区 R6年 3月13日（水）参加人数 25人 【成果・今後の課題】 ・地域住民が集い、座談会形式で地域の課題について話し合ったり、地域の課題を共有し、地域をより良くするために各自が主体的に取り組むこと。	<table><tr><td>第3期 実施回数</td><td colspan="2">中止（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">2回以上</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>実施回数</td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 実施回数	中止（R3）		目標値	2回以上		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	実施回数	2	2									
第3期 実施回数	中止（R3）		目標値	2回以上																							
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																						
実施回数	2	2																									
基本目標Ⅱ 福祉の心を育む人づくり																											
Ⅱ－（1）福祉教育の推進																											
八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.11、119、121																											
1. ボランティア推進校事業 R4予算額 970,000円 R5予算額 1,200,000円	・児童・生徒を対象とし、社会福祉への関心や理解を深めるとともに、地域でのボランティア活動などを通して、思いやりの心を育て、お互いに助け合う力を育むことを目的に、ボランティア推進校事業を実施します。 ・ボランティア推進校が、地域と連携した活動に取り組めるよう支援し、推進校の活動を通して、子育て世代への地域福祉への意識啓発を図ります。	市内の小中高等学校を対象に推進校を公募し、助成金を交付し、ボランティア活動の普及を図った。 （助成金額 50,000円～100,000円） ◆ボランティア推進校 14校 城下小・中居林小・小中野小・白銀小・金浜小・田面木小・西園小 明治小・桔梗野小・多賀台小・鮫中・島守中・根城中・工大二高 【成果・今後の課題】 ・推進校の事業報告により、コロナの感染対策を講じながら地域の方々と の交流を通して、子どもたちに思いやりの心や助け合いの心が育まれたことが確認できた。 ・今後も「共に生きる社会」を目指し、福祉教育への取り組みや福祉に	<table><tr><td>第3期 実施率</td><td colspan="2">43.0%（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">50%</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>推進校数</td><td>12</td><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実施率</td><td>45.30%</td><td>47.70%</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 実施率	43.0%（R3）		目標値	50%		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	推進校数	12	14				実施率	45.30%	47.70%			
第3期 実施率	43.0%（R3）		目標値	50%																							
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																						
推進校数	12	14																									
実施率	45.30%	47.70%																									
2. 出前講座の充実	・車椅子体験、高齢者疑似体験、点字体験、知的障がい者体験等の出前講座を開催し、市民の福祉意識の啓発を図ります。 ・福祉人材バンク事業とタイアップし、福祉の仕事に関心のある子どもを対象とした福祉体験講座を開催し、福祉の仕事に対する理解とイメージアップを図ります。	学校等に出向き、車椅子体験、高齢者疑似体験などの福祉体験学習を行った。 ◆出前講座 内訳 小・中学校・専門学校・大学等 9件 企業等 2件 ◆小中学生福祉施設体験講習会 R5年7月27日（木）参加人数 13人 【成果・今後の課題】 ・車イス体験、高齢者疑似体験等の出前講座を実施し、福祉意識の向上を図った。	<table><tr><td>第3期 実施回数</td><td colspan="2">中止（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">10回以上</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>出前講座 実施回数</td><td>7</td><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>出前講座 参加人数</td><td>395</td><td>457</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 実施回数	中止（R3）		目標値	10回以上		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	出前講座 実施回数	7	11				出前講座 参加人数	395	457			
第3期 実施回数	中止（R3）		目標値	10回以上																							
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																						
出前講座 実施回数	7	11																									
出前講座 参加人数	395	457																									
3. 福祉体験学習サポーターの養成	・学校や地域における車椅子体験、高齢者疑似体験等の福祉体験学習を支援するサポーターを養成し、福祉について学ぶことを応援する体制の充実を図ります。	学校等での福祉体験を支援するサポーター養成講座を隔年で開催する。 ◆福祉体験学習サポーター養成講座 R5年12月18日（月）参加人数 18人 【成果・今後の課題】 ・福祉体験学習サポーターを養成し、体験学習の実施体制を整備した。 ・福祉体験学習サポーターが固定化・高齢化しており、今後も定期的に養成していく必要がある。	<table><tr><td>第3期 参加人数</td><td colspan="2">中止（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">10人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>福祉体験学習サポーター養成講座 参加人数</td><td>－</td><td>18</td><td>－</td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 参加人数	中止（R3）		目標値	10人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	福祉体験学習サポーター養成講座 参加人数	－	18	－								
第3期 参加人数	中止（R3）		目標値	10人																							
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																						
福祉体験学習サポーター養成講座 参加人数	－	18	－																								

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																																																																								
Ⅱ－（２）ボランティア活動への参加促進																																																																											
八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.11、13、110																																																																											
1. ボランティアセンター運営事業 R4予算額 3,940,000円 （ボランティア推進校への交付金含む） R5予算額 4,901,000円 （ボランティア推進校への交付金含む）	・ボランティア活動に関する相談や情報提供、講座等を開催し、幅広い世代へボランティア活動の理解を広め、新たな活動者を発掘・養成し、ボランティア活動や地域活動につなげます。 ・従来からの福祉施設での活動メニューの他、地域での活動メニューや多様化する個別支援ニーズへの対応を検討し、ボランティアセンターの機能強化に取り組めます。 ・企業や大学などの社会資源を地域に還元し、社会貢献活動につなげられるような支援体制づくりに努めます。	ホームページや広報紙にボランティア講座・イベント情報、ボランティア活動メニューを掲載した。 ◆ホームページ随時更新 ◆ボランティア活動メニューの開拓 ◆ボランティア派遣 ◆各種講座の開催 ①ボランティア入門講座 R5年 6月29日（木）参加人数 30人 ②点字体験講習会 R5年 8月 2日（水）参加人数 14人 ③福祉施設ボランティアコーディネーター養成講座 隔年開催 ④知的障がい者体験講座 R5年11月14日（火）参加人数 127人 ◆ボランティア・市民活動フェスティバルの開催 R5年 8月19日（土）参加団体 31団体 【成果・今後の課題】 ・企業や大学にボランティア講座を周知し、参加を促した。 ・ニーズに合わせた講座を開催し、「共に生きる社会」を目指し、今後 も 継続して福祉意識の向上を図る。 ・今後、地区社協の担い手不足を解消するため、地域での活動メニューと	<table><tr><td>第3期 登録個人V数</td><td>28人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="3">100人</td></tr><tr><td>第3期 登録団体数</td><td>28団体（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="3">50団体</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>登録個人ボランティア数</td><td>35</td><td>26</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>登録団体数</td><td>30</td><td>49</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>活動メニュー件数</td><td>35</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ボランティア依頼件数</td><td>18</td><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ボランティア派遣数</td><td>69</td><td>44</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ボランティア入門講座人数</td><td>10</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>点字体験講習会人数</td><td>中止</td><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>福祉施設ボランティアコーディネーター養成講座人数</td><td>5</td><td>—</td><td></td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>知的障がい者体験講座人数</td><td>中止</td><td>127</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 登録個人V数	28人（R3）	目標値	100人			第3期 登録団体数	28団体（R3）	目標値	50団体			実績値	R4	R5	R6	R7	R8	登録個人ボランティア数	35	26				登録団体数	30	49				活動メニュー件数	35	40				ボランティア依頼件数	18	15				ボランティア派遣数	69	44				ボランティア入門講座人数	10	30				点字体験講習会人数	中止	14				福祉施設ボランティアコーディネーター養成講座人数	5	—		—		知的障がい者体験講座人数	中止	127			
第3期 登録個人V数	28人（R3）	目標値	100人																																																																								
第3期 登録団体数	28団体（R3）	目標値	50団体																																																																								
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																																						
登録個人ボランティア数	35	26																																																																									
登録団体数	30	49																																																																									
活動メニュー件数	35	40																																																																									
ボランティア依頼件数	18	15																																																																									
ボランティア派遣数	69	44																																																																									
ボランティア入門講座人数	10	30																																																																									
点字体験講習会人数	中止	14																																																																									
福祉施設ボランティアコーディネーター養成講座人数	5	—		—																																																																							
知的障がい者体験講座人数	中止	127																																																																									
2. シニアはつらつポイント事業 R4予算額 2,963,000円 R5予算額 3,150,000円	・高齢者が介護施設等で行ったボランティア活動に対して、金券等との交換や福祉団体への寄付ができるポイントを付与する事業に取り組み、高齢者の社会参加や地域貢献活動を支援します。	高齢期を迎える市民の社会参加、地域貢献活動の推進に努め、介護施設でのボランティア活動を促進した。 ◆説明会＆研修会（新規）の開催 年3回 R5年 5月31日（水）参加人数13人 R5年 9月29日（金）参加人数 2人 R6年 1月19日（金）参加人数 9人 ◆スキルアップ講習会の開催 年2回 R5年11月29日（水）参加人数 16人 R6年 3月 8日（火）参加人数 15人 ◆ポイント活用者数 11人 全て商品券 4人 商品券と繰越 5人 全て寄附 2人 【成果・今後の課題】 ・高齢者の介護予防及び社会貢献のため、介護保険施設でのボランティア 活動を通じて、社会参加を促進することができた。 ・新型コロナウイルスにより、会員数が減少したため、新規会員ならび に 受入施設を増やすよう啓発活動の充実を図る。	<table><tr><td>第3期 会員数</td><td>265人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="3">200人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>はつらつポイント会員数</td><td>147</td><td>106</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ボランティア受入施設数</td><td>79</td><td>86</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>新規説明会＆研修会人数</td><td>26</td><td>24</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>スキルアップ講習会人数</td><td>70</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 会員数	265人（R3）	目標値	200人			実績値	R4	R5	R6	R7	R8	はつらつポイント会員数	147	106				ボランティア受入施設数	79	86				新規説明会＆研修会人数	26	24				スキルアップ講習会人数	70	31																																							
第3期 会員数	265人（R3）	目標値	200人																																																																								
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																																						
はつらつポイント会員数	147	106																																																																									
ボランティア受入施設数	79	86																																																																									
新規説明会＆研修会人数	26	24																																																																									
スキルアップ講習会人数	70	31																																																																									

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																														
Ⅱ－（３）活動の担い手の養成																																	
1. 活動の担い手の養成	・地域福祉活動に関する広報の充実を図り、若い世代や子育てを終えた世代、退職を控えた世代が気軽に地域福祉活動に参加できるきっかけづくりとなるようなイベントや体験プログラムなどを検討し、地域福祉活動の仲間（担い手）を確保します。	地域福祉活動を維持・継続していくための新たな人材養成を行った。 ◆ファミリーサポートセンター提供会員養成講習会（年2回） R5年 7月14日（金）24日（月）31日（月）参加延人数 47人 R5年11月 1日（水）9日（木）22日（水）参加延人数 22人 ◆ボランティア入門講座 R5年 6月29日（木）参加人数 30人 ◆ボランティア活動・市民活動のPR ボランティア・市民活動フェスティバル R5年 8月19日（土） 【成果・今後の課題】 ・社協はちのへやフェイスブックへの掲載を積極的に行い、地域福祉活動に関する広報の充実を図った。 ・引き続き、様々な機会を通じて、活動に参加するきっかけづくりとなる	<table><tr><td>第3期 参加延人数</td><td colspan="2">55人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">90人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>参加延人数</td><td>54</td><td>99</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 参加延人数	55人（R3）		目標値	90人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	参加延人数	54	99															
第3期 参加延人数	55人（R3）		目標値	90人																													
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																												
参加延人数	54	99																															
基本目標Ⅲ 安心して暮らせる地域づくり																																	
Ⅲ－（１）地域での自立支援体制の充実																																	
1. 八戸市生活自立相談支援センター	・生活困窮者の早期支援と自立促進を図るために、多様な支援機関、社会資源とのネットワークを築き、相談者が抱えた複合的な課題の解決に向けた伴走型の支援を行います。 ・相談から浮き彫りにされた福祉ニーズを検討し、解決できるような仕組みづくりに努めます。	・生活困窮者からの相談に包括的に対応するとともに、その自立に向けて、アセスメントの実施、プランの作成等の支援を行った。 ◆支援調整会議及び生活困窮者自立支援ネットワーク会議 12回（月1回） ◆生活保護受給者等就労自立促進事業による就労支援（81件、内就職者56件） ◆住居確保給付金による家賃給付（22件） ◆広報誌の掲載（広報はちのへ 2回、社協はちのへ 1回） ◆地区民生委員協議会や高齢者支援センター地域ケア会議による事業周知（計7回） 【成果・今後の課題】 ・高齢者虐待防止研修会等で事業説明を行い、各関係機関の会議・協議等を通じて連携体制の強化を図ってきたため、新規相談件数496件に対して他機関からの紹介件数は127件と高い割合となっている。 ・困窮状態が深刻化した後に相談に至ることや、当事者の同意が得られ	<table><tr><td>第3期 新規プラン作成割合</td><td colspan="2">11.9%（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">15%</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>継続相談件数（内、新規相談件数）</td><td>3,131（660）</td><td>2,286（496）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>支援プラン作成件数（内、新規プラン作成件数）</td><td>112（55）</td><td>104（50）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>新規プラン作成割合</td><td>8.3%</td><td>10.1%</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 新規プラン作成割合	11.9%（R3）		目標値	15%		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	継続相談件数（内、新規相談件数）	3,131（660）	2,286（496）				支援プラン作成件数（内、新規プラン作成件数）	112（55）	104（50）				新規プラン作成割合	8.3%	10.1%			
第3期 新規プラン作成割合	11.9%（R3）		目標値	15%																													
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																												
継続相談件数（内、新規相談件数）	3,131（660）	2,286（496）																															
支援プラン作成件数（内、新規プラン作成件数）	112（55）	104（50）																															
新規プラン作成割合	8.3%	10.1%																															
2. 資金の貸付事業	・低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯の自立促進を図るため、「たすけあい資金」の貸付と「生活福祉資金」の貸付相談を行います。 ・金銭的な課題だけではなく、生活全般の複合的な課題を抱えている方に対して、民生委員や関係機関と連携した支援を行います。 ・支援が必要な世帯に制度の情報が行き届くよう周知します。	行政の相談窓口や民生委員を通じて制度のPRを行った。 ◆たすけあい資金 124件 3,027,000円 ◆生活福祉資金 1件 91,000円 【成果・今後の課題】 ・たすけあい資金は、未償還世帯の増加及び償還不能者による欠損金の増加に伴い原資が減少しているため、令和5年4月より生活保護申請時の貸付限度額を見直した。今後未償還が増加した場合、更なる見直が必要である。 ・生活福祉資金は、コロナ特例貸付の債権が1,000件を超えており、借受	<table><tr><td>第3期 たすけあい償還率</td><td colspan="2">81.9%（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">90%</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>たすけあい資金貸付件数（償還率）</td><td>142（81.9）</td><td>124（83.0）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>生活福祉資金貸付件数</td><td>132</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※生活福祉資金のコロナ特例貸付は、R4年度で終了。	第3期 たすけあい償還率	81.9%（R3）		目標値	90%		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	たすけあい資金貸付件数（償還率）	142（81.9）	124（83.0）				生活福祉資金貸付件数	132	1									
第3期 たすけあい償還率	81.9%（R3）		目標値	90%																													
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																												
たすけあい資金貸付件数（償還率）	142（81.9）	124（83.0）																															
生活福祉資金貸付件数	132	1																															

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																																				
3. フードバンク事業 R4予算額 250,000円 R5予算額 1,110,000円	・一時的に生活に困窮している世帯に、市民や企業等から寄付された食料を提供し、生活を支援します。 ・安定して食料を確保するため、事業のPRを行い、食料品の寄付を募るとともに、支援の必要な世帯に情報が伝わるよう継続的な情報発信を行います。	食料を個人や団体等から寄贈していただき、生活困窮者に提供した。 ◆フードバンク 預託食料 米304.5kg、食品等5,759点 払出食料 米207kg、食品等6,415点 ◆八戸こども宅食おすわけ便（R3年12月より開始） 開催日：偶数月最終日曜日（年6回） 【成果・今後の課題】 ・R5年度より、誰でも気軽に寄付ができるよう「フードボックス」の設置を開始したり、チラシを新しく作成したりと事業の周知に努めた。 ・利用者の増加に反し、食料在庫の状況が不安定であるため、今後もPRを継続。 ・地元新聞に相談日を掲載してPRを行い、専用電話、来所による相談を実施した。 ◆法律相談（毎週火曜日） ◆なんでも相談（水曜日・金曜日） ◆相談員情報交換会（年1回） R5年5月22日（月）参加人数6人 【成果・今後の課題】 ・住民が身近に相談できる窓口として、情報提供や助言を行うとともに必要	<table><tr><td>第3期 寄付件数</td><td colspan="2">28件（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">50件</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>寄付件数</td><td>42</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>フードバンク利用人数</td><td>144</td><td>185</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>おすわけ便配布世帯数</td><td>210</td><td>210</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 寄付件数	28件（R3）		目標値	50件		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	寄付件数	42	31				フードバンク利用人数	144	185				おすわけ便配布世帯数	210	210									
第3期 寄付件数	28件（R3）		目標値	50件																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
寄付件数	42	31																																					
フードバンク利用人数	144	185																																					
おすわけ便配布世帯数	210	210																																					
4. ふれあい相談所 R4予算額 770,000円 R5予算額 770,000円	・住民が身近に相談できる窓口として、相談所を運営し、日常生活のあらゆる心配ごとに対する「なんでも相談」や法テラスとの共催による「法律相談」を行います。 ・相談技法研修会への参加や相談員の情報交換会を開催し、相談員のスキルアップを図ります。	・障がい者の職務能力の向上を図り、障がい者と雇用者及び従業員との間をつなぐ人材の育成に努めた。 ◆八戸市障がい者就労支援団体ネットワーク事業 ・ネットワーク会議 年5回 R5年5月25日(木)、7月28日(金)、9月19日(火)、11月28日(火) R6年2月15日(木) ・研修会 R5年12月19日(火) ◆八戸市障がい者就労サポーター養成事業(7回) R5年8月2日(水)～8月30日(水) ◆行政職員対象研修会 R5年11月8日(水) ◆事業関係者及び住民対象講演会 R6年1月20日(土) 【成果・今後の課題】 ・上記の事業を開催することによって、障がい者就労支援団体のネットワーク構築や障がい者支援の普及・強化に繋がった。	<table><tr><td>第3期 相談者数</td><td colspan="2">319人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">500人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>開設日数</td><td>148</td><td>147</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>相談者数</td><td>455</td><td>474</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 相談者数	319人（R3）		目標値	500人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	開設日数	148	147				相談者数	455	474															
第3期 相談者数	319人（R3）		目標値	500人																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
開設日数	148	147																																					
相談者数	455	474																																					
5. 障がい者就労支援事業 R4予算額 682,000円 R5予算額 682,000円	・障がい者の就労支援団体とのネットワークを築き、就労に関する情報の共有、理解促進のための研修会を開催します。 ・障がい者雇用企業や障害者就労継続支援サービス事業所、市民を対象に、障がい者就労サポーター養成講座を開催し、障がいの特性や障がい者支援に関する制度について理解を深めます。	・障がい者の職務能力の向上を図り、障がい者と雇用者及び従業員との間をつなぐ人材の育成に努めた。 ◆八戸市障がい者就労支援団体ネットワーク事業 ・ネットワーク会議 年5回 R5年5月25日(木)、7月28日(金)、9月19日(火)、11月28日(火) R6年2月15日(木) ・研修会 R5年12月19日(火) ◆八戸市障がい者就労サポーター養成事業(7回) R5年8月2日(水)～8月30日(水) ◆行政職員対象研修会 R5年11月8日(水) ◆事業関係者及び住民対象講演会 R6年1月20日(土) 【成果・今後の課題】 ・上記の事業を開催することによって、障がい者就労支援団体のネットワーク構築や障がい者支援の普及・強化に繋がった。	<table><tr><td>第3期 研修会参加者数</td><td colspan="2">184人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">300人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>障がい者就労サポーター養成事業 参加延人数</td><td>122</td><td>149</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>行政職員対象研修会</td><td>52</td><td>85</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>事業者・住民対象講演会</td><td>109</td><td>32</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>283</td><td>266</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 研修会参加者数	184人（R3）		目標値	300人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	障がい者就労サポーター養成事業 参加延人数	122	149				行政職員対象研修会	52	85				事業者・住民対象講演会	109	32				合計	283	266			
第3期 研修会参加者数	184人（R3）		目標値	300人																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
障がい者就労サポーター養成事業 参加延人数	122	149																																					
行政職員対象研修会	52	85																																					
事業者・住民対象講演会	109	32																																					
合計	283	266																																					
6. 福祉団体との連携と育成	・民生委員児童委員協議会と連携し、困りごとを抱えた人への相談や支え合いの体制の充実を図ります。 ・同じ福祉課題を抱える人たちの当事者組織に助成金を交付するなどして、側面から活動を支援します。	毎月、民生委員児童委員協議会会長会及び役員会に参加し、定期的に情報交換を行った。また、福祉団体へ助成金を交付し、活動を支援した。 ◆民生委員児童委員協議会 会長会参加回数 12回 役員会参加回数 12回 【成果・今後の課題】 ・民生委員児童委員協議会と連携し、困りごとを抱えた人への相談や支え合いの体制の充実を図った。 ・赤い羽根共同募金の配分金等を活用して、福祉団体、地区社協、地区民	<table><tr><td>第3期 助成団体数</td><td colspan="2">64団体（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">66団体以上</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>助成団体数（福祉団体）</td><td>13</td><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>助成団体数（地区社協）</td><td>26</td><td>26</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>助成団体数（地区民児協）</td><td>25</td><td>25</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>64</td><td>64</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 助成団体数	64団体（R3）		目標値	66団体以上		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	助成団体数（福祉団体）	13	13				助成団体数（地区社協）	26	26				助成団体数（地区民児協）	25	25				合計	64	64			
第3期 助成団体数	64団体（R3）		目標値	66団体以上																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
助成団体数（福祉団体）	13	13																																					
助成団体数（地区社協）	26	26																																					
助成団体数（地区民児協）	25	25																																					
合計	64	64																																					

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																																																												
7. 社会福祉法人のネットワーク構築事業	・社会福祉法人制度改革により、地域における公益的な取組が、社会福祉法人の責務として明確化されたことに伴い、社会福祉法人がともに、複雑化・複合化した地域生活課題に取り組む体制を構築します。	社会福祉法人へ地域における公益的な取組等についてアンケート調査を実施した。 アンケート配布数：80法人 回答数：36法人（回収率45%） 【成果・今後の課題】 ・アンケート調査集計結果より、「地域における公益的な取組等」の実施状況等を把握し、社会福祉法人・施設との連携・協働について検討していく。	<table><tr><td>第3期 参加法人数</td><td colspan="2">0法人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">10法人以上</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>ネットワーク参加法人</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 参加法人数	0法人（R3）		目標値	10法人以上		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	ネットワーク参加法人	0	0																																													
第3期 参加法人数	0法人（R3）		目標値	10法人以上																																																											
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																										
ネットワーク参加法人	0	0																																																													
Ⅲ－（２）権利擁護の推進																																																															
八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.36、42、44、50																																																															
1. 日常生活自立支援事業	・認知症や知的障がい、精神障がい等により、自分一人で意思決定し実行に移すことが難しい状態にあり、日常生活に不安のある方が、安心して地域で暮らせるように、福祉サービスの利用手続きや日常生活上の支払、大切な書類の保管等の援助を行います。（8市町村広域事業） ・成年後見制度への円滑な移行を図るため、成年後見センターと定期的な会議を行い、日常生活自立支援事業等の適切な運営を推進します。	担当職員2名、生活支援員41名体制により相談支援を行った。 ◆成年後見センターとの定期的な会議（年12回） ◆成年後見制度への移行件数 1件【内、町村1件】 【成果・今後の課題】 ・金銭管理の援助等を通して、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力の不十分な人が住み慣れた地域や自宅等において、自立した生活が送れるよう支援することができた。 ・解約件数の増加及び専門員対応の困難ケースが増加したことにより、成年後見制度の周知を図り、市民後見人のフォローアップ研修を開催した。	<table><tr><td>第3期 実利用者数</td><td colspan="2">95人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">100人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>実利用者数(内、町村)</td><td>97(38)</td><td>79(32)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>契約件数(内、町村)</td><td>22(9)</td><td>8(5)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>（内訳）認知症高齢者</td><td>11(5)</td><td>2(1)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>精神障がい者</td><td>4(2)</td><td>2(2)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>知的障がい者</td><td>7(2)</td><td>4(2)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>解約件数</td><td>18</td><td>26</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>相談件数</td><td>1,293</td><td>1,222</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>生活支援員(内、町村)</td><td>38(19)</td><td>41(20)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 実利用者数	95人（R3）		目標値	100人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	実利用者数(内、町村)	97(38)	79(32)				契約件数(内、町村)	22(9)	8(5)				（内訳）認知症高齢者	11(5)	2(1)				精神障がい者	4(2)	2(2)				知的障がい者	7(2)	4(2)				解約件数	18	26				相談件数	1,293	1,222				生活支援員(内、町村)	38(19)	41(20)			
第3期 実利用者数	95人（R3）		目標値	100人																																																											
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																										
実利用者数(内、町村)	97(38)	79(32)																																																													
契約件数(内、町村)	22(9)	8(5)																																																													
（内訳）認知症高齢者	11(5)	2(1)																																																													
精神障がい者	4(2)	2(2)																																																													
知的障がい者	7(2)	4(2)																																																													
解約件数	18	26																																																													
相談件数	1,293	1,222																																																													
生活支援員(内、町村)	38(19)	41(20)																																																													
2. 成年後見センター事業	・認知症や知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分な人の権利擁護に関する総合相談を行います。 ・成年後見制度利用促進に関する中核的機関として、関係機関や専門職との連携体制を構築するため、ネットワーク会議を開催します。 ・成年後見人等の受任者調整等の支援や市民後見人養成研修、フォローアップ研修等を開催して担い手を育成し、活動を推進します。 ・成年後見制度普及啓発のための研修会を開催し、利用促進を図ります。 ・日常生活自立支援事業と定期的な会議を行い、成年後見制度への移行がスムーズに行えるよう連携します。	◆成年後見ネットワーク会議（年2回） R5年6月27日(火)・R6年1月30日(火) ◆成年後見制度説明会（年4回） R5年 6月12日(月) 参加人数 18人【八戸市】 R5年 9月20日(水) 参加人数 13人【五戸町】 R5年10月12日(木) 参加人数 2人【三戸町】 R5年12月11日(月) 参加人数 26人【八戸市】 ◆八戸圏域成年後見セミナー（年2回） 第一回：R5年10月17日(火) 参加人数 44人 第二回：R6年 2月17日(土) 参加人数 59人 ◆市民後見人フォローアップ研修（年4回） R5年 6月15日(木) 参加人数 21人 R5年 9月 6日(水) 参加人数 21人 R5年12月 5日(火) 参加人数 20人 R6年 2月 8日(木) 参加人数 19人 【成果・今後の課題】 ・委託内容の見直しに伴い、制度説明会・ネットワーク会議の実施回数が減少したが、内容を密にして実施、開催することができた。 ・専門性の高い相談内容が増えており、家裁や行政、弁護士、司法書士等	<table><tr><td>第3期 研修会参加者数</td><td colspan="2">162人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">累計1,000人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>248</td><td>233</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>成年後見制度説明会参加人数</td><td>116</td><td>59</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>成年後見セミナー参加人数</td><td>77</td><td>103</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>市民後見人養成研修参加人数</td><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>市民後見人フォローアップ研修参加人数</td><td>61</td><td>81</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>参加者合計</td><td>267</td><td>243</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>参加者【累計】</td><td>267</td><td>510</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 研修会参加者数	162人（R3）		目標値	累計1,000人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	相談件数	248	233				成年後見制度説明会参加人数	116	59				成年後見セミナー参加人数	77	103				市民後見人養成研修参加人数	13					市民後見人フォローアップ研修参加人数	61	81				参加者合計	267	243				参加者【累計】	267	510									
第3期 研修会参加者数	162人（R3）		目標値	累計1,000人																																																											
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																										
相談件数	248	233																																																													
成年後見制度説明会参加人数	116	59																																																													
成年後見セミナー参加人数	77	103																																																													
市民後見人養成研修参加人数	13																																																														
市民後見人フォローアップ研修参加人数	61	81																																																													
参加者合計	267	243																																																													
参加者【累計】	267	510																																																													

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																																				
3. 市民後見人の後見監督業務	・市民後見人が受任しているケースについて、家庭裁判所からの要請に応じて後見監督人を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理と身上監護を行う市民後見人の活動を支援します。	八戸市市民後見人の後見監督人を受任し、高齢者・知的障がい者・精神障がい者の権利擁護支援を行った。 ◆市民後見人面接回数 17回 ◆家庭裁判所への報告 5件 【成果・今後の課題】 ・市民後見人登録者26人中5人が市民後見人として活動中である。 ・令和5年度は新規受任が2件、終了が1件であった。 ・今後も家庭裁判所をはじめ、関係機関と連携を図り受任できるよう努める。	<table><tr><td>第3期 受任件数</td><td colspan="2">4件（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">5件以上</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>受任件数</td><td>4</td><td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>（内訳）認知症高齢者</td><td>3</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>知的障がい者</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>精神障がい者</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 受任件数	4件（R3）		目標値	5件以上		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	受任件数	4	5				（内訳）認知症高齢者	3	4				知的障がい者	0	0				精神障がい者	1	1			
第3期 受任件数	4件（R3）		目標値	5件以上																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
受任件数	4	5																																					
（内訳）認知症高齢者	3	4																																					
知的障がい者	0	0																																					
精神障がい者	1	1																																					
4. 法人後見事業 R4予算額 770,000円 R5予算額 770,000円	・認知症や知的障がい、精神障がい等により、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、市社協が成年後見人等を受任し、被後見人等の財産管理、身上監護を行うことで、住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、その権利擁護を支援します。	保佐人を受任し、被保佐人の財産管理、身上監護を行った。 ◆受任状況 【保佐人 1件】 【成果・今後の課題】 ・コロナ禍前の状況に戻りつつあり、被保佐人との面談も可能となってきた。 ・今後も関係機関や法人後見事業運営委員会等と連携を図り、事業の	<table><tr><td>第3期 受任件数</td><td colspan="2">0件（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">5件以上</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>受任件数</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>（内訳）認知症高齢者</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>知的障がい者</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>精神障がい者</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 受任件数	0件（R3）		目標値	5件以上		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	受任件数	1	1				（内訳）認知症高齢者	1	1				知的障がい者	0	0				精神障がい者	0	0			
第3期 受任件数	0件（R3）		目標値	5件以上																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
受任件数	1	1																																					
（内訳）認知症高齢者	1	1																																					
知的障がい者	0	0																																					
精神障がい者	0	0																																					
Ⅲ－（３）災害時の支援体制の充実 八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No81、110																																							
1. 災害ボランティアコーディネーターの育成	・県社協等が開催する「災害ボランティアコーディネーター養成講座」の受講を促進し、市民に災害ボランティア活動や災害ボランティアセンターの役割、必要性に対する理解を広げます。	災害ボランティアに関する研修会について、関係団体に周知し参加促進を図った。 ◆災害ボランティアセンター設置運営者研修 参加人数 2人 ◆青森県災害ボランティアコーディネーター連携研修会 参加人数 2人 ◆五城目町災害ボランティアセンター運営支援（秋田県豪雨災害）職員2名派遣 志賀町災害ボランティアセンター運営支援（能登半島地震） 職員1名派遣 【成果・今後の課題】 ・関係団体に研修会の案内をして受講を促進し、災害時に円滑なボランティア活動が展開できるように努める。	<table><tr><td>第3期 研修会参加人数</td><td colspan="2">0人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">累計50人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>災害ボランティア等研修会参加人数</td><td>2</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>〔累計〕</td><td>2</td><td>6</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 研修会参加人数	0人（R3）		目標値	累計50人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	災害ボランティア等研修会参加人数	2	4				〔累計〕	2	6															
第3期 研修会参加人数	0人（R3）		目標値	累計50人																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
災害ボランティア等研修会参加人数	2	4																																					
〔累計〕	2	6																																					
2. 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練	・定期的に災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行ってノウハウを蓄積し、災害時の体制整備を図ります。	八戸市総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター受付訓練を行った。 ◆八戸市総合防災訓練 R5年10月1日（日）鮫地区（第一魚市場付近） （参加団体） 8団体 AED普及ボランティアサークル「いのちの輪」、八戸市民生委員児童委員協議会 八戸国際交流協会、日本赤十字社青森県支部、アチャコ無線奉仕団八戸分団 一般社団法人八戸青年会議所、災害ボランティアコーディネーター連絡協議会 八戸市、八戸市社会福祉協議会 【成果・今後の課題】 ・毎年、訓練を行うことによりマニュアルを見直しする機会になっている。 ・災害ボランティアセンターの受付にGoogleフォームを活用し、ス	<table><tr><td>第3期 訓練参加人数</td><td colspan="2">23人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">累計200人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>災害ボランティアセンター設置・運営訓練 参加人数</td><td>37</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>〔累計〕</td><td>37</td><td>68</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 訓練参加人数	23人（R3）		目標値	累計200人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	災害ボランティアセンター設置・運営訓練 参加人数	37	31				〔累計〕	37	68															
第3期 訓練参加人数	23人（R3）		目標値	累計200人																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
災害ボランティアセンター設置・運営訓練 参加人数	37	31																																					
〔累計〕	37	68																																					

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）
3. 災害ボランティアの啓発活動	・災害ボランティア展を開催し、広く市民へ災害ボランティア活動の理解促進を図ります。	災害ボランティアセンターの紹介パネルや東日本大震災の活動写真、防災グッズ等を展示した。 ◆ボランティア・市民活動フェスティバル R5年8月19日（土） 八戸ポータルミュージアムはっち ◆災害ボランティア展 R6年1月15日（月）～1月21日（日）総合福祉会館ロビー 【成果・今後の課題】 ・震災の記憶を風化させないため、日頃の防災や支え合いについて関心を高める機会となった。	○
4. 「災害ボランティアネットワーク八戸」との連携	・行政や防災関係団体、NPO等の協力を得ながらネットワークを構築し、災害時に協働できる体制づくりを行うとともに、災害ボランティアセンターマニュアルの見直しを定期的に行います。	災害ボランティアネットワーク八戸との情報交換会を開催した。 ◆災害ボランティアネットワーク八戸加盟団体（8団体） 八戸市、八戸市社会福祉協議会、八戸市民生委員児童委員協議会、市民ボランティアサークル「いのちの輪」、八戸国際交流協会、日本赤十字社青森県支部、マリア無線奉仕団八戸分団、一般社団法人八戸青年会議所、災害ボランティアコーディネーター連絡協議会 ◆災害ボランティアネットワーク八戸連絡会議（年2回） R5年9月1日（金） 参加団体 8団体 R6年2月21日（水） 参加団体 8団体 【成果・今後の課題】 ・ネットワーク会議を定期的に開催し、平常時から関係機関・団体相互の情報交換や交流を行い、「顔の見える関係づくり」の構築を図った。	○
Ⅲ－（５）福祉サービスの充実 八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.102			
1. 児童館運営事業 R4予算額 146,297,000円 R5予算額 144,145,000円	・子どもたちに健全な遊びを提供し、健康増進を図るとともに、思いやり、協調性、行動力、心の豊かさを育みます。 ・各児童館において、地域のニーズに合った事業を実施し、地域や家庭と連携した子育て支援に取り組みます。	子どもの居場所づくりを目的に地域のニーズにあった活動を提供した。 ◆小型児童館（6館） 豊崎、三条、是川、南浜、高岩、松館 ◆児童センター（9館） 中央、湊、小中野、吹上、白銀、大館、鮫、八戸ニュータウン、江陽 【成果・今後の課題】 ・災害時や緊急時に児童館の休館やお知らせを保護者へ連絡する手段として、「マチコミメール」を継続運用し、保護者への連絡網を強化した。 ・三条児童館利用児童の増加を受け、分館施設にて適切に運営を行った。	○
2. 老人福祉センター南郷運営事業 R4予算額 10,259,000円 R5予算額 10,796,000円	・高齢者に憩いの場を提供し、高齢者の健康相談、趣味教養講座の開催、入浴などにより、高齢者の生きがいづくりと健康増進を図ります。	高齢者のための健康相談、趣味教養講座、レクリエーション、入浴サービスなどを実施した。利用者が通いやすいよう、デイサービスの車両を活用し送迎について便宜を図った。 【成果・今後の課題】 ・コロナ感染症等の影響により、児童との交流会や秋の文化まつりは中止となったが、4年ぶりに夏祭りを開催し、地域交流が図られ利用者数は前年	○

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																																																																		
3. 居宅介護支援事業 R4予算額 14,380,000円 R5予算額 16,317,000円	・要介護者等が日常生活を営むために必要な介護サービスを適切に利用しながら、安心して住み慣れた自宅で日常生活が送れるよう、利用者や家族のニーズに合ったきめ細かなサービス提供を行います。	介護支援専門員を3名配置し、要介護者等が日常生活を営むために必要な介護サービスを適切に利用できるよう、利用者や家族のニーズに合わせた介護計画の作成を行った。 【成果・今後の課題】 ・入所や亡くなる方がいたことにより利用者数は減少したが地域の資源を活用して、利用者や家族のニーズに対応したサービス提供を行うことができた。 ・高齢者支援センター等からの情報を得て、利用者の獲得に努めることができた。	<table><tr><td>第3期 延利用人数</td><td>982人 (R3)</td><td>目標値</td><td colspan="3">1,100人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>延利用人数</td><td>871</td><td>851</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 延利用人数	982人 (R3)	目標値	1,100人			実績値	R4	R5	R6	R7	R8	延利用人数	871	851																																																			
第3期 延利用人数	982人 (R3)	目標値	1,100人																																																																		
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																																
延利用人数	871	851																																																																			
4. 訪問介護事業 R4予算額 11,673,000円 R5予算額 10,838,000円	・要介護者等が地域で安心して自立した生活ができるよう、きめ細かな身体介護、生活援助を行います。 ・介護保険外のニーズ（雪かき）への対応について検討します。	能力に応じ自立した日常生活ができるよう入浴・排泄・食事などの身体介護、調理・洗濯・清掃などの生活援助の介護を行った。 【成果・今後の課題】 ・利用者・家族・ケアマネージャーと相談調整を行い希望に沿ったサービスを提供した。 ・入所等の理由により利用者が減少したが延べ件数及び収益は増加した。 ・ケアマネと連携を密にして、新規利用者の獲得に努める。	<table><tr><td>第3期 延利用人数</td><td>3,816人 (R3)</td><td>目標値</td><td colspan="3">4,000人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>実人数</td><td>228</td><td>211</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>延利用人数</td><td>3,290</td><td>3,474</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 延利用人数	3,816人 (R3)	目標値	4,000人			実績値	R4	R5	R6	R7	R8	実人数	228	211				延利用人数	3,290	3,474																																													
第3期 延利用人数	3,816人 (R3)	目標値	4,000人																																																																		
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																																
実人数	228	211																																																																			
延利用人数	3,290	3,474																																																																			
5. 通所介護事業 R4予算額 52,589,000円 R5予算額 51,617,000円	・要介護者等に入浴、食事、レクリエーション、機能訓練、相談等のサービスを提供し、社会的孤立感の解消および心身機能の維持を図ります。 ・高齢者支援センターとの連携を強化するとともに居宅介護支援事業所に向けてPRを行い、利用者の拡大を図ります。	孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的・精神的負担の軽減に努め、入浴・食事・レクリエーションなどの必要な介護サービスを行った。 【成果・今後の課題】 ・感染対策に努めながら業務運営を行い、昨年度より利用者数及び収益は増加した。 ・介護福祉士の資格取得の推進を引き続き行う。	<table><tr><td>第3期 延利用人数</td><td>6,546人 (R3)</td><td>目標値</td><td colspan="3">7,000人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>実人数</td><td>742</td><td>772</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>延利用人数</td><td>5,382</td><td>5,797</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 延利用人数	6,546人 (R3)	目標値	7,000人			実績値	R4	R5	R6	R7	R8	実人数	742	772				延利用人数	5,382	5,797																																													
第3期 延利用人数	6,546人 (R3)	目標値	7,000人																																																																		
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																																
実人数	742	772																																																																			
延利用人数	5,382	5,797																																																																			
基本目標Ⅳ 信頼される運営基盤づくり																																																																					
Ⅳ－（１）自主財源の確保																																																																					
八戸市地域福祉計画における主な関連事業： No.120																																																																					
1. 会員の拡大	・住民主体の福祉活動の推進や法人の適正な運営を維持するため、安定した会費収入の確保に向けて、会費の使途や市社協の活動を「見える化」し、会員制度への理解と加入促進を図ります。	町内会や福祉団体、企業、個人の方に会員になっていただき、会費を頂戴した。毎年7月に会員への会費納入のお願いと未加入町内、施設などに文書にて会員の加入促進を図った。 ◆R5年度 新規加入件数 6件 【成果・今後の課題】 ・新規加入町内会が6町内あったが、町内会の解散や世帯数の減少により一般会費の増が見込めない状況にある。 ・今後、引き続き未加入町内や企業へ働きかけ、会費の確保に努める。	<table><tr><td>第3期 会費総額</td><td>10,426千円 (R3)</td><td>目標値</td><td colspan="3">10,561千円</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>一般会員 件数</td><td>392</td><td>363</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>金額 (千円)</td><td>8,274</td><td>8,262</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>団体会員 件数</td><td>190</td><td>181</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>金額 (千円)</td><td>1,610</td><td>1,600</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>施設会員 件数</td><td>33</td><td>29</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>金額 (千円)</td><td>92</td><td>84</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>特別会員 件数</td><td>111</td><td>101</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>金額 (千円)</td><td>422</td><td>359</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計額 (千円)</td><td>10,398</td><td>10,305</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 会費総額	10,426千円 (R3)	目標値	10,561千円			実績値	R4	R5	R6	R7	R8	一般会員 件数	392	363				金額 (千円)	8,274	8,262				団体会員 件数	190	181				金額 (千円)	1,610	1,600				施設会員 件数	33	29				金額 (千円)	92	84				特別会員 件数	111	101				金額 (千円)	422	359				合計額 (千円)	10,398	10,305			
第3期 会費総額	10,426千円 (R3)	目標値	10,561千円																																																																		
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																																																
一般会員 件数	392	363																																																																			
金額 (千円)	8,274	8,262																																																																			
団体会員 件数	190	181																																																																			
金額 (千円)	1,610	1,600																																																																			
施設会員 件数	33	29																																																																			
金額 (千円)	92	84																																																																			
特別会員 件数	111	101																																																																			
金額 (千円)	422	359																																																																			
合計額 (千円)	10,398	10,305																																																																			

第4期地域福祉活動計画取り組み状況

取り組みを進める事業	今後の方針	令和5年度 実施状況	【事業評価】 ◎期待以上の成果を得られた ○概ね期待通りの成果が得られた △期待した成果を得られなかった ×成果を得られなかった －その他（評価除外）																																				
2. 共同募金活動の推進	・共同募金は、さまざまな民間の地域福祉活動や災害時支援に役立てられており、市社協の地域福祉事業にも配分され、貴重な活動財源となっている。共同募金のしくみや使途の周知を図り、共同募金運動の参加を促進します。 ・ピンバッジ募金やイベント募金等の多様な募金手法に取り組み、募金の増強を図ります。	さまざまな地域福祉課題解決に取り組む民間団体を支援し、市民のやさしさ、思いやりを届ける赤い羽根共同募金運動を推進した。 ◆赤い羽根共同募金 募金種別（R6年3月31日現在） 町内募金 16,505,923円 団体募金 95,619円 大口募金（法人） 3,920,285円 （個人） 263,400円 街頭募金 128,433円 学校募金 609,072円 職域募金 685,919円 その他 572,255円（ピンバッジ・イベント募金・募金箱等） 合計 22,780,906円 【成果・今後の課題】 ・物価高騰の影響か、全体的に募金額が減少傾向にあるものの、イベント募金およびピンバッジ募金は、令和4年度の実績を上回った。 ・共同募金のオープニングセレモニーを開催し、イベント募金にも積極的に取り組んだ。	<table><tr><td>第3期 募金総額</td><td colspan="2">28,372千円（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">28,500千円</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>赤い羽根共同募金(千円)</td><td>23,372</td><td>22,780</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>歳末たすけあい募金(千円)</td><td>4,735</td><td>4,662</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>募金合計（千円）</td><td>28,107</td><td>27,442</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 募金総額	28,372千円（R3）		目標値	28,500千円		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	赤い羽根共同募金(千円)	23,372	22,780				歳末たすけあい募金(千円)	4,735	4,662				募金合計（千円）	28,107	27,442									
第3期 募金総額	28,372千円（R3）		目標値	28,500千円																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
赤い羽根共同募金(千円)	23,372	22,780																																					
歳末たすけあい募金(千円)	4,735	4,662																																					
募金合計（千円）	28,107	27,442																																					
IV－（2）職員の資質向上と人材育成																																							
1. 事務局体制の整備 R4予算額 357,000円 R5予算額 350,000円	・職員の専門性を高めるため、資格取得を促進するとともに、内部研修、外部研修などに積極的に参加させ、業務に必要な知識の習得、他市町村社協との情報交換を図り、職員の資質向上に努めます。	専門性の向上を図るため、外部・内部研修を行った。また、各部署ごとのケース会議を週1回～月1回開催した。 ◆資格取得の促進 ・社会福祉主事通信受講 2人 ・社会福祉士受験 0人 ・介護福祉士受験 0人 ・介護支援専門員受験 6人 【成果・今後の課題】 ・社会福祉主事任用資格2名、介護支援専門員1名が資格を取得した。今後	<table><tr><td>第3期 外部研修延人数</td><td colspan="2">155人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">160人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>外部研修 本部職員</td><td>39</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>外部研修 介護職員</td><td>42</td><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>外部研修 児童館職員</td><td>86</td><td>76</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>167</td><td>126</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 外部研修延人数	155人（R3）		目標値	160人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	外部研修 本部職員	39	40				外部研修 介護職員	42	10				外部研修 児童館職員	86	76				合計	167	126			
第3期 外部研修延人数	155人（R3）		目標値	160人																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
外部研修 本部職員	39	40																																					
外部研修 介護職員	42	10																																					
外部研修 児童館職員	86	76																																					
合計	167	126																																					
IV－（3）広報活動の充実																																							
1. 広報紙やインターネットを活用した広報の充実 R4予算額 700,000円 R5予算額 775,000円	・広報紙「社協はちのへ」を年4回発行し、市社協、地区社協の活動について、より分かり易く、多くの方に関心を持ってもらえるような情報提供に努めるとともに、効果的な配布先の検討を図ります。 ・市社協や地区社協の活動、ボランティア情報等をいつでも入手できるよう、ホームページやフェイスブックを活用した情報提供を行います。	社協の活動を理解していただくために、年4回広報紙を発行し、町内回覧の他、会員や関係機関に配布した。また、ホームページ、フェイスブックを運用し、定期的に更新してタイムリーな情報提供を行った。 ◆広報紙発行部数 1回あたり 11,000部 ◆ホームページ及びフェイスブックを随時更新 【成果・今後の課題】 ・広報紙をフルカラー印刷に変更し、表現の幅を広げることができた。 ・今後も効果的な広報活動ができるよう、SNS等のインターネットを活用	<table><tr><td>第3期 Facebookフォロワー数</td><td colspan="2">377人（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">550人</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>Facebookフォロワー数</td><td>466</td><td>499</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 Facebookフォロワー数	377人（R3）		目標値	550人		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	Facebookフォロワー数	466	499																					
第3期 Facebookフォロワー数	377人（R3）		目標値	550人																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
Facebookフォロワー数	466	499																																					
2. 市社協の認知度の向上	・様々な研修会や講座等の機会を捉えて、市社協のパンフレット等を活用した周知を行い、認知度の向上に努めます。	各種講座やイベント等で、パンフレットを配布し市民への理解促進に努めた。 ◆八戸市社会福祉大会 R5年10月25日（水）400枚 ◆ボランティア・市民活動フェスティバルR5年8月19日（土）1,000枚 【成果・今後の課題】 ・パンフレットをリニューアルし、これまで掲載していなかった新しい事業なども周知することができた。 ・様々な層に認知されるよう積極的に行事やイベント等で配布活動を	<table><tr><td>第3期 パンフレット配布数</td><td colspan="2">500枚（R3）</td><td>目標値</td><td colspan="2">累計10,000枚</td></tr><tr><td>実績値</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>パンフレット配布数</td><td>1,100</td><td>1,400</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>〔累計〕</td><td>1,100</td><td>2,500</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	第3期 パンフレット配布数	500枚（R3）		目標値	累計10,000枚		実績値	R4	R5	R6	R7	R8	パンフレット配布数	1,100	1,400				〔累計〕	1,100	2,500															
第3期 パンフレット配布数	500枚（R3）		目標値	累計10,000枚																																			
実績値	R4	R5	R6	R7	R8																																		
パンフレット配布数	1,100	1,400																																					
〔累計〕	1,100	2,500																																					

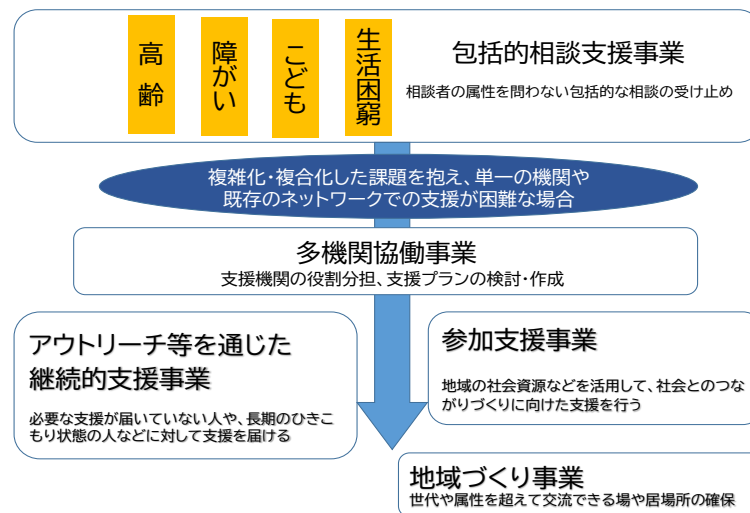
重層的支援体制整備事業について

1 経緯

- 地域共生社会の実現のために実施する事業で、社会福祉法の改正により、令和3年度から新たに創設された事業。(厚生労働省所管)
- 実施について努力義務が課せられており、今年度中に 346 市区町村で実施予定。県内では鰯ヶ沢町、他 4 町村が実施中、青森市・弘前市が実施に向け準備中。

2 事業概要

- 高齢者や障がい者、こども、生活困窮といった分野別の相談支援体制では対応しきれないような複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、①属性を問わずに包括的に相談を受け止める「相談支援」、②社会とのつながりを作る「参加支援」、③交流や参加の場を生み出す「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する体制を整備する。



3 これまでの取組

- 第4期地域福祉計画(令和 4～8 年度)内で検討事業として位置づけ。
- 関係課との勉強会・情報交換会・個別ヒアリングの実施、県内9市及び中核市の取組状況の把握。

4 取組方針

- 庁内の高齢・障がい・こども・生活困窮の4分野の相談支援関係課及び、引きこもり支援や成人保健関係課、合計7課へヒアリングしたところ、現状は複雑化・複合化した課題を抱えているケースに対し、各分野の専門性の高い関係課・機関の連携や会議体で対応できている。
- しかしながら、関係課・機関間の調整に多大な時間と労力を要しているケース、時間や労力が掛けられず調整を断念しているケースなど、相談者が抱える課題を包括的に聞き出し、サポートすることができていないケースが潜在的にある。
- このことから、これまでの体制を継続することを基本としながら、これらのケースについても包括的に受け止め、新たな支援(多様な参加支援、地域づくりに向けた支援)へつなげる仕組みを整える。

5. 今後の取組予定

【令和6年度】資料4-3参照

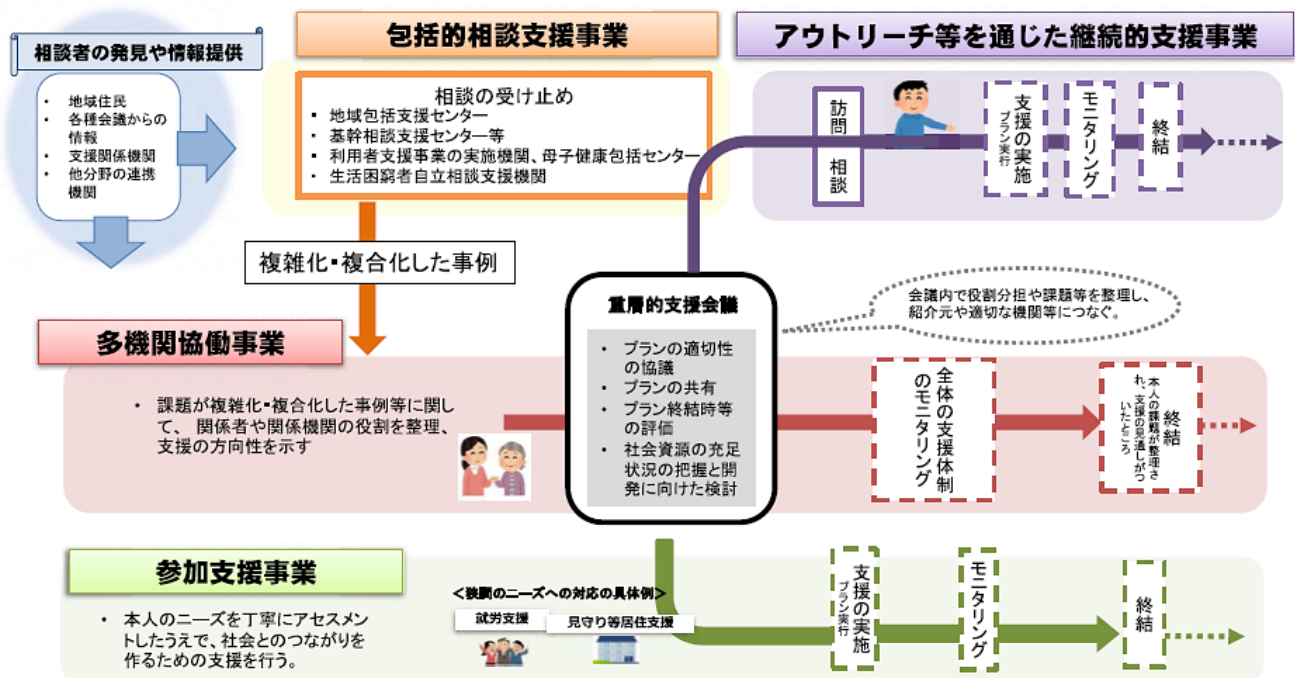
庁内ワーキングチームでの検討、事業実施計画書の策定(社会福祉専門分科会での審議、パブリックコメント)

【令和7年度】重層的支援体制整備事業への移行準備事業の実施

【令和8年度】重層的支援体制整備事業本格実施

重層的支援体制整備事業の支援フロー(イメージ)

- 相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的相談支援事業において包括的に相談を受け止める。
- 包括的相談支援事業が受け止めた相談のうち、単独の支援関係機関では対応が難しい複雑化・複合化した事例は多機関協働事業につなぐ。
- 多機関協働事業は、各支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたプランを作成し重層的支援会議に諮る。
- 重層的支援会議を通じて、関係機関間で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワークをつくることを目指す。
- また、必要に応じてアウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業につないでいく。



※ 重層的支援会議で検討した結果、包括的相談支援事業が引き続き主担当として支援すべき案件であるとなった場合には、包括的相談支援事業に戻すこともある。
 ※ アウトリーチ等事業は支援の性質上、多機関協働事業が関わる前から支援を開始することもある。

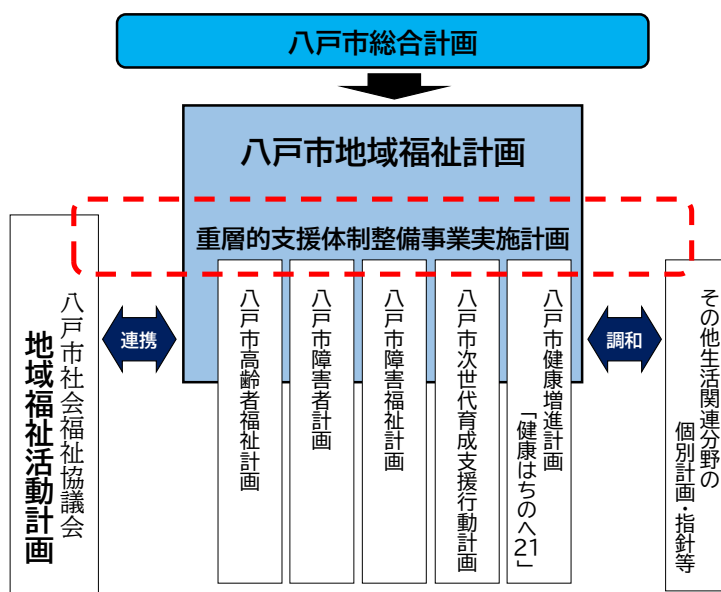
5

出典：厚生労働省

八戸市重層的支援体制整備事業（移行準備事業）実施計画の策定方針等について

1 計画の位置づけ

- ・社会福祉法第 106 条の 5 に基づき策定する計画であり、地域福祉計画の附属計画。
- ・地域福祉計画を上位計画とする健康・福祉に係る分野別計画、その他生活関連分野の個別計画等とも整合・調和を図る。



【参考】社会福祉法第 106 条の 5（抄）

市町村は、重層的支援体制整備事業を実施するときは、第 106 条の 3 第 2 項の指針に則して、重層的支援体制整備事業を適切かつ効果的に実施するため、重層的支援体制整備事業の提供体制に関する事項その他厚生労働省令で定める事項を定める計画（以下この条において「重層的支援体制整備事業実施計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

- 2 市町村は、重層的支援体制整備事業実施計画を策定し、又はこれを変更するときは、地域住民、支援関係機関その他の関係者の意見を適切に反映するよう努めるものとする。
- 3 重層的支援体制整備事業実施計画は、第 107 条第 1 項に規定する市町村地域福祉計画、介護保険法第 117 条第 1 項に規定する市町村介護保険事業計画、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第 88 条第 1 項に規定する市町村障害福祉計画、子ども・子育て支援法第 61 条第 1 項に規定する市町村子ども・子育て支援事業計画その他の法律の規定による計画であつて地域福祉の推進に関する事項を定めるものと調和が保たれたものでなければならない。

2 計画期間と策定体制

(1) 計画期間

令和7年度～8年度（2か年）

※令和7年度：移行準備 令和8年度：本格実施

※第4期地域福祉計画の終期に合わせ、以降は同計画と一体的に策定する。

(2) 策定体制

庁内ワーキングチームにおいて計画素案を作成し、八戸市健康福祉審議会社会福祉専門分科会における調査審議を経て計画原案を決定する。

3 策定方針

(1) 社会福祉法施行規則に規定された重層的支援体制整備事業計画に記載すべき事項の内、厚生労働省通知「重層的支援体制整備事業実施計画の策定ガイドライン」により必須事項とされている以下の4項目について定めるものとする。

- ① 相談支援機関、地域づくりに向けた支援事業の拠点等の設置箇所数、設置形態
- ② 参加支援事業、多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施体制
- ③ 重層的支援会議の実施方法
- ④ 支援関係機関間の連携に関する事項

(2) 既存の相談支援体制や地域づくりに関する事業を、最大限生かしながら、拡充や補完をするとともに、それらを支える新機能を整備することで、重層事業において一体的に整備する5つの事業（包括的相談支援事業、多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業、地域づくり事業）が相互に連携し、重なり合いながら対象者を支援する体制の構築を目指す内容とする。

(3) 「多機関協働事業」及び「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」については令和7年度から、「参加支援事業」については令和8年度からの本格実施に向けて整備する内容とする。

事業名	令和7年度	令和8年度
①包括的相談支援事業	既存事業の連携強化	重層的支援体制整備事業として実施
②多機関協働事業	移行準備事業として実施	
③アウトリーチ等を通じた継続的支援	移行準備事業として実施	
④参加支援事業	実施準備	
⑤地域づくり事業	既存事業の実施	

八戸市重層的支援体制整備事業(移行準備事業)実施計画策定スケジュールについて

庁内ワーキング①	・策定方針及び骨子案について ・策定スケジュールについて	令和6年6月24日(月)10:00 別館7階 会議室A
↓		
庁内ワーキング②	・素案について	令和6年8月7日(水)10:00 別館7階 会議室A

第1回社会福祉 専門分科会	・計画の概要、策定方針等について	令和6年8月29日(木)13:00 本館3階 第3委員会室
↓		
第2回社会福祉 専門分科会	・原案について	令和6年11月25日(月) 13:30 本館3階 第3委員会室
↓		
社会福祉専門分科会へ の書面送付	・原案について(決定)	11月～12月
↓		
パブリックコメント	・原案への市民意見公募	令和7年1月
↓		
社会福祉専門分科会へ の書面送付	・最終案について(決定)	令和7年2月
↓		
議会報告 (民生環境協議会)	・計画策定について(報告)	令和7年2月20日(木)
↓		
第1回健康福祉審議会	・計画策定について(報告)	令和7年3月19日(水)13:30 別館2階 会議室B・C
↓		
公表	・ホームページで公表	令和7年3月